

チュートリアルガイド

MVP

著作権と商標に関する注意

MVP ソフトウェアの著作権は株式会社モリサワが所有し、MVP は株式会社モリサワの商標です。別紙の「MVP エンドユーザライセンス契約書」に基づいた使用をお願いします。

なお、いくつかの機能において他社よりライセンスを受けて利用可能にしているものがあります。

それぞれの著作権と商標および使用上の注意は以下の通りです。

TOYO COLOR FINDER 1050

TOYO COLOR FINDER™ SYSTEM AND SOFTWARE の著作権は東洋インキ製造株式会社が所有し、MVP で使用する場合には限り株式会社モリサワに使用許可のライセンスが与えられています。

従って、MVP に関連して使用する以外の目的で他のディスクへのコピーや、メモリーに読み込む事を禁じます。

TOYO COLOR FINDER™ SYSTEM AND SOFTWARE (C) TOYO INK MFG.CO.LTD.1991.

" カラーファインダー " は東洋インキ製造株式会社の登録商標です。

DIC カラーガイド・プロセスカラーノート

「DICR」、「DIC カラーガイド R」および「プロセスカラーノート」は大日本インキ化学工業株式会社の登録商標もしくは商標です。データベース「DIC カラーガイド・プロセスカラーノート」は、大日本インキ化学工業株式会社の著作物です。

株式会社モリサワは、組版編集機に搭載することにおいてデータベース「DIC カラーガイド・プロセスカラーノート」のライセンスを大日本インキ化学工業株式会社より受けています。

データベース「DIC カラーガイド・プロセスカラーノート」をコピーし、株式会社モリサワ製組版編集システム以外において使用することを禁じます。

LEADTOOLS

本ソフトウェア製品は、画像処理部分で LEADTOOLS を利用しています。

LEADTOOLS は LEAD Technologies 社が権利を有しています。

LEADTOOLS (C) 1991-2000, LEAD Technologies, Inc.

ALL RIGHT RESERVED

QR コードは (株) デンソーウェアの登録商標です。

Jaws PDF Library. Copyright(c) 1998-2004 Global Graphics Software Ltd.

Copyright (c) 1990-2004 Info-ZIP. All rights reserved.

Adobe Acrobat, Adobe Reader, Adobe Photoshop, PostScript は、アドビシステムズ社の米国および／または各国での商標または登録商標です。

Windows は、マイクロソフト社の米国および／または各国での商標または登録商標です。



- 安全に使用していただく為に、取扱説明書記載以外の取扱いや操作はおやめください。
- 不測の事故等によりハードディスクに保存したデータが破壊されることもあります。
大切なデータは必ず CD-R 等リムーバブルメディアにも保存されるようバックアップ作業をしてください。
- 校正洩れを防ぐ為に、校正作業は最終工程の出力物で行って下さい。
- 当システムの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

総合目次

はじめに.....	1
本書の使い方.....	1
チュートリアルを開始する前に.....	2
各 Lesson を開始する前に.....	3
Lesson 1 官製はがきの縦組み宛名作成しましょう	7
Lesson 2 横組みの宛名作成しましょう	19
Lesson 3 はがきの裏面を作成しましょう	39
Lesson 4 名刺を作成しましょう	61
Lesson 5 チケットにナンバリングしましょう	101
Lesson 6 可変テキスト入り画像を使いましょう PRO	121
Lesson 7 生年月日データを成形して出力しましょう PRO	145
付録.....	185

はじめに

本ソフトウェアをお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。

本ソフトウェアは簡単な操作で高品質な組版から面付けまでが行え、かつデータベースと連動した可変印刷を実現します。

本書は各 Lesson を手順にしたがって作成していくと、MVP の各機能の特徴と操作の流れをマスターして頂けるように構成されております。また、Lesson ごとに完結しておりますので、目的にあった Lesson から始めて頂いても理解できるようになっております。本書以外に、各機能についての詳細は、「MVP ユーザーズガイド」をご参照ください。そして、MVP の使い方をマスターして、実際のお仕事にご活用頂きますようお願い申し上げます。

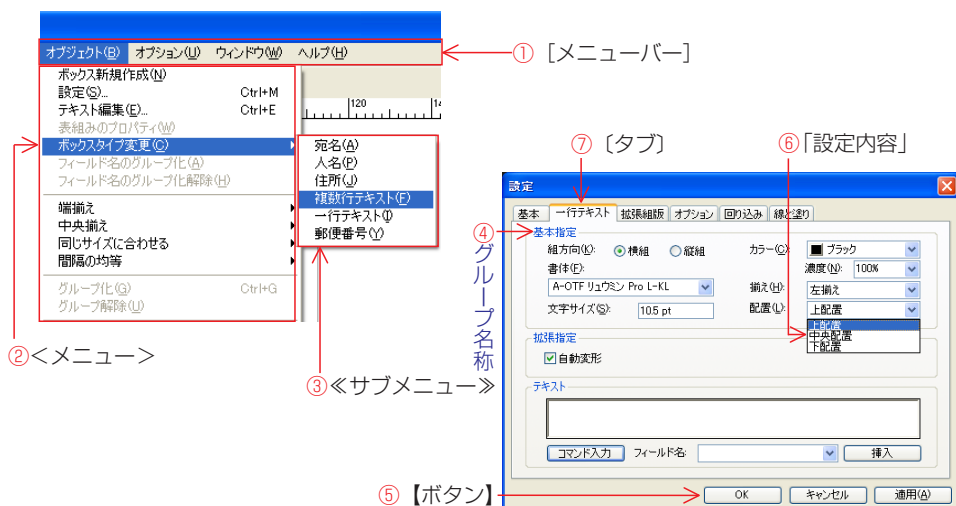
本書の使い方

本書の表記方法

メニューバーは、階層構造になっておりますので、「かつこの種類」を変えて表記しております。また、各ダイアログ内に入力する数値や文字、選択する項目は、文章と区別するために「 」で表記しております。

例：[オブジェクト] → <ボックスタイプ変更> → ≪複数行テキスト≫

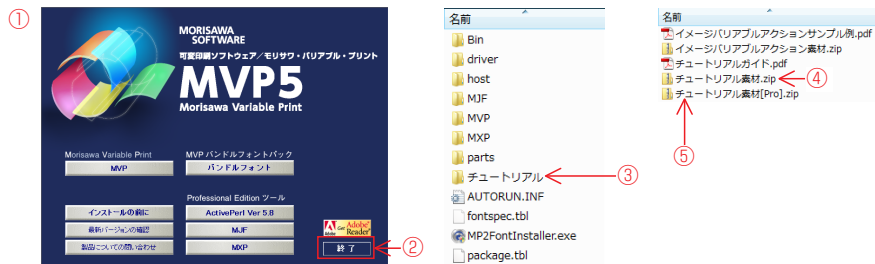
①	メニューバー	[]	⑤	ボタン	【 】
②	メニュー	< >	⑥	設定内容	「 」
③	サブメニュー	≪ ≫	⑦	タブ	[]
④	グループ名称	青色			



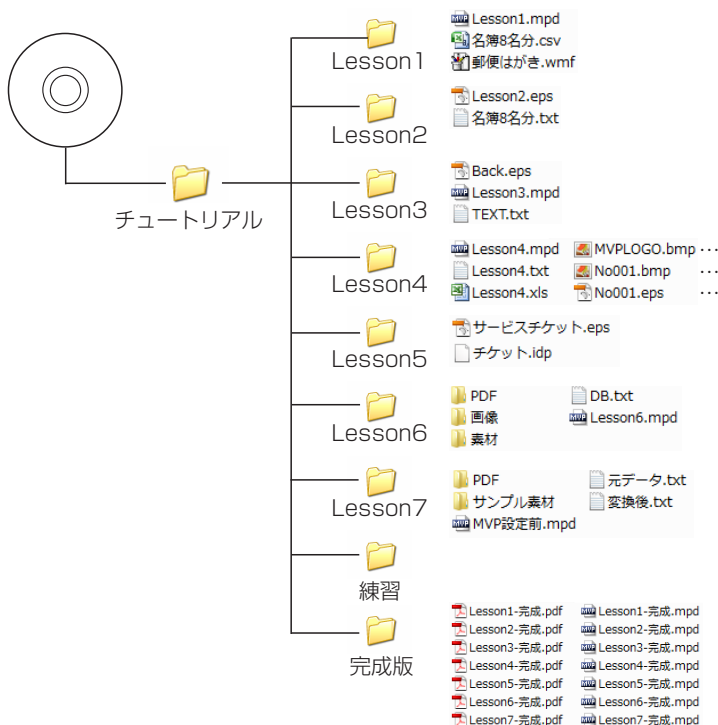
PRO …Professional Edition の機能を使用する Lesson には左図のマークを付与しております。

チュートリアルを開始する前に

MVP セットアップ CD-ROM をセットすると、下記の画面が表示されます①。終了ボタンをクリックし②、セットアップ画面を終了します。エクスプローラから、CD-ROM をセットしたドライブを選択します。チュートリアルのフォルダをクリックします③。チュートリアル素材 .zip を解凍します④。Professional Edition をお使いの方は、チュートリアル素材 [Pro].zip も併せて解凍してください⑤。



各 Lesson のデータは、MVP セットアップ CD-ROM 内の「チュートリアル」フォルダの中に入っております。CD-ROM の中に入っているチュートリアルフォルダをハードディスクの C:\¥Morisawa¥MVP¥チュートリアルの中にコピーしてください。それ以外の場所にコピーすると、画像などのリンクが切れますのでご注意ください。



各 Lesson を開始する前に

Lesson の最初のページに環境設定 / 基本属性の内容を記載しておりますので、各 Lesson を開始する前に設定の変更を行ってください。各設定の初期値として適用されますので、効率よく各設定が行えます。

例

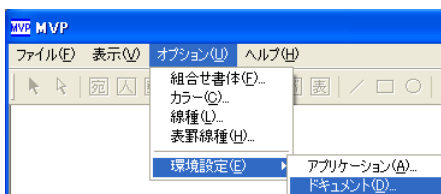
環境設定：位置／長さ「ミリ：mm」文字「級数：Q」
基本属性：「組方向：縦組／横組」「書体：A-OTF リュウミン Pro-L-KL」
「文字サイズ：20Q」「行送り：25Q」

ドキュメント環境設定

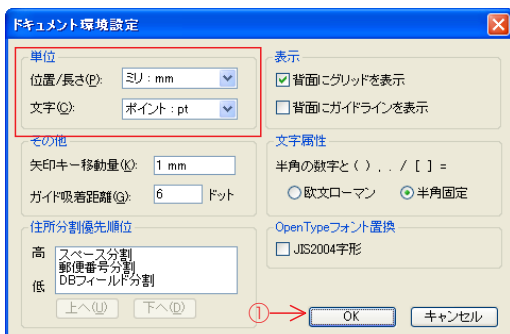
コマンド実行時の設定値に使用される単位や、編集ダイアログの表示に関する項目を設定します。

設定方法

1. メニューバー → [オプション] → <環境設定> → «ドキュメント»をクリックします。



2. ドキュメント環境設定で単位の設定をします。Q（級数）、pt（ポイント）、mm（ミリ）での3種類の単位設定が行えます。位置／長さは、マージンやオブジェクトのサイズ、文字は文字サイズの単位に適用されます。【OK】をクリックします①。



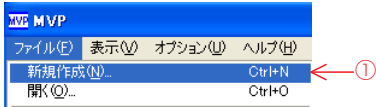
アドバイス 基本単位は、1 級 = 0.25mm、1 ポイント ÷ 0.3528mm です。

基本属性

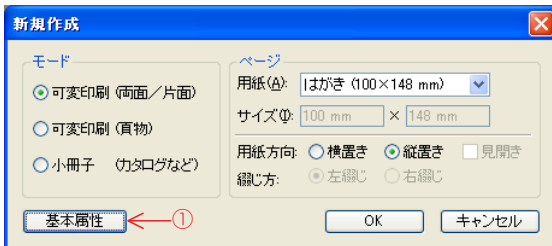
設定する書体、文字サイズなどの基本属性は各ボックスを作成する際の初期値になります。
(そのドキュメントのみに適用されます)

設定方法

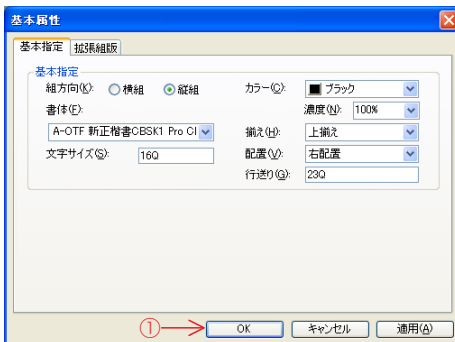
1. メニューバー → [ファイル] → <新規作成> をクリックします①。



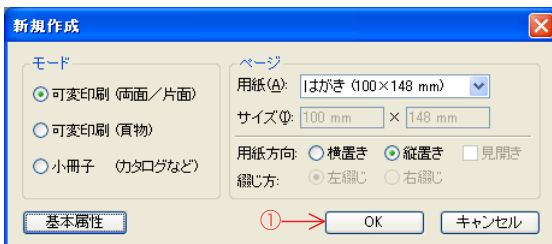
2. 新規作成のダイアログが表示されます。【基本属性】をクリックします①。



3. 基本属性のダイアログが表示されます。各設定変更を行い、【OK】をクリックします①。



4. 新規作成のダイアログに戻ります。その他の設定を行い【OK】をクリックします①。



Lesson 1 目次

Lesson 1 官製はがきの縦組み宛名作成しましょう	7
Step 1 官製はがきの雛形を開きましょう。	8
Step 2 顧客データを取り込みましょう。	9
Step 3 宛名ボックスを設定しましょう。	11
Step 4 保存と印刷をしましょう。	14

Lesson 1 官製はがきの縦組み宛名作成しましょう

1

Step 1

官製はがきの雛形を開きましょう。

MVP を起動し、雛形を開きます。

Step 2

顧客データを取り込みましょう。

顧客データを DB パレットに取り込みます。

Step 4

保存と印刷をしましょう。

作成したデータを保存し、官製はがきに印刷します。



Step 3

宛名ボックスを設定しましょう。

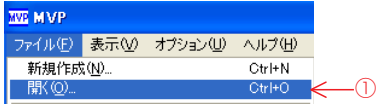
宛名ボックスで、簡単に住所・氏名などのレイアウトが作成できます。

160005
 東京都新宿区愛住町二丁目三四五
 ヤマムラソリューションズ
 ディレクター
 澤田 栄治様

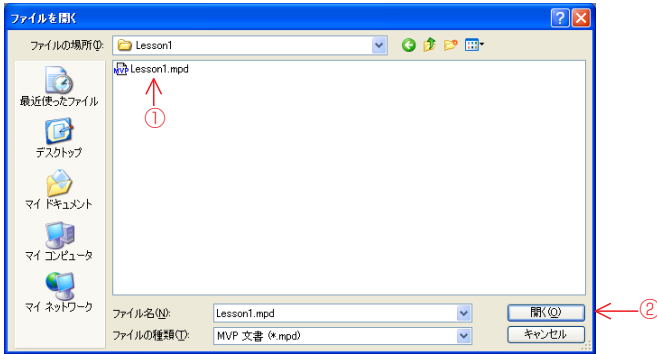
Step 1 官製はがきの雛形を開きましょう。

MVP を起動して、あらかじめ用意してある官製はがきの雛形を開きます。

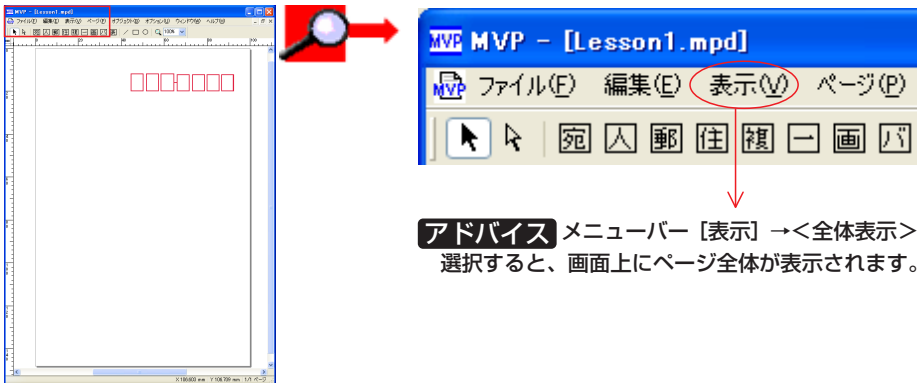
1. メニューバー → [ファイル] → <開く> をクリックします①。



2. "C:\¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル ¥Lesson 1" の中にある「Lesson 1.mpd」を選択し①、【開く】をクリックします②。



3. 作成途中の官製はがきのレイアウトが開きます。

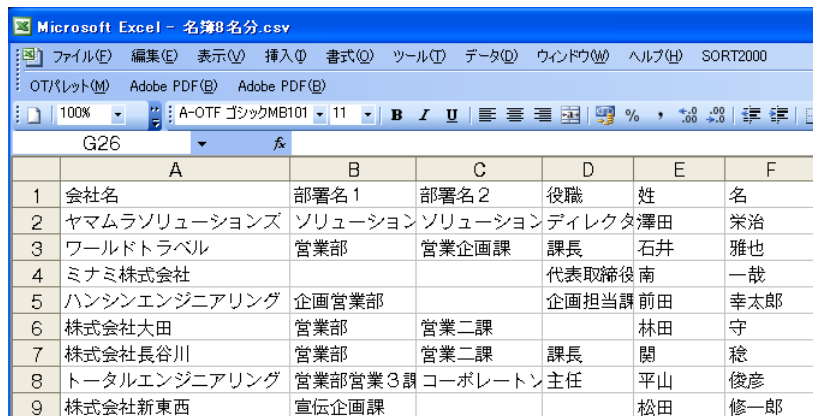


アドバイス メニューバー [表示] → <全体表示> を選択すると、画面上にページ全体が表示されます。

Step 2 顧客データを取り込みましょう。

Step1 で開いた官製はがきのレイアウトに DB パレットから顧客データを取り込み、各設定を行います。

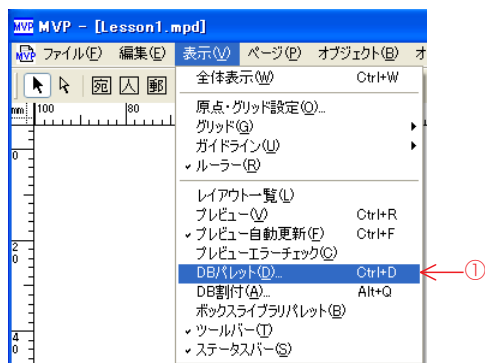
<名簿 8 名分の中身>



	A	B	C	D	E	F
1	会社名	部署名 1	部署名 2	役職	姓	名
2	ヤマムラソリューションズ	ソリューション	ソリューション	ディレクター	澤田	栄治
3	ワールドトラベル	営業部	営業企画課	課長	石井	雅也
4	ミナミ株式会社			代表取締役 南		一哉
5	ハンシンエンジニアリング	企画営業部		企画担当課	前田	幸太郎
6	株式会社大田	営業部	営業二課		林田	守
7	株式会社長谷川	営業部	営業二課	課長	関	稔
8	トータルエンジニアリング	営業部営業3課	コーポレート	主任	平山	俊彦
9	株式会社新東西	宣伝企画課			松田	修一郎

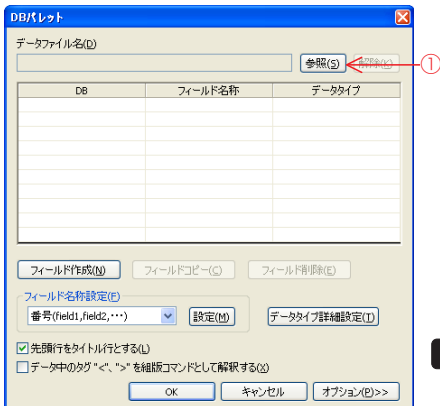
アドバイス エクセルなどで作成したデータは、CSV（カンマ区切り * .CSV）または、テキスト（タブ区切り * .txt）のいずれかに変えて保存を行ってください。

1. メニューバー → [表示] → < DB パレット > をクリックします①。



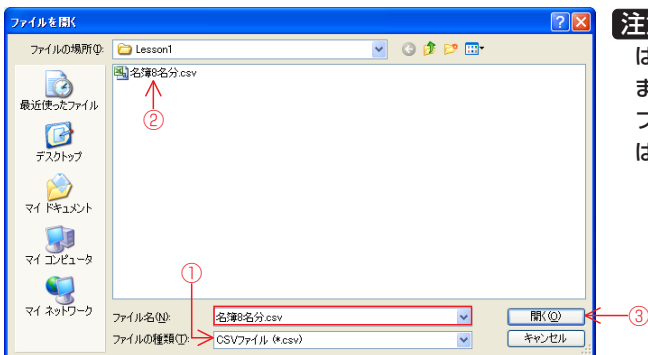
“C

2. DB パレットのダイアログが表示されます。【参照】をクリックします①。



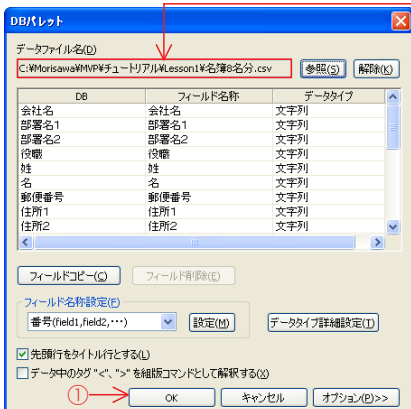
注意！「先頭行をタイトル行とする」に必ずチェックを入れてください。

3. ファイルを開くのダイアログが表示されます。ファイルの種類を CSV ファイルにして①、「C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル ¥Lesson 1」の中にある、「名簿8名分 .CSV」を選択し②、【開く】をクリックします③。



注意！ ファイルの種類の初期設定はタブ区切ファイルになっています。ファイルの種類を csv ファイルに変えないとファイルは表示されません。

4. DB パレットに顧客データの各フィールド名が表示されます。【OK】をクリックします①。

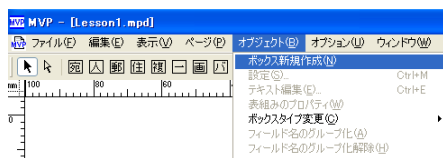


顧客のデータバスが表示されます。

Step 3 宛名ボックスを設定しましょう。

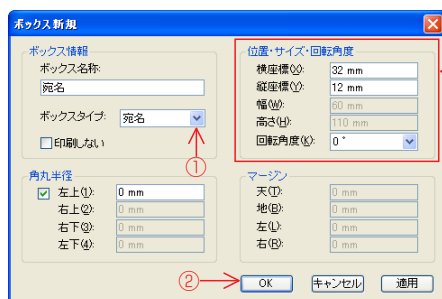
雛形の官製はがきに宛名ボックスを作成し、各設定を行います。

1. メニューバー → [オブジェクト] → <ボックス新規作成>をクリックします。



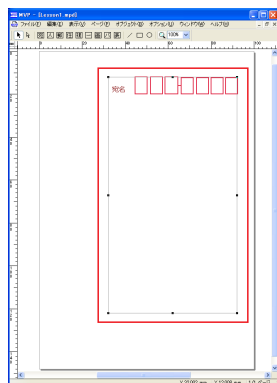
アドバイス ボックスの作成方法は2通りあります。Lesson 2 の Step 2 を参照してください。

2. ボックス新規のダイアログが表示されます。**ボックス情報**のボックスタイプから「宛名」を選択します①。ボックス名称を「宛名」に設定すると位置・サイズの欄に自動的に数値が入ります。**[OK]** をクリックします②。



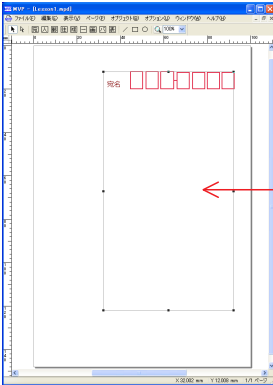
宛名を設定すると自動的に位置・サイズが入ります。

3. 宛名ボックスがレイアウト画面に作成されます。



注意! 宛名ボックスサイズは、幅 60mm、高さ 110mm 固定です。

4. 宛名ボックスの各設定を行います。宛名ボックスをダブルクリックします。



この中でダブルクリックしてください。



1

アドバイス ボックスを選択した状態で、メニューバー → 「オブジェクト」 → 「設定」を選択しても、設定ダイアログが表示されます。

5. 設定のダイアログが表示されます。〔宛名〕タブをクリックします①。下記の設定内容に設定します。



設定内容

基本指定

組方向：縦組

宛先

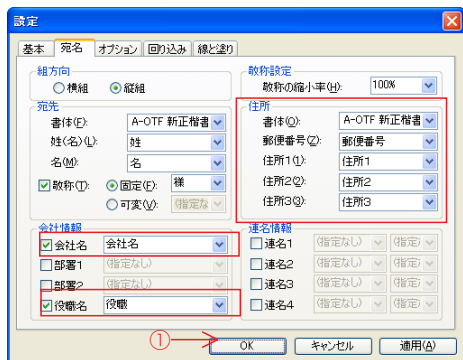
書体：「A-OTF 新正楷書 CBSK1 Pro CBSK1」

姓：「姓」

名：「名」

☒ 敬称：☒ 固定「様」

6. 住所・会社宛も同じように設定して、【OK】をクリックします①。



設定内容

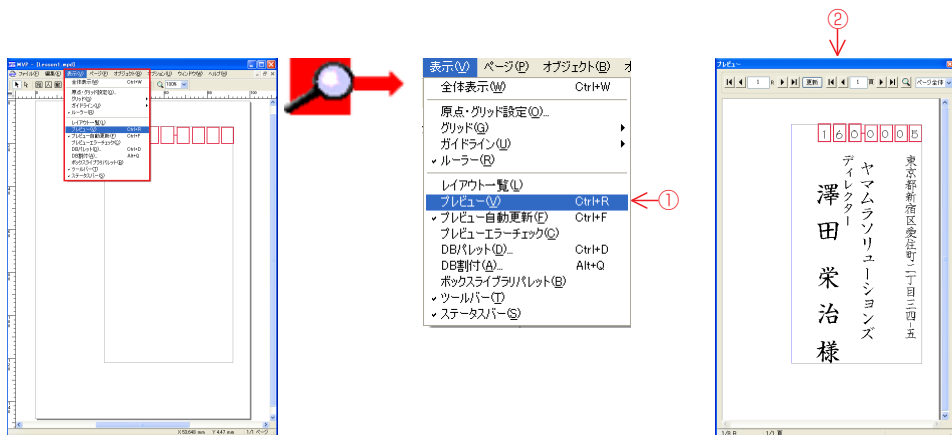
住所

書体：「A-OTF 新正楷書 CBSK1 Pro
CBSK1」
郵便番号：「郵便番号」
住所1：「住所1」
住所2：「住所2」
住所3：「住所3」

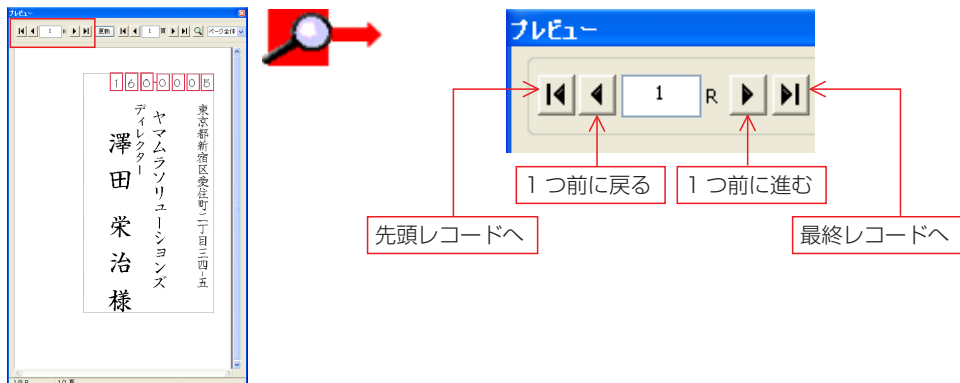
会社情報

☒ 会社名：「会社名」
☒ 役職名：「役職」

7. 設定の内容結果はプレビューで確認します。メニューバー → [表示] → <プレビュー>を選択すると①、プレビューウィンドウが表示されます②。



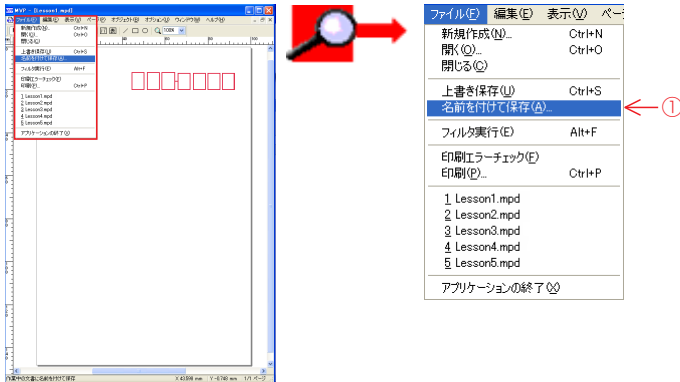
8. プレビューウィンドウで全レコードのレイアウトが確認ができます。



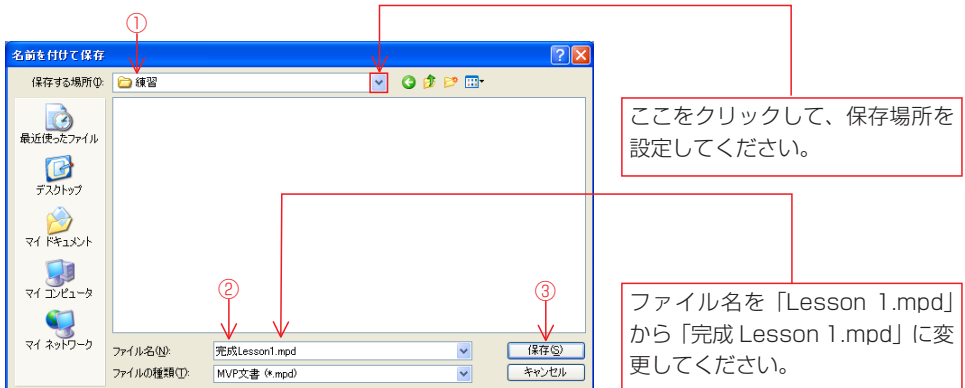
Step 4 保存と印刷をしましょう。

完成したデータに名前を付けて保存します。

1. メニューバー → [ファイル] → <名前を付けて保存>をクリックします①。

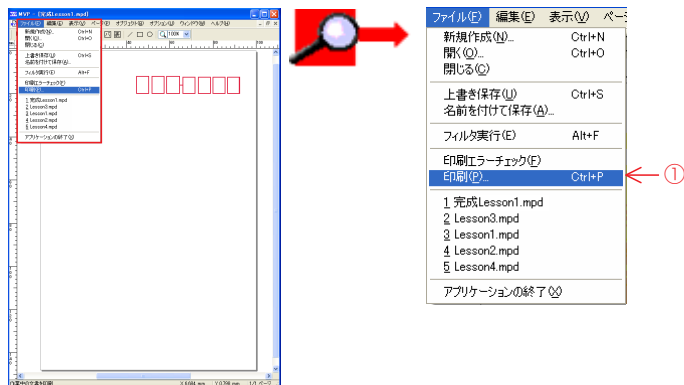


2. 名前を付けて保存のダイアログが表示されます。"C:¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥ 練習"の中に保存します①。ファイル名を「完成 Lesson1.mpd」に変更し②、【保存】をクリックします③。

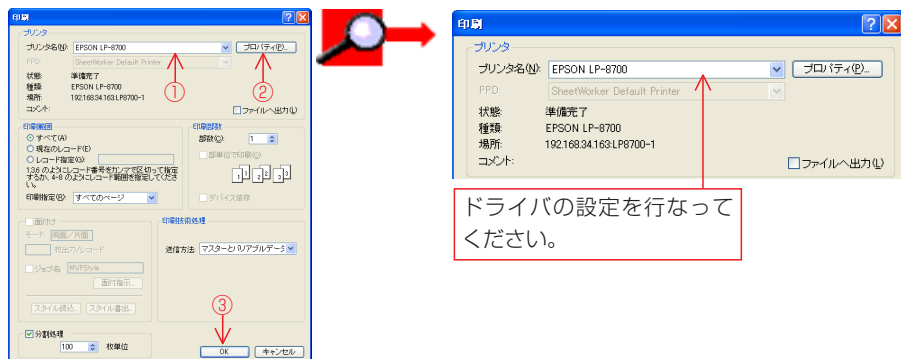


MVP チュートリアルガイド

3. 作成した「完成 Lesson 1.mpd」を印刷します。メニューバー → [ファイル] → <印刷>をクリックします①。



4. 印刷のダイアログが表示されます。出力するプリンタドライバを選択して①、プロパティで用紙サイズ、印刷方向などを設定します②。【OK】をクリックすると印刷されます③。



アドバイス 面付け指定が行なえるのは、プリンタ名で PS プリンタドライバを選択したときのみです。ダムプリンタドライバを選択したときは、面付け、PPD の項目は設定出来ません。また面付けを指示したときは、プロパティは【面付指示】内の【印刷割付設定】で行ってください。

アドバイス データベースの半角カタカナ・半角英数字の処理について。

宛名ボックスにデータベースを取込む時に、データベースが半角カタカナ・半角英数字で入力されていると、下記の様な表示になります。①

DB 例

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	会社名	役職	姓	名	郵便番号	住所 1	住所 2	住所 3
2	ABCカヲカ18	マネジヤ	山本	健	160-0021	東京都新宿区歌舞伎町	2丁目11-17	新宿歌舞伎町ビル4F

①<変更前>

1 6 0 0 0 2 1

山
本
健
様

ABCカヲカ18
マネジヤ

東京都新宿区歌舞伎町2丁目11-17
新宿歌舞伎町ビル4F

②<変更後>

1 6 0 0 0 2 1

山
本
健
様

ABCカラオケ18
マネジヤ

東京都新宿区歌舞伎町2丁目11-17
新宿歌舞伎町ビル4F

半角カタカナから全角カタカナに置き換えます。

英字タイプ処理を「全角英字」に変更します。

半角カタカナから全角カタカナに置き換えます。

数値タイプ処理を「位なし漢数字」に変更します。
※縦組時の住所は自動で「位なし漢数字」に変換します。

半角カタカナから全角カタカナに置き換えます。

英字タイプ処理を「全角英字」に変更します。

下記の処理で、②の表示に変更されます。

半角カタカナの変更方法

1. メニューバー→[表示]→<DBパレット>をクリックします。
2. 変更するデータベースを選択し、【データタイプ詳細】をクリックします。
3. データタイプ詳細のダイアログが表示されます。【オプション】をクリックします。
4. 「文字列を置換する」にチェックを付け ☒、【置換設定】をクリックします。
5. 変換テーブルの【取込】をクリックし、「C:¥Morisawa¥MVP¥Template¥文字置換テーブルの中にある「半角カタカナを全角に置換.txt」を選択し、【開く】をクリックします。取込みが終わったら、【OK】でダイアログを閉じます。

半角英数字の変更方法

1. メニューバー→[表示]→<DBパレット>をクリックします。
2. 変更するデータベースを選択し、【データタイプ詳細】をクリックします。
3. データタイプ詳細のダイアログが表示されます。「数値タイプ処理」「英字タイプ処理」それぞれにチェックを付け ☒、「数値タイプ処理」は「位なし漢数字」を選択し、「英字タイプ処理」は「全角英字」を選択します。設定が終わったら【OK】でダイアログを閉じます。

Lesson 2 目次

Lesson 2 横組みの宛名作成しましょう	19
Step 1 新規ファイルを作成しましょう。	20
Step 2 画像ボックスを設定しましょう。	21
Step 3 顧客データを取り込みましょう。	24
Step 4 郵便番号ボックスを設定しましょう。	25
Step 5 住所ボックスを設定しましょう。	29
Step 6 人名ボックスを設定しましょう。	31
Step 7 保存と面付け印刷をしましょう。	34

Lesson 2 横組みの宛名作成しましょう

Step 1

新規ファイルを作成しましょう。

はがきサイズの新規文書を作成します。

Step 4

郵便番号ボックスを設定しましょう。

郵便番号に適した設定を行ないます。

Step 3

顧客データを取り込みましょう。

DB パレットに顧客データを取り込みます。

Step 5

住所ボックスを設定しましょう。

住所に適した設定を行ないます。

Step 6

人名ボックスを設定しましょう。

人名に適した設定を行ないます。

Step 2

画像ボックスを設定しましょう。

サンプル画像を使って画像入りのはがきを作成します。

Step 7

保存と面付け印刷をしましょう。

作成したデータを保存し、面付け印刷します。



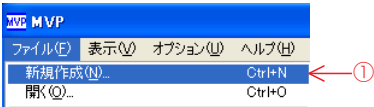
環境設定：位置／長さ「ミリ：mm」文字「級数：Q」

基本属性：組方向／「横組」書体／A-OTF 新正楷書 CBSK 1 Pro CBSK1」

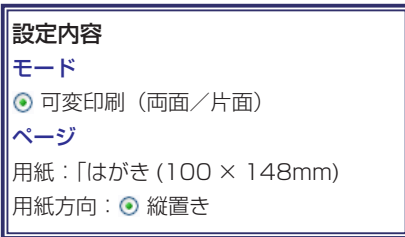
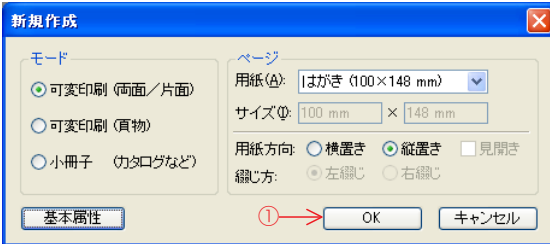
文字サイズ：「16Q」行送り：「24Q」

Step 1 新規ファイルを作成しましょう。

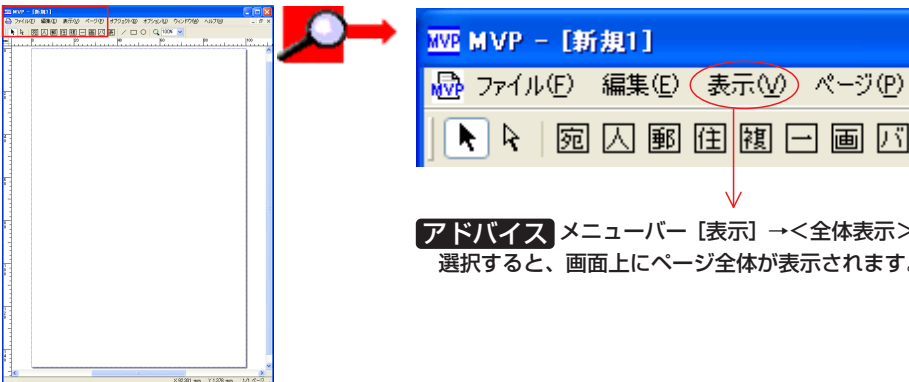
1. メニューバー → [ファイル] → <新規作成> をクリックします①。





2. 新規作成のダイアログが表示されます。下記の設定を行ない【OK】をクリックします。①

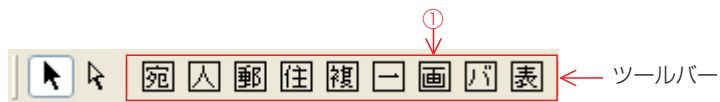


3. 新規1のレイアウト画面が作成されます。



Step 2 画像ボックスを設定しましょう。

1. レイアウト画面に画像ボックスを作成します。作成方法は2通りありますが、Lesson 2 ではツールバー → **画** をクリックします①。**画** をクリックすると、矢印が から  に変わります。

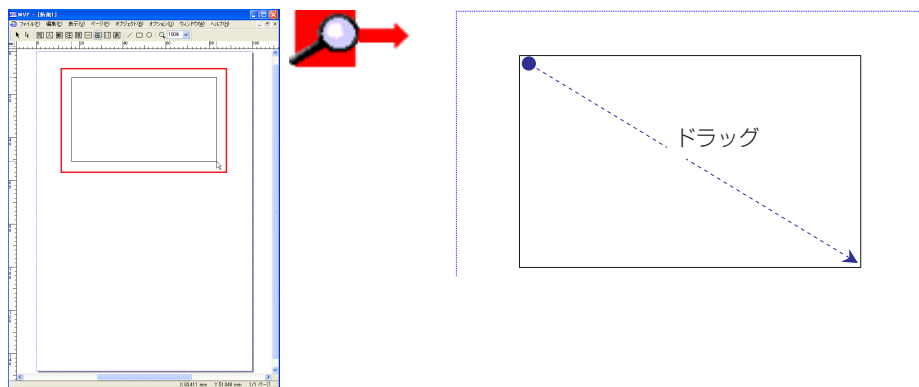


2

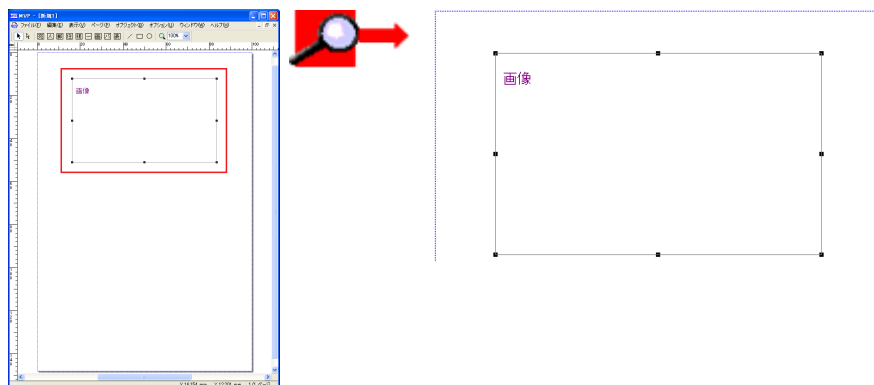
アドバイス レイアウトボックスの作成方法は2通りあります。

1. メニューバー → [オブジェクト] → <ボックス新規作成> (* Lesson 1 参照)
2. ツールバー → ツールを選択 → レイアウト画面の中でドラッグ

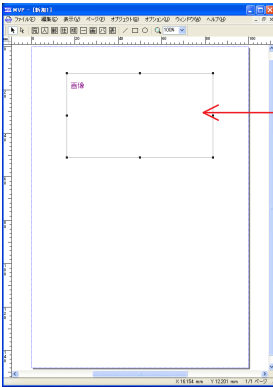
2. レイアウト画面の中でドラッグします。



3. レイアウト画面に任意の大きさの画像ボックスを作成します。



4. 画像ボックスの位置・サイズを設定します。画像ボックスをダブルクリックします。



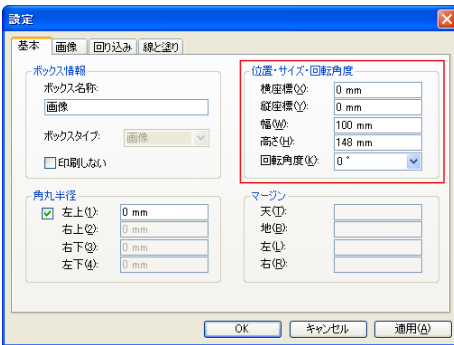
この中でダブルクリックしてください。



アドバイス ボックスを選択した状態でメニューバー → [オブジェクト] → <設定> を選択しても、設定ダイアログが表示されます。

2

5. 設定のダイアログが表示されます。位置・サイズの数値をはがきサイズに変更します。

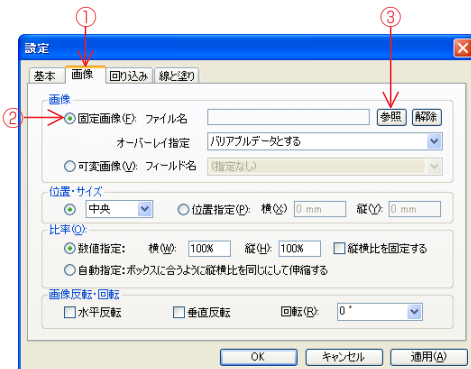


設定内容

位置・サイズ

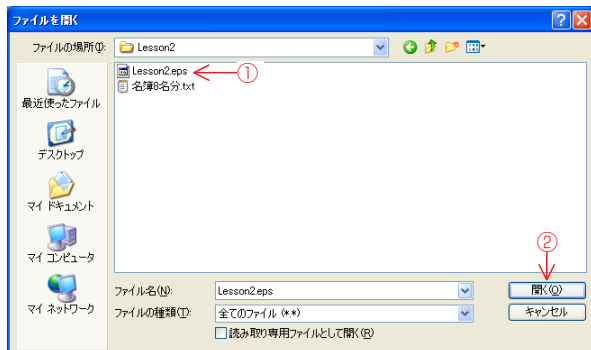
横座標：「0mm」 縦座標：「0mm」
幅：「100mm」 高さ：「148mm」

6. サンプルの画像を画像ボックスに配置します。[画像] タブをクリックして①、次に固定画像を選択し②、【参照】をクリックします③。

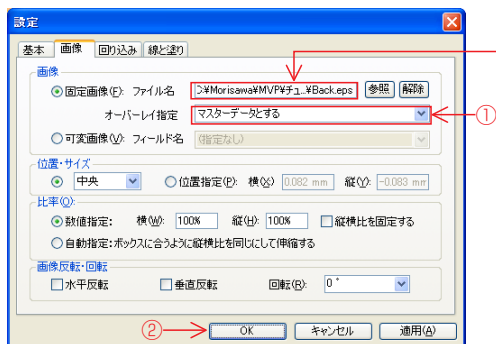


MVP チュートリアルガイド

7. ファイルを開くのダイアログが表示されます。"C:¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥Lesson2" の中にある「Lesson2.eps」を選択し①、【開く】をクリックします②。



8. オーバーレイ指定を「マスターデータとする」に設定し①、【OK】をクリックします②。



選択した画像のパスが表示されます。

アドバイス オーバーレイ指定で「マスターデータとする」を選択すると、常に画像は最背面に表示されます。「オーバーレイ指定」の詳細につきましては、[付録](#)をご覧ください。

9. 画像ボックスに画像が配置されます。



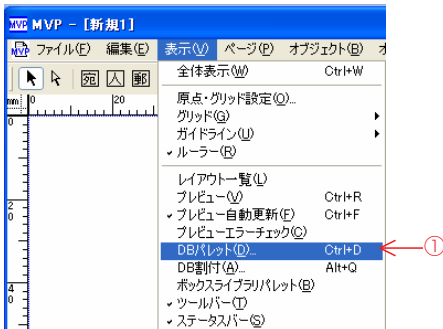
Step 3 顧客データを取り込みましょう。

Lesson 1 では CSV 形式のデータを使用しましたが、Lesson 2 ではタブ区切り形式を使用します。

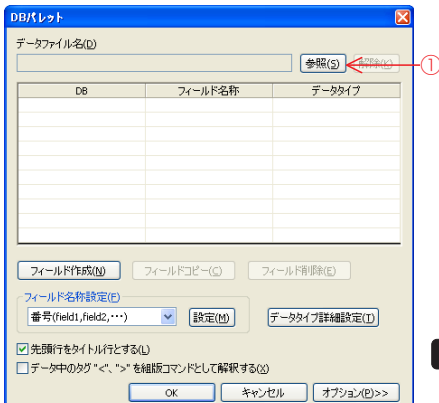
<名簿 8 名分 .txt の中身>

	A	B	C	D	E	F
1	会社名	部署名 1	部署名 2	役職	姓	名
2	ヤマムラソリューションズ	ソリューション	ソリューション	ディレクター	澤田	栄治
3	ワールドトラベル	営業部	営業企画課	課長	石井	雅也
4	ミナミ株式会社			代表取締役	南	一哉
5	ハンシンエンジニアリング	企画営業部		企画担当課	前田	幸太郎
6	株式会社大田	営業部	営業二課		林田	守
7	株式会社長谷川	営業部	営業二課	課長	関	稔
8	トータルエンジニアリング	営業部	営業3課	コーポレート	主任	平山 俊彦
9	株式会社新東西	宣伝企画課			松田	修一郎

1. メニューバー → [表示] → < DB パレット > をクリックします①。



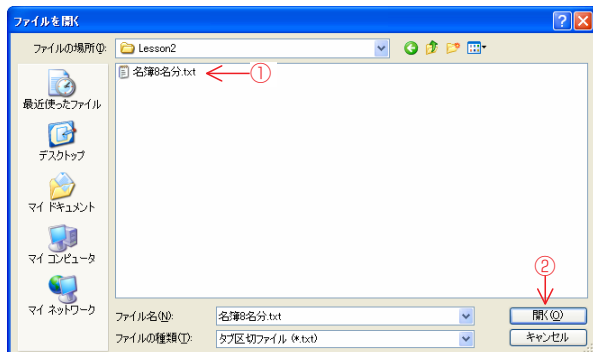
2. DB パレットのダイアログが表示されます。【参照】 をクリックします①。



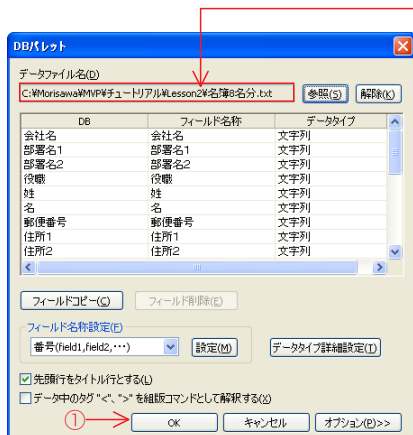
注意! 「先頭行をタイトル行とする」に必ずチェックを入れてください。

MVP チュートリアルガイド

3. ファイルを開くのダイアログが表示されます。"C:\¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥Lesson 2" の中にある「名簿8名分.txt」を選択し①、【開く】をクリックします②。



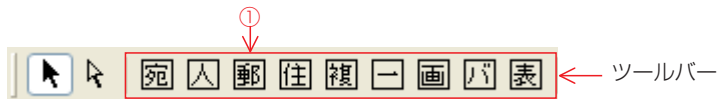
4. DB パレットに顧客データの各フィールドが表示されます。【OK】をクリックします①。



顧客のデータベースが表示されます。

Step 4 郵便番号ボックスを設定しましょう。

1. レイアウト画面に郵便番号ボックスを作成します。ツールバー → 郵便 をクリックします①。

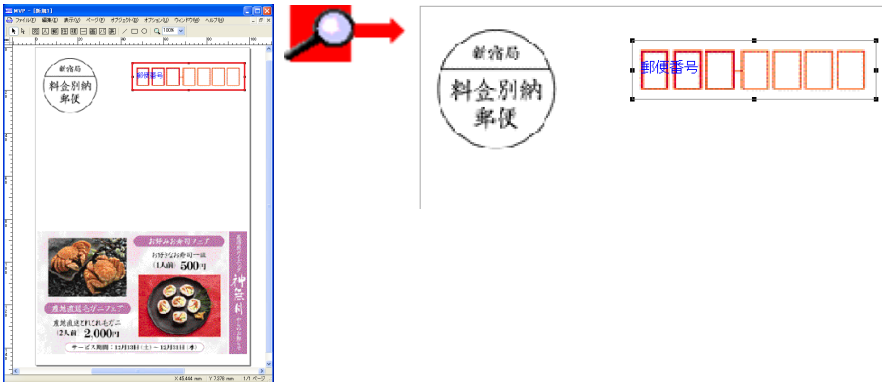


2. レイアウト画面の中でドラッグします。

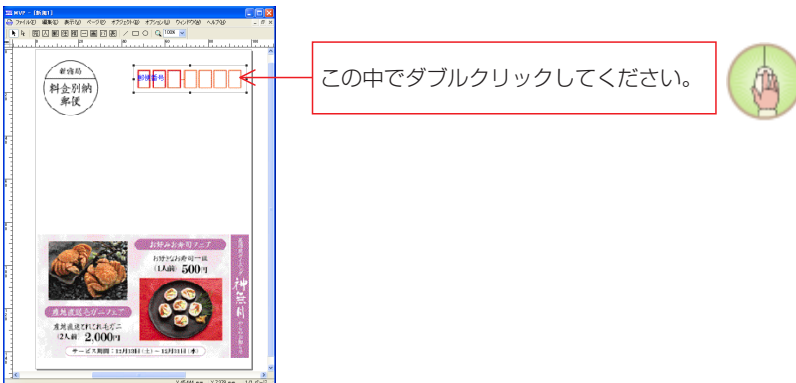


2

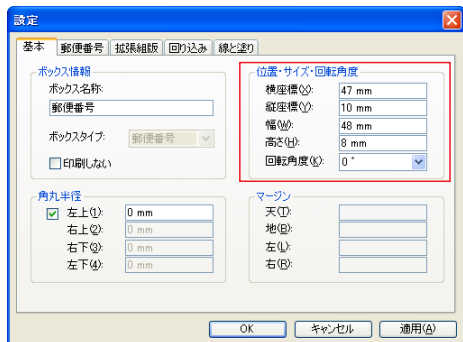
3. レイアウト画面に任意の大きさの郵便番号ボックスを作成します。



4. 郵便番号ボックスの位置・サイズを設定します。郵便番号ボックスをダブルクリックします。



5. 設定のダイアログが表示されます。位置・サイズの数値を下記の数値に変更します。

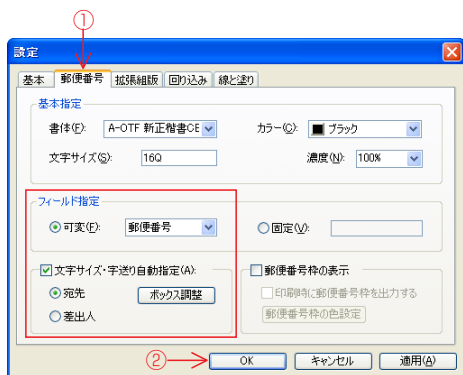


設定内容

位置・サイズ

横座標：「47mm」 縦座標：「10mm」
幅：「48mm」 高さ：「8mm」

6. 郵便番号ボックスの設定をします。〔郵便番号〕タブをクリックして①、下記の設定内容に変更し、〔OK〕をクリックします②。



設定内容

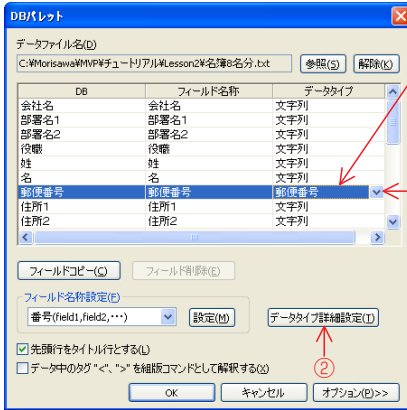
フィールド指定

- 可変：「郵便番号」
- ☑ 文字サイズ・字送り自動指定
- 宛先

7. DBパレットの郵便番号の詳細設定をします。メニューバー → [表示] → <DBパレット>を選択します①。



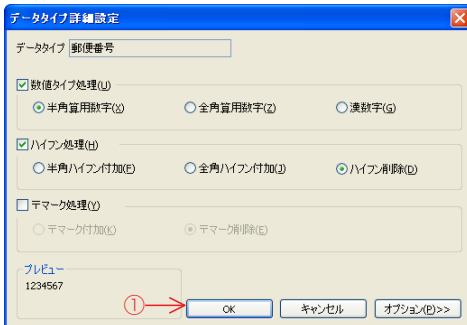
8. DB パレットのダイアログが表示されます。郵便番号のデータタイプをクリックして「文字列」から「郵便番号」に変更します①。「郵便番号」のフィールドを反転させたまま【データタイプ詳細設定】をクリックします②。



データタイプを変更する時は、「文字列」の上をクリックしてください。
選択できるコンボボックスが表示されます。

2

9. データタイプ詳細設定のダイアログが表示されます。下記の設定内容に変更し、【OK】をクリックします①。DB パレットのダイアログに戻りますので、再び【OK】をクリックします。



設定内容

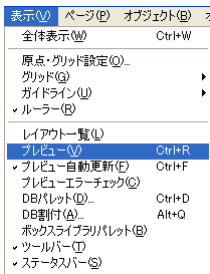
フィールド指定

- ☒ 数値タイプ処理 ☒ 半角算用数字
- ☒ ハイフン処理 ☒ ハイフン削除

アドバイス 今回の設定したサンプル画像には郵便番号枠のハイフンがあるので、DB のハイフンは不要になります。DB から読み取る際に削除します。

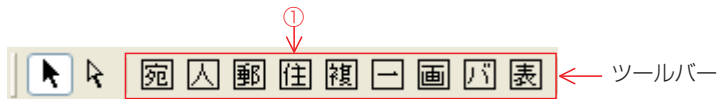
MVP チュートリアルガイド

10. プレビューでレイアウトを確認します。メニューバー → [表示] → <プレビュー>を選択すると①、プレビューウィンドウが表示されます②。

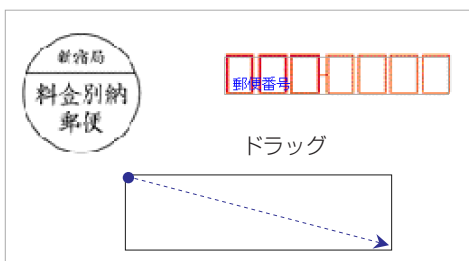


Step 5 住所ボックスを設定しましょう。

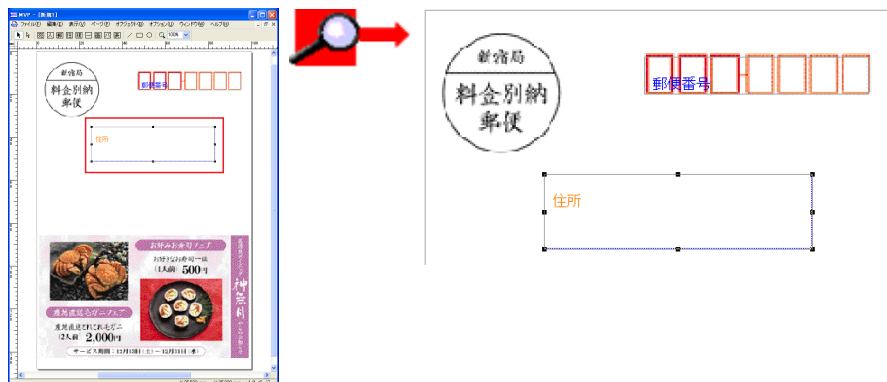
1. レイアウト画面に住所ボックスを作成します。ツールバー → [住]をクリックします①。



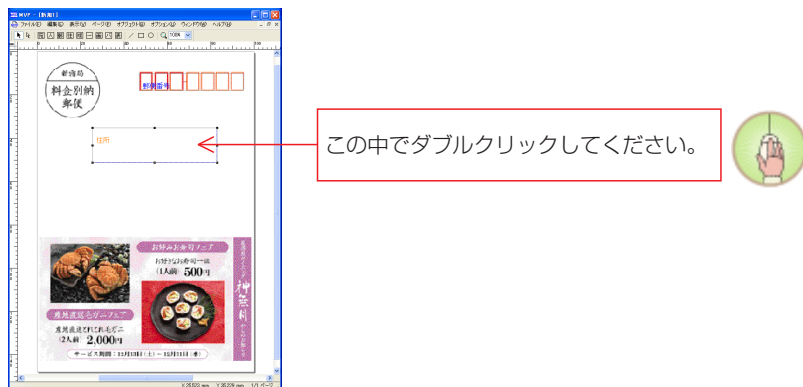
2. レイアウト画面の中でドラッグします。



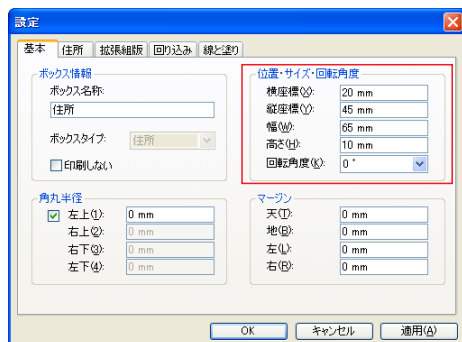
3. レイアウト画面に任意の大きさの住所ボックスを作成します。



4. 住所ボックスの位置・サイズを設定します。住所ボックスをダブルクリックします。



5. 設定のダイアログが表示されます。下記の設定内容に変更します。

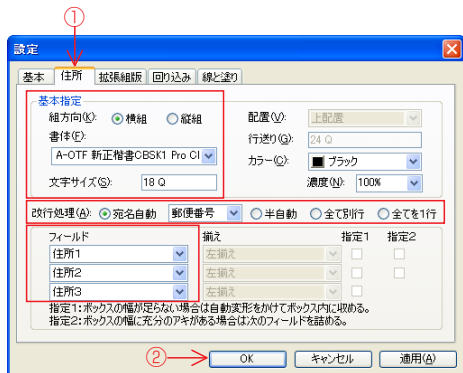


設定内容

位置・サイズ

横座標：「20mm」 縦座標：「45mm」
幅：「65mm」 高さ：「10mm」

6. 住所ボックスの設定をします。〔住所〕タブをクリックして①、下記の設定内容に変更し、〔OK〕をクリックします②。



設定内容

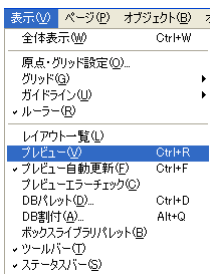
基本指定

文字サイズ:「18Q」

改行処理:「宛名自動」「郵便番号」

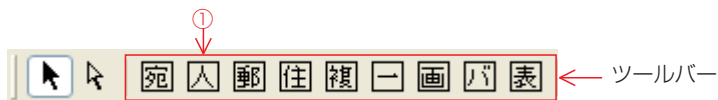
フィールド:「住所1」「住所2」「住所3」

7. プレビューでレイアウトを確認します。メニューバー → [表示] → <プレビュー>を選択すると①、プレビューウィンドウが表示されます②。

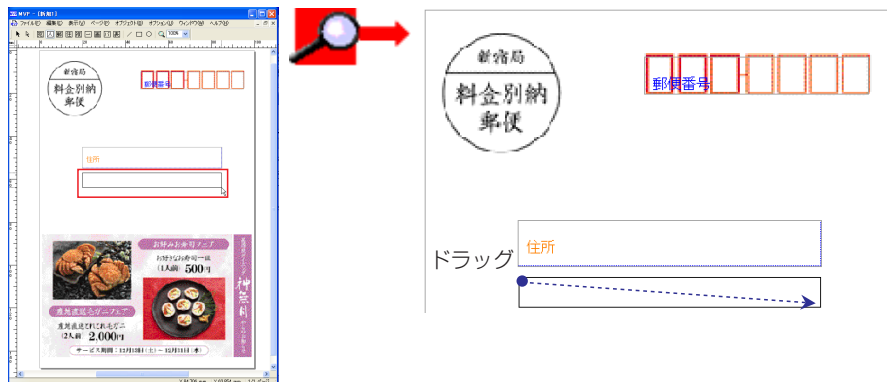


Step 6 人名ボックスを設定しましょう。

1. レイアウト画面に人名ボックスを作成します。ツールバー → 人 をクリックします①。



2. レイアウト画面の中でドラッグします。

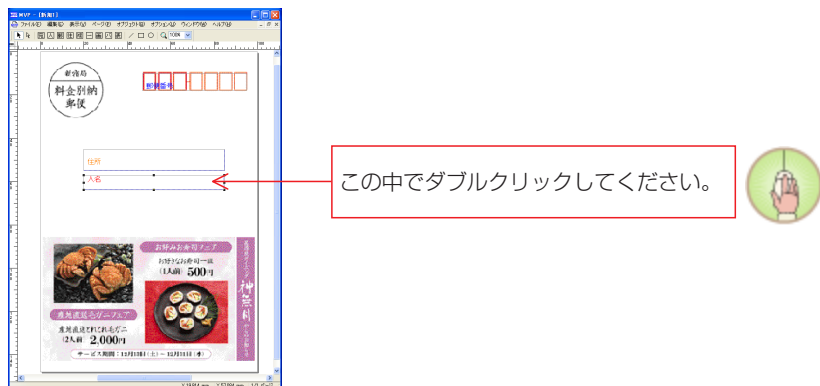


2

3. レイアウト画面に任意の大きさの人名ボックスを作成します。



4. 人名ボックスの位置・サイズを設定します。人名ボックスをダブルクリックします。



5. 設定のダイアログが表示されます。下記の設定内容に変更します。

設定内容

位置・サイズ

横座標：「30mm」 縦座標：「60mm」
幅：「50mm」 高さ：「6mm」

6. 人名ボックスの設定をします。〔人名・敬称〕タブをクリックして①、下記の設定内容に変更し、【OK】をクリックします②。

設定内容

基本指定

文字サイズ：「24Q」

揃え：☒ 自動振り分け

フィールド指定

姓(名)：「姓」

名：「名」

☒ 敬称の有無

☒ 固定テキスト：「様」

氏名とのアキ：「3mm」

アドバイス 自動振り分けに を入れると、姓名のバランスを取るために自動的に文字の間にスペースが入ります。

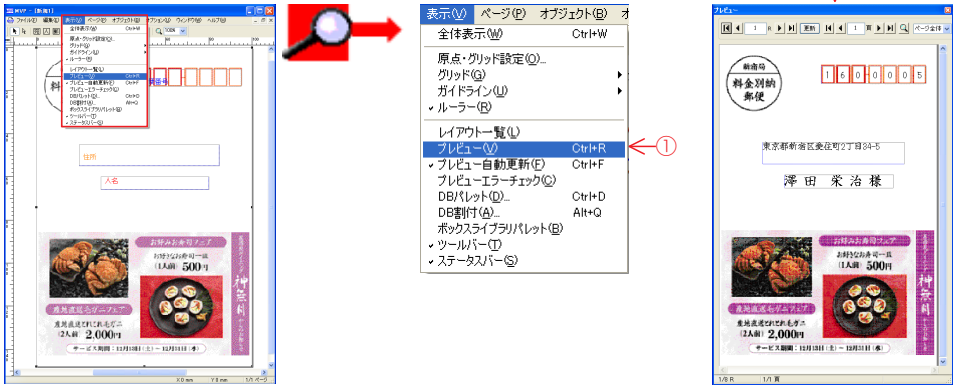
☒ 自動振り分け設定あり

澤田 栄治 様

☐ 自動振り分け設定なし

澤田栄治 様

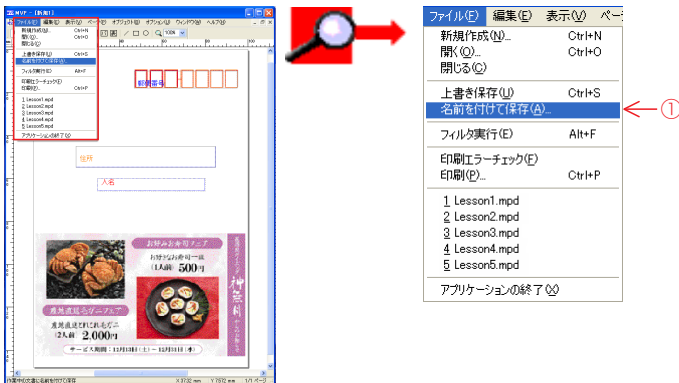
7. プレビューでレイアウトを確認します。メニューバー → [表示] → <プレビュー>を、選択すると①、プレビューウィンドウが表示されます②。



Step 7 保存と面付け印刷をしましょう。

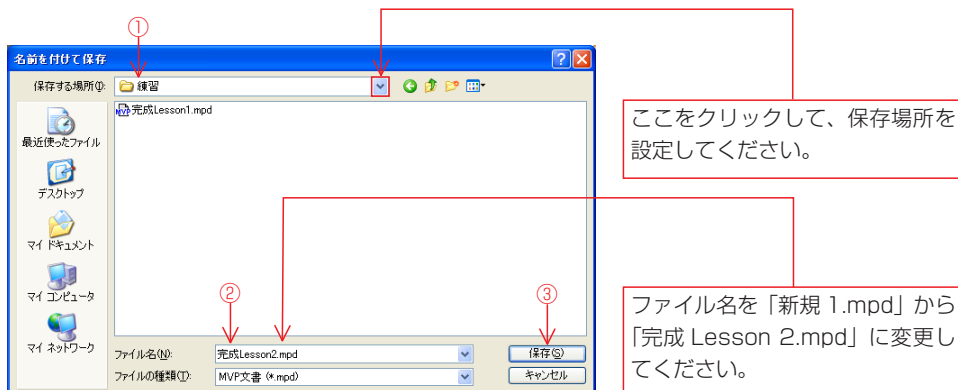
完成したデータに名前をつけて保存します。

1. メニューバー → [ファイル] → <名前を付けて保存>をクリックします①。

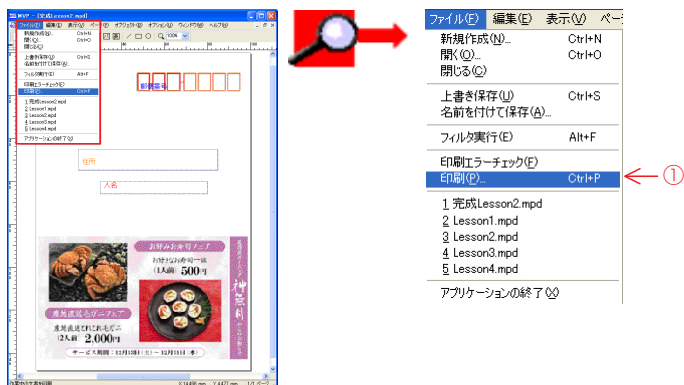


MVP チュートリアルガイド

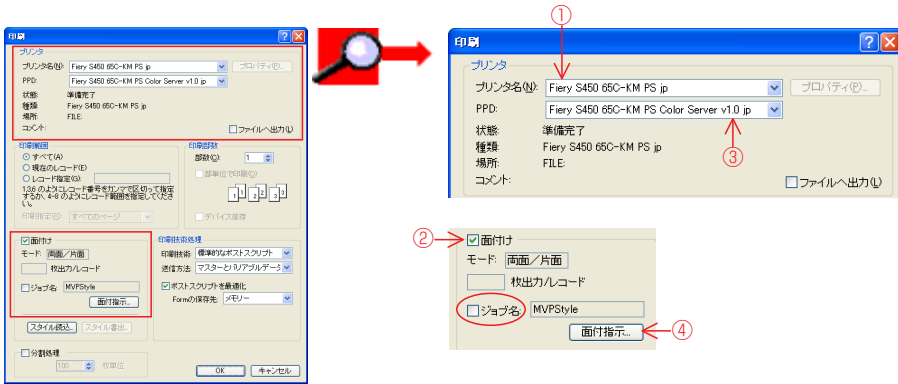
2. 名前を付けて保存のダイアログが表示されます。“C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル¥練習”の中に保存します①。ファイル名を「完成 Lesson 2.mpd」に変更し②、【保存】をクリックします。③



3. 作成した「完成-Lesson 2.mpd」を、A4 用紙に横 2 面、縦 2 面に面付けして印刷します。メニューバー → [ファイル] → <印刷>をクリックします①。



4. 印刷のダイアログが表示されます。**プリンタ**のプリンタ名を< Fiery S450 65C-KM PS jp >に設定して①、面付けをチェックし②、**プリンタ**の PPD を< Fiery S450 65C-KM PS Color Server v1.0 jp >に設定し③、**【面付指示】**をクリックします④。

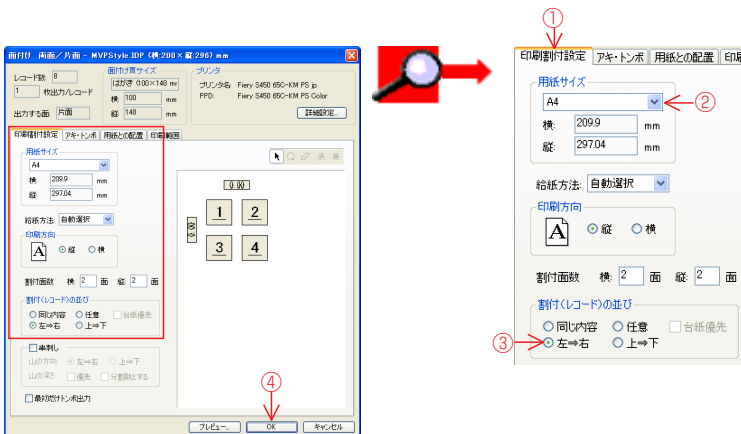


2

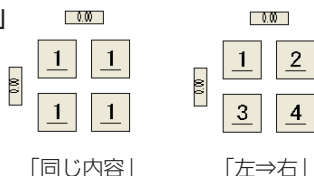
アドバイス 「ジョブ名」はプリンタへ送るファイル名のことです。チェックを入れるとファイル名を入力できます。面付指示で設定したスタイルファイルを読み込んだときは、そのファイル名が「ジョブ名」になります。

アドバイス プリンタ名、PPD はご使用のプリンタドライバと PPD 名に置き換えてお読みください。また、PPD ファイルは「C:\¥Morisawa¥MVP¥PPD」の中に入れてください。

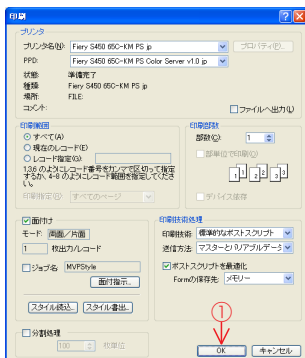
5. 面付け (両面 / 片面-MVP style IDP) のダイアログが表示されます。[印刷割付設定] のタブを選択して①、用紙サイズを「A4」に設定します②。割付 (レコード並び) の「左⇒右」を選択し③、**【OK】** をクリックします④。



アドバイス 割付 (レコード並び) を「同じ内容」から「左⇒右」に設定を変えるとレコードの並びが右図のようになります。



6. 印刷のダイアログに戻ります。【OK】をクリックすると印刷されます①。



アドバイス 面付け指定が行なえるのは、プリンタ名で PS プリントドライバを選択したときのみです。ダムプリンタドライバを選択したときは、面付け、PPD の項目は設定出来ません。また面付けを指示したときは、プロパティは【面付指示】内の〔印刷割付設定〕で行ってください。

これで Lesson 2 は終了です。

Lesson 3 目次

Lesson 3 はがきの裏面を作成しましょう	39
Step 1 ハガキの裏面設定をしましょう。	40
Step 2 画像ボックスを設定しましょう。	42
Step 3 一行テキストボックスを設定しましょう。	45
Step 4 複数行テキストボックスを設定しましょう。	47
Step 5 組版コマンド機能を設定しましょう。	52
Step 6 保存と印刷をしましょう。	55

Lesson 3 はがきの裏面を作成しましょう

Step 1

はがきの裏面設定をしましょう。

Lesson 2 で作成したはがきの裏面を作成します。

Step 2

画像ボックスを設定しましょう。

Lesson 2 と同じく、固定画像の設定を行ないます。

3

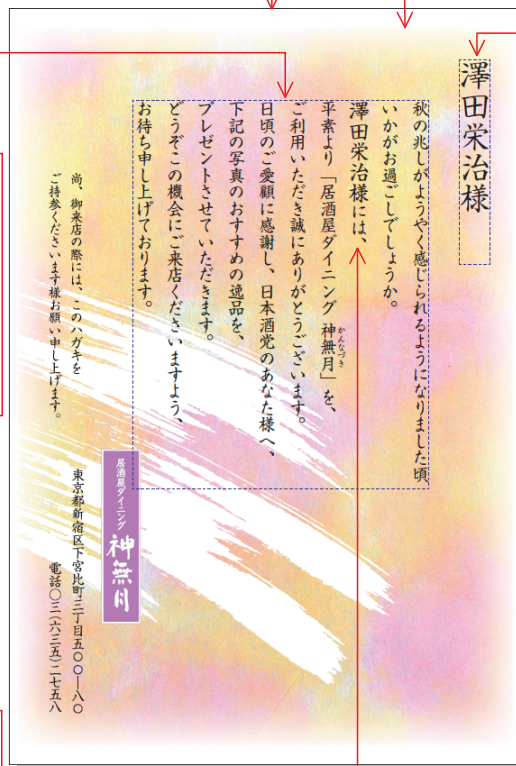
Step 4

複数行テキストボックスを設定しましょう。

複数行テキストボックスで、可変にする項目を設定します。

Step 3

一行テキストボックスを設定しましょう。
一行テキストボックスで可変にする項目を設定します。



Step 6

保存と印刷をしましょう。

A4 サイズの用紙
にはがきを4つ並
べて印刷します。



Step 5

組版コマンド機能を
設定しましょう。

組版コマンドを使用
して文字サイズなど
を変更します。

環境設定：位置／長さ「ミリ：mm」文字「級数：Q」

基本属性：組方向／「縦組」書体／A-OTF 新正楷書 CBSK 1 Pro CBSK1」

文字サイズ：「24Q」行送り：「24Q」

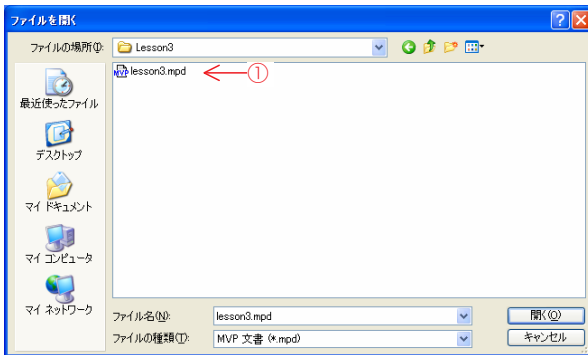
Step 1 ハガキの裏面設定をしましょう。

Lesson 2 で作成した「はがき」の裏面を作成します。作成にはあらかじめ用意してある雛形を使います。

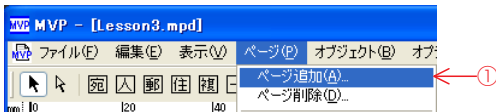
1. メニューバー → [ファイル] → <開く>をクリックします①。



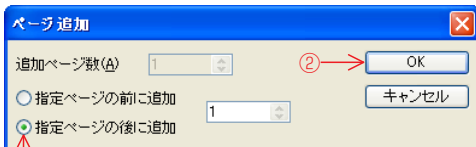
2. 雛形は「C:¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥Lesson 3」の中にある「Lesson 3.mpd」を選択し①、【開く】をクリックします②。



3. メニューバー → [ページ] → <ページ追加>をクリックします①。



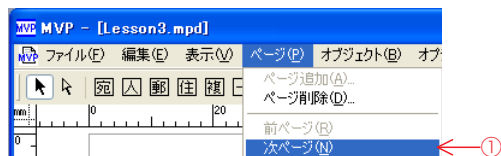
4. ページ追加のダイアログが表示されます。「指定ページの後に追加」を選択して①、【OK】をクリックします②。



アドバイス 【OK】をクリックしても画面上は変わりません。ページ追加の確認は画面下のステータスバーで確認することができます。ページ追加されるとページ数が変わります。

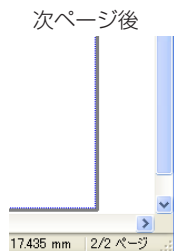
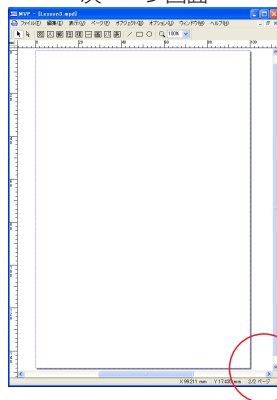


5. 追加されたページを表示するには、メニューバー → [ページ] → <次ページ>を選択します①。
 戻る場合は、<前ページ>を選択します。




6. 次ページ画面が表示されます。

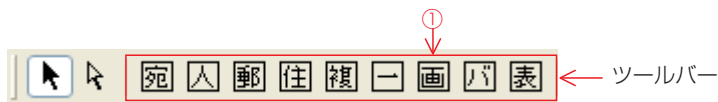
次ページ画面



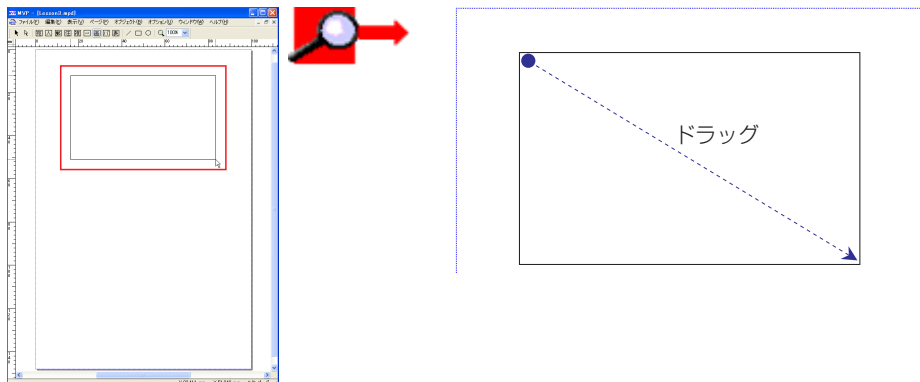
アドバイス 前ページ（現在のページより一つ前のページを表示）：Page Up キー
 次ページ（現在のページより一つ後のページを表示）：Page Down キー

Step 2 画像ボックスを設定しましょう。

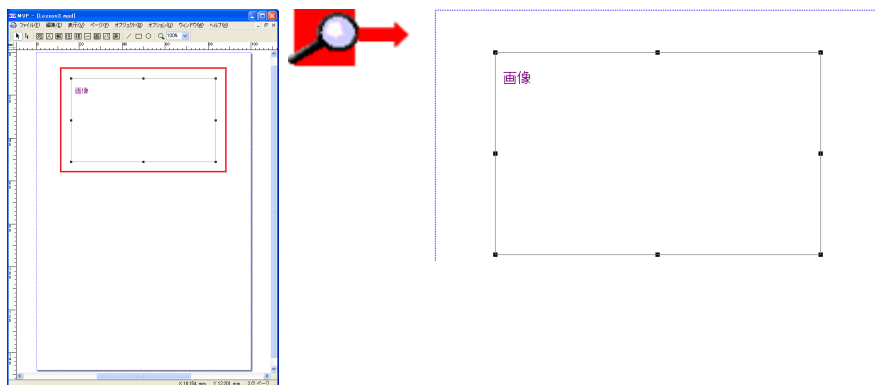
1. レイアウト画面に画像ボックスを作成します。ページ追加をした画面で、ツールバー →  をクリックします①。



2. レイアウト画面の中で、ドラッグします。

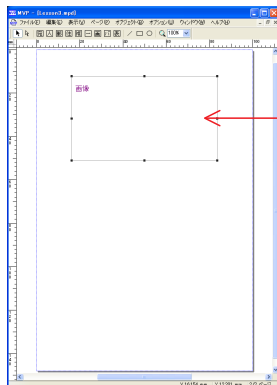


3. レイアウト画面に任意の大きさの画像ボックスを作成します。



MVP チュートリアルガイド

4. 画像ボックスの位置・サイズを設定します。画像ボックスをダブルクリックします。

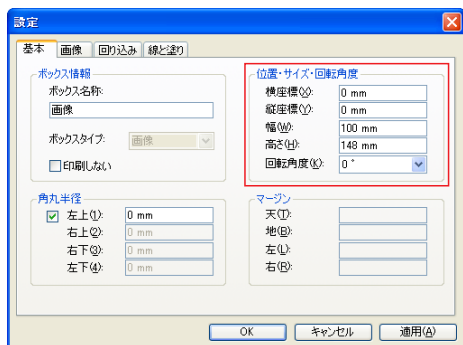


この中でダブルクリックしてください。



アドバイス ボックスを選択した状態でメニューバー → [オブジェクト] → <設定> を選択しても、設定ダイアログが表示されます。

5. 設定ダイアログが表示されます。位置・サイズの数値を下記の設定内容の数値に変更し、【OK】をクリックします①。

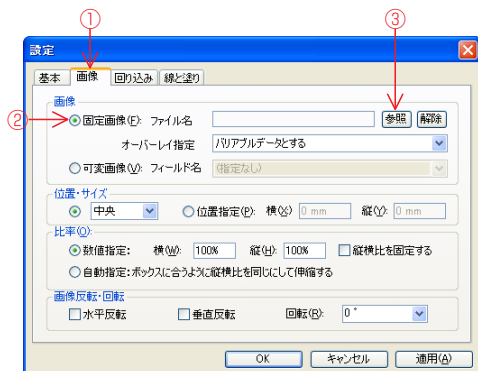


設定内容

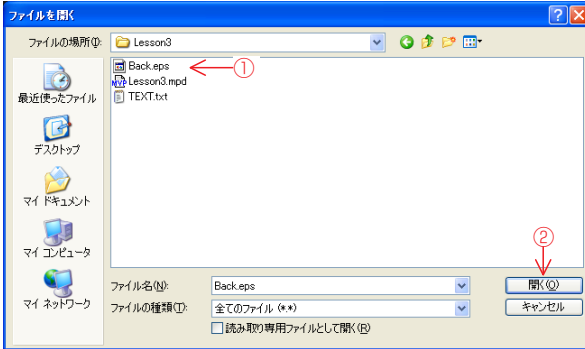
位置・サイズ

横座標: 「0mm」 縦座標: 「0mm」
幅: 「100mm」 高さ: 「148mm」

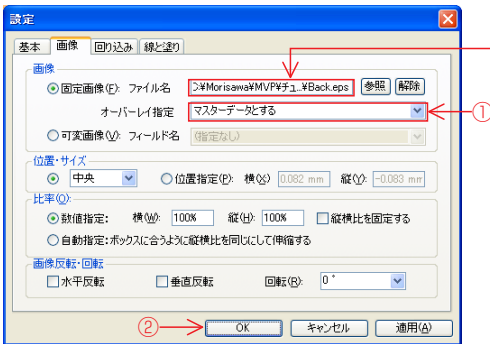
6. サンプル画像を画像ボックスに配置します。[画像] タブをクリックして①、次に固定画像を選択し②、【参照】をクリックします③。



7. ファイルを開くのダイアログが表示されます。“C:¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥Lesson3” の中にある「Back.eps」選択し①、【開く】をクリックします②。



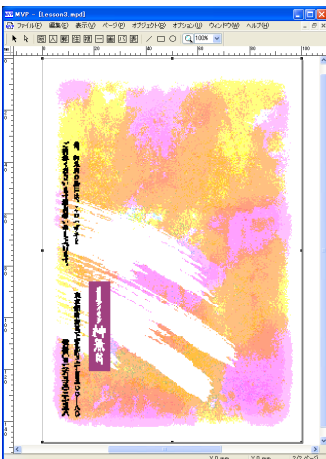
8. オーバーレイ指定を「マスターデータとする」に設定し①、【OK】をクリックします②。



選択した画像のパスが表示されます。

アドバイス オーバーレイ指定で「マスターデータとする」を選択すると、常に画像は最背面に表示されます。「オーバーレイ指定」の詳細につきましては、付録をご覧ください。

9. 画像ボックスに画像が配置されます。

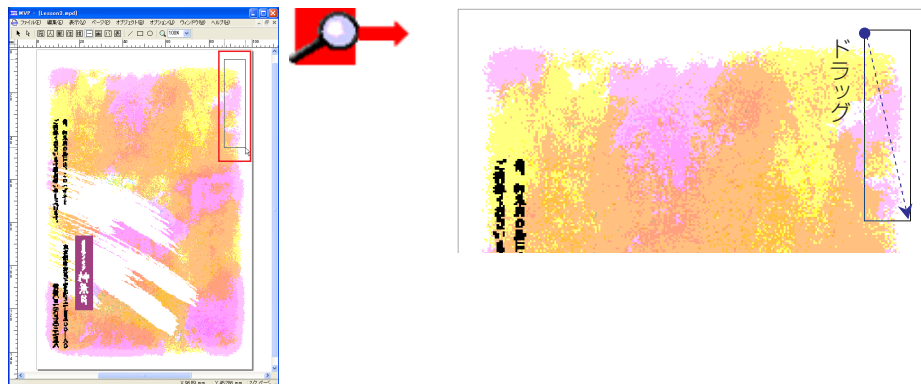


Step 3 一行テキストボックスを設定しましょう。

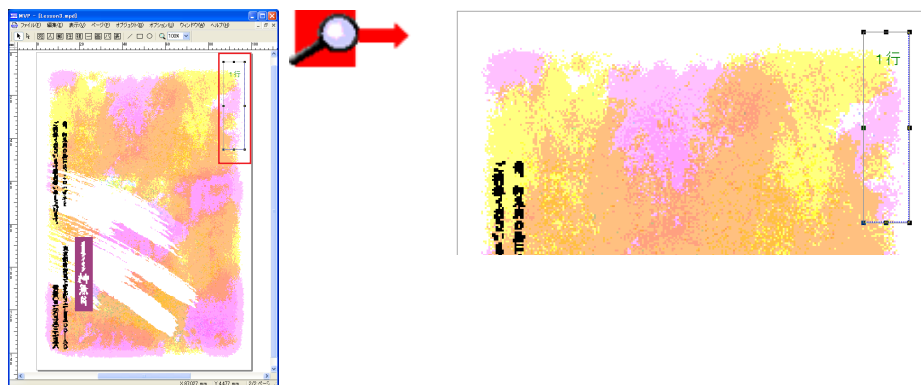
1. レイアウト画面に一行テキストボックスを作成します。ツールバー →  をクリックします①。



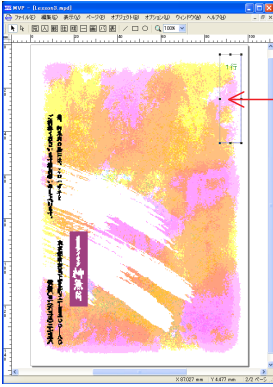
2. レイアウト画面の中でドラッグします。



3. レイアウト画面に任意の大きさの一行テキストボックスを作成します。



4. 一行テキストボックスの位置・サイズを設定します。一行テキストボックスをダブルクリックします。

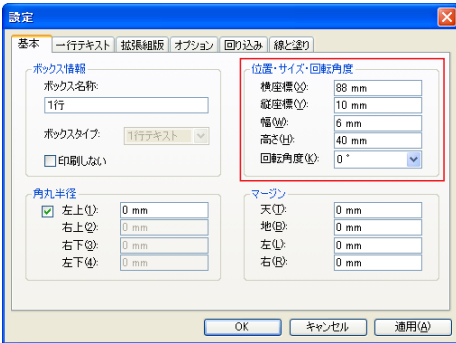


この中でダブルクリックしてください。



3

5. 設定のダイアログが表示されます。位置・サイズの数値を下記の設定内容の数値に変更します。



設定内容

位置・サイズ

横座標：「88mm」 縦座標：「10mm」

幅：「6mm」 高さ：「40mm」

- ①



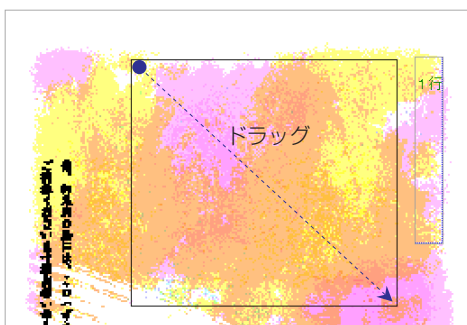
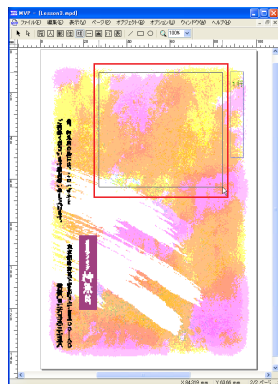
- ると①、プレビューウィンドウが表示されます②。



①。

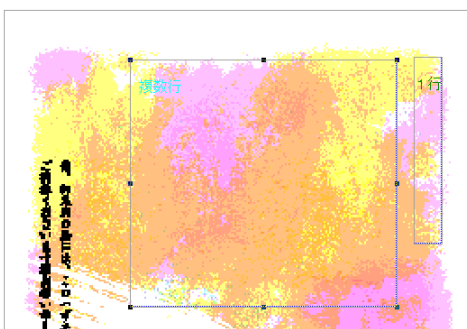
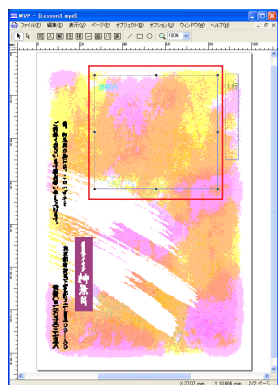


2. レイアウト画面でドラッグします。

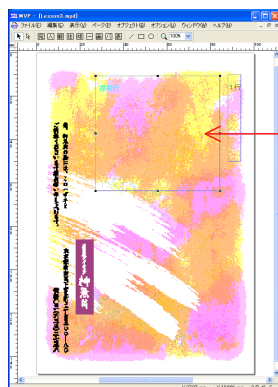


3

3. レイアウト画面に任意の大きさの複数行テキストボックスを作成します。



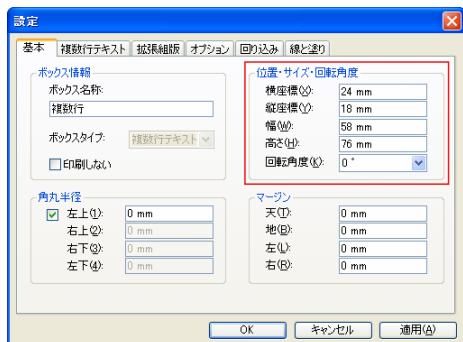
4. 複数行テキストボックスの位置・サイズを設定します。複数行テキストボックスをダブルクリックします。



この中でダブルクリックしてください。



5. 設定のダイアログが表示されます。位置・サイズの数値を下記の設定内容の数値に変更します。

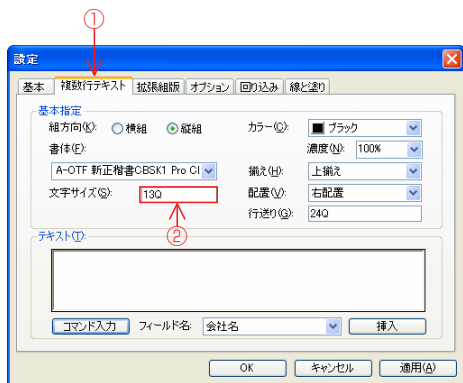


設定内容

位置・サイズ

横座標: 「24mm」 縦座標: 「18mm」
幅: 「58mm」 高さ: 「76mm」

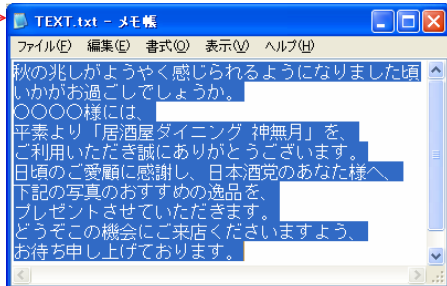
6. 複数行テキストボックスの設定をします。〔複数行テキスト〕タブをクリックし①、文字サイズを「13Q」にします②。



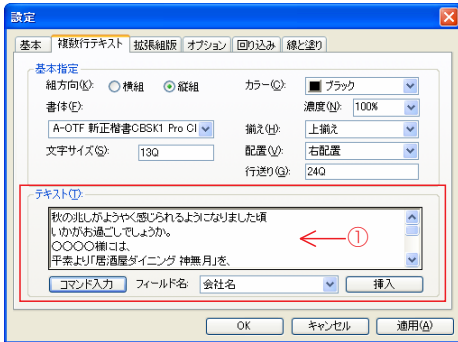
7. テキストのテキストエリアにサンプルのテキスト文章をコピーして貼り付けます。
“C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル¥Lesson3”の中にある「TEXT.txt」をメモ帳で開き
①、テキストをすべて選択してコピーします②。



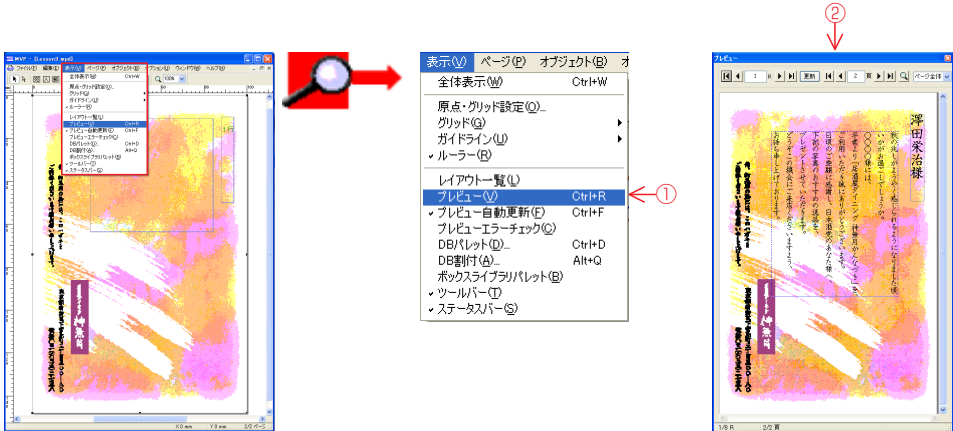
テキストを開いてください。



8. 手順7でコピーしたテキストを設定のテキストエリアに貼り付けます①。

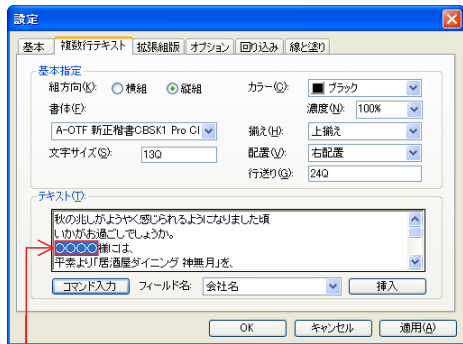


9. プレビューでレイアウトを確認します。メニューバー → [表示] → <プレビュー>を選択すると①、プレビューウィンドウが表示されます②。(プレビューウィンドウを表示したまま次の手順に進んでください)

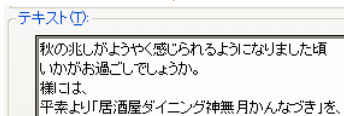
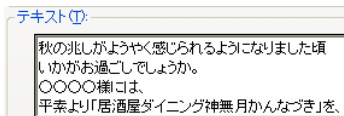


アドバイス プレビュー画面を常に表示しておくと、設定した組版結果のレイアウトを確認することができます。

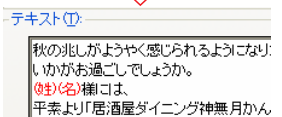
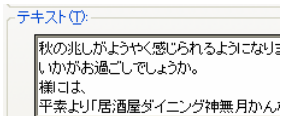
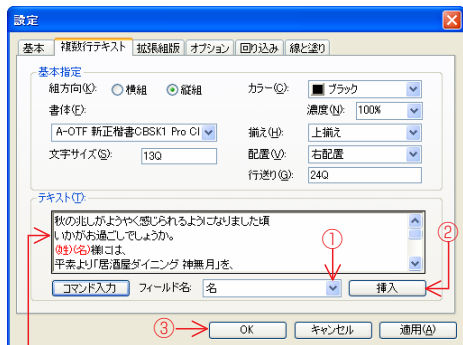
10. テキストのテキストエリアに可変にする「姓・名」を設定します。テキストの「〇〇〇〇様」の「〇〇〇〇」を削除します。



「〇〇〇〇」を削除してください。

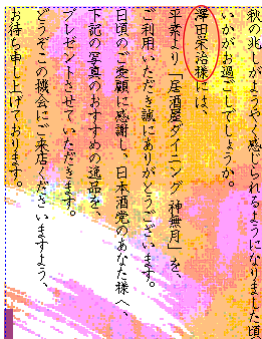


11. カーソルを「様」の前に置き、フィールド名より「姓」を選択し①、【挿入】をクリックします②。同じように、「姓」の後に「名」も挿入します。テキスト内に (姓) (名) が挿入されます。【OK】をクリックします③。



テキストエリアにフィールド名を挿入する際は、必ず設定しない場所にカーソルを置いてください。

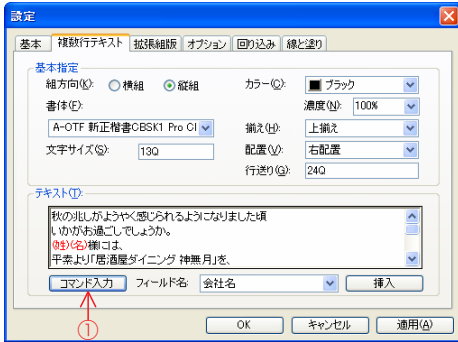
12. プレビューでレイアウトを確認します。



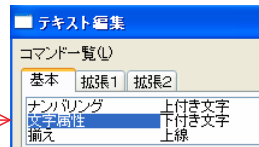
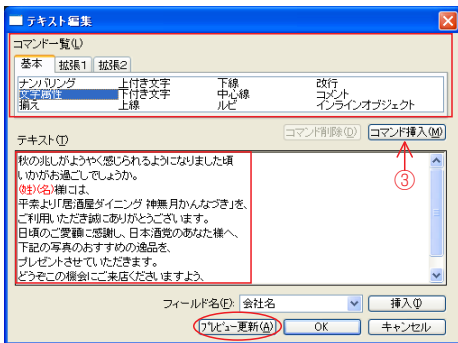
Step 5 組版コマンド機能を設定しましょう。

組版コマンドを使って、文字サイズの変更と、ルビを付けます。

1. テキストの中の【コマンド入力】をクリックします①。



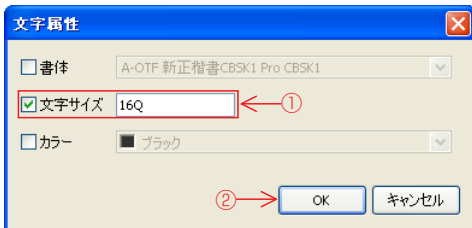
2. テキスト編集のダイアログが表示されます。テキストの文書内で編集する箇所をドラッグし、コマンド一覧より編集するコマンドを選びます。今回は「(姓)(名)様」の文字サイズを大きくします。テキストの「(姓)(名)様」をドラッグし①、コマンド一覧の「基本」タブより「文字属性」を選択して②、【コマンド挿入】をクリックします③。



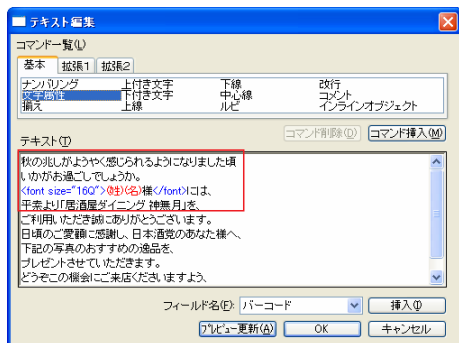
秋の兆しがようやく感じられるようになりました頃、いかがお過ごしでしょうか。
 (姓)(名)様には、
 平素より「居酒屋ダイニング 神無月」を、
 ご利用いただき誠にありがとうございます。

アドバイス プレビュー画面を表示しておくと、【プレビュー更新】をクリックするだけで、組版結果を確認することができます。

3. 文字属性のダイアログが表示されます。文字サイズにチェックを入れ、フォントを「16Q」と入力し①、【OK】をクリックします。②



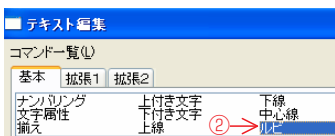
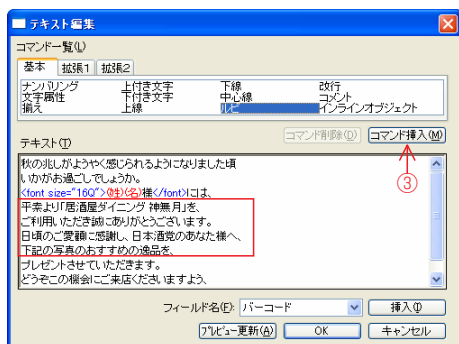
4. 「(姓)・(名)様」の前後に組版コマンドが青色で挿入されます。



秋の差しがようやく感じられるようになりました頃、いかがお過ごしでしょうか。

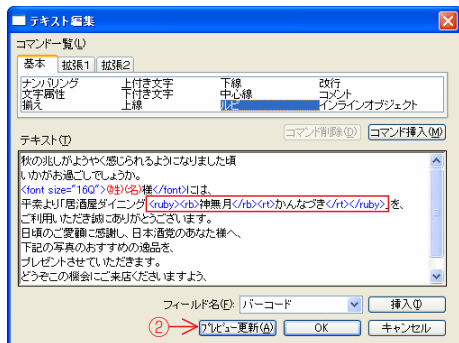
<(姓)<(名)<\"様\"\"は、平素より「居酒屋ダイニング 神無月」を、

5. テキスト内の「居酒屋ダイニング神無月」の「神無月」にルビを付けます。テキストの「神無月」をドラッグして①、コマンド一覧より「ルビ」を選択し②、【コマンド挿入】をクリックします③。



平素より「居酒屋ダイニング 神無月」を、ご利用、いただき誠にありがとうございます。日頃のご愛顧に感謝し、日本酒覚のあな様へ、下記の写真のおすすめの逸品を、

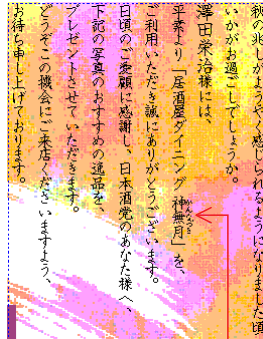
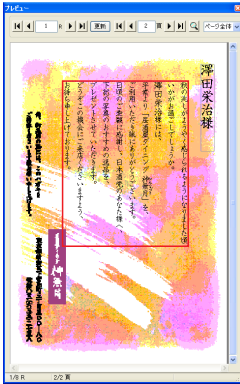
6. 「神無月」に組版コマンドが設定されます。【ルビ文字】を削除し、ひらがなで<かなづき>と入力します①。【プレビュー更新】をクリックします②。



<ruby><rb>神無月</rb><rt><\"ルビ文字\"</rt></ruby>\"を、うございます。

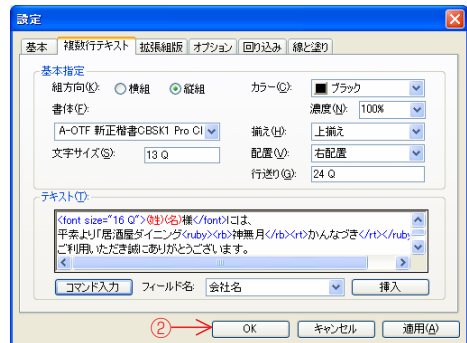
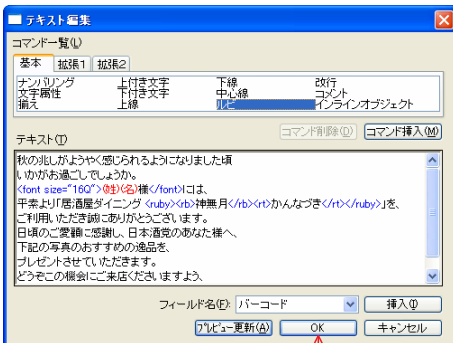
<ruby><rb>神無月</rb><rt><かなづき\"</rt></ruby>\"を、うございます。

7. 更新されたプレビューが表示されます。

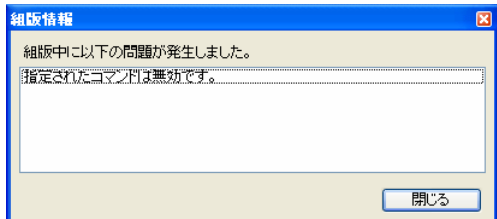


〔姓・名〕は文字サイズが16Qになり、「神無月」には、ルビが付きます。

8. 【OK】をクリックし、テキスト編集ダイアログを終了します①。設定ダイアログに戻りますので、再び【OK】をクリックします②。



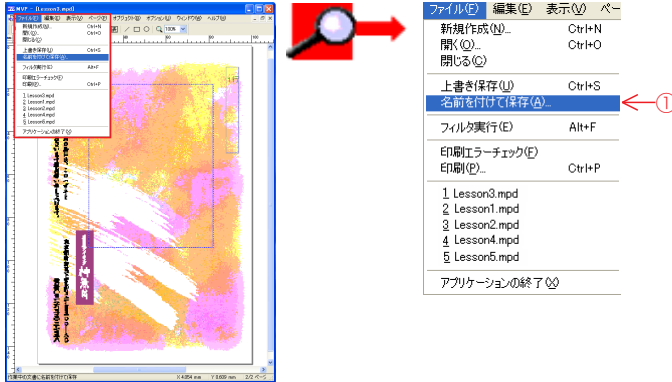
アドバイス プレビュー画面を表示した状態で【プレビュー更新】をクリックした際、コマンド設定に誤りがあれば、右記のエラーメッセージが表示されます。また、プレビュー更新をせずに、【OK】をクリックしてテキスト編集ダイアログを閉じた際、設定ダイアログの【OK】または【適用】をクリックすると、同じエラーメッセージが表示されます。



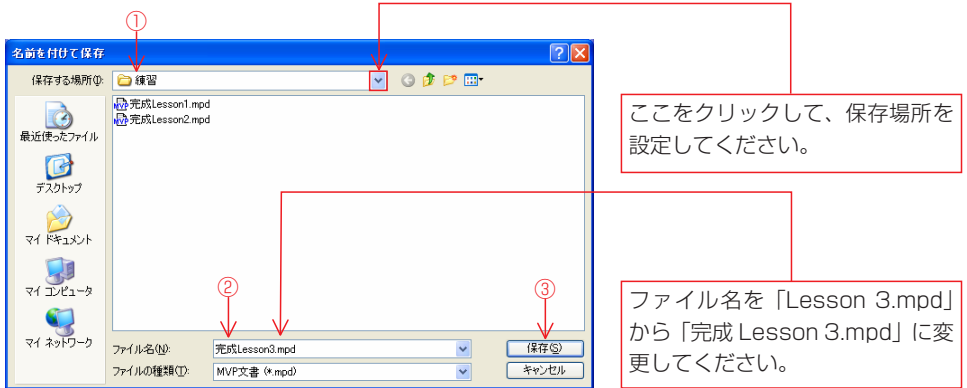
Step 6 保存と印刷をしましょう。

完成したデータに名前を付けて保存します。

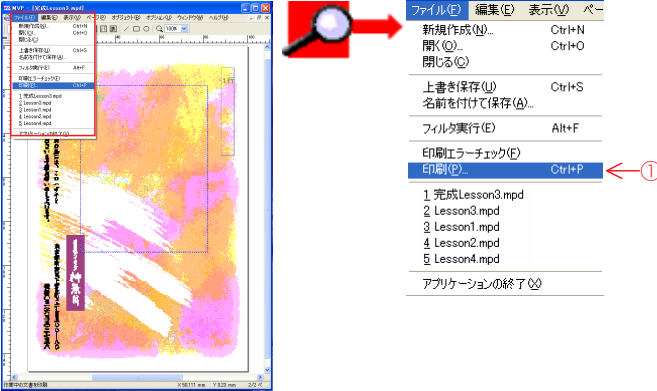
1. メニューバー「ファイル」→ <名前を付けて保存>をクリックします①。



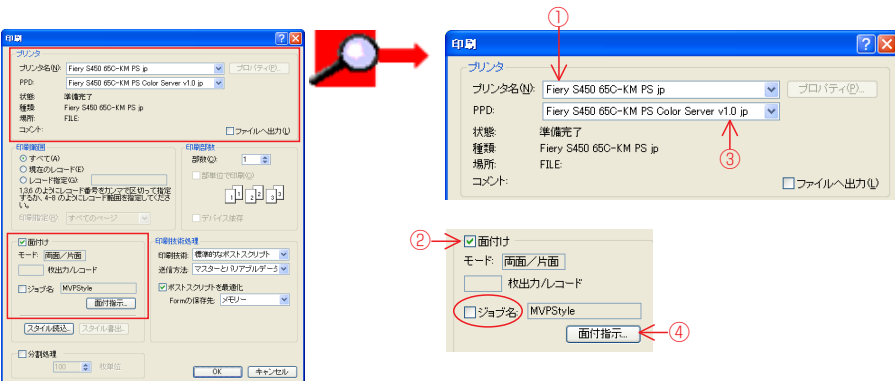
2. 名前を付けて保存のダイアログが表示されます。「C:¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥ 練習」の中に保存します①。ファイル名を「完成 Lesson 3.mpd」に変更し②、【保存】をクリックします③。



3. 作成した「完成 Lesson 3.mpd」を、A4 用紙に横2面、縦2面に面付けして印刷します。×
ニューバー → 「ファイル」 → <印刷>をクリックします①。

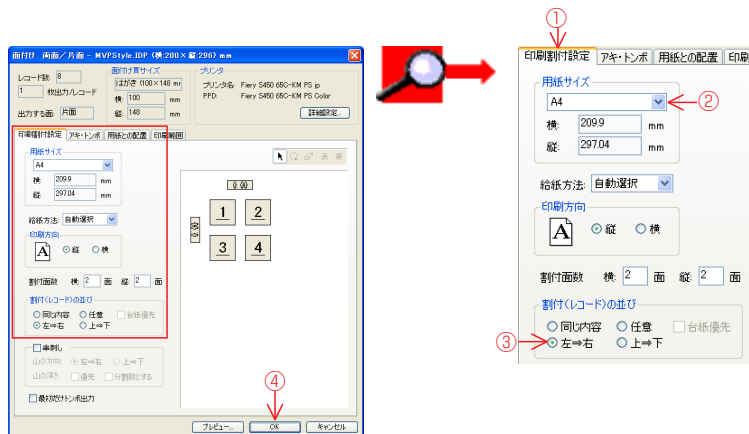


4. 印刷ダイアログが表示されます。**プリンタ**のプリンタ名を< Fiery S 450 65C-KM PS jp >
に設定して①、面付けをチェックし②、**プリンタ**の PPD を< Fiery S 450 65C-KM PS Color
Server v1.0 jp >設定し③、**【面付指示】**をクリックします④。

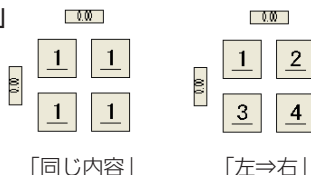


アドバイス プリンタ名、PPD はご使用のプリンタドライバと PPD 名に置き換えてお読みください。また、PPD ファイルは “C:¥Morisawa¥MVP¥PPD” の中に入れてください。

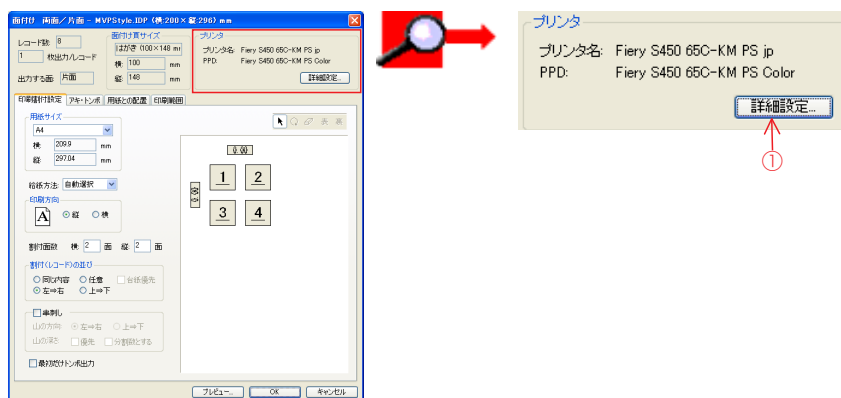
5. 面付け (両面 / 片面-MVP style IDP) のダイアログが表示されます。[印刷割付設定] のタブを選択して①、用紙サイズを「A4」に設定し②、**割付 (レコード並び)** の「左⇒右」を選択します③。



アドバイス 割付 (レコード並び) を「同じ内容」から「左⇒右」に設定を変えるとレコードの並びが右図ようになります。

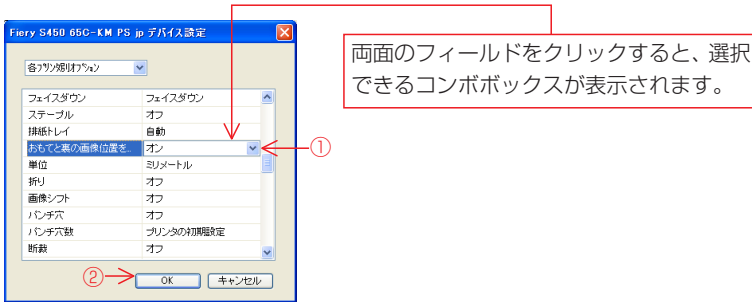


6. 両面出力の指定をします。プリンタの【詳細設定】をクリックします①。



アドバイス 面付け指定が行なえるのは、プリンタ名で PS プリンタドライバを選択したときのみです。ダムプリンタドライバを選択したときは、面付け、PPD の項目は設定出来ません。また、面付けを選択したときは、プロパティは【面付指示】内の【詳細設定】で行なってください。

7. Fiery S450 65C-KM PS jp デバイス設定のダイアログが表示されます。おもてと裏の画面位置を合わせるのフィールドをクリックして「オフ」から「オン」に変更し①、【OK】をクリックします②。



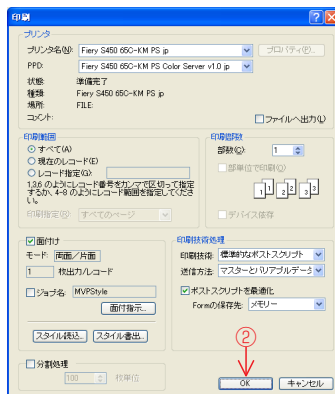
<表面>



<裏面>



8. 面付け (両面 / 片面・MVP style IDP) のダイアログに戻ります。【OK】をクリックします①。印刷のダイアログに戻ります。【OK】をクリックすると印刷されます②。



面付けの台紙サイズについて

面付け 両面／片面 - MVPStyle.IDP (横:212×縦:305) mm

レコード数: 10
1 枚出力/レコード
出力する面: 片面

面付け頁サイズ
名刺 (55×91 mm)
横: 91 mm
縦: 55 mm

プリンタ
プリンタ名:
PPD:

印刷割付け設定 アキ・トノボ 用紙との配置 印刷範囲

用紙サイズ
A4
横: 209.9 mm
縦: 297.04 mm

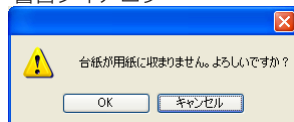
給紙方法: 自動選択

印刷方向
A 縦 横

割片面数 横: 2 面 縦: 5 面

アドバイス ダイアログバーには面付けした結果の出力サイズが表示されます①。サイズは面付け頁サイズ②×割片面数③です。この数値が用紙サイズ④の数値より大きい場合は警告ダイアログが表示されます⑤。【OK】を選択した場合は、「用紙サイズ」を超えた部分は印字されません。

警告ダイアログ



用紙との配置について

アドバイス 面付けウィンドウの「用紙との配置」タブを選択すると、用紙と台紙の配置が表示されます。「用紙に合わせる」にチェックを入れると、台紙サイズを縦横比固定で拡大縮小して、用紙サイズに合わせて印刷します。

また、「表と裏が異なる」にチェックを入れると、表版と裏版で異なる設定をすることができます。

面付け 両面／片面 - MVPStyle.IDP (横:212×縦:305) mm

レコード数: 10
1 枚出力/レコード
出力する面: 片面

面付け頁サイズ
名刺 (55×91 mm)
横: 91 mm
縦: 55 mm

プリンタ名: PPD
PPD: Fairy S450 650-KM PS in
Fairy S450 650-KM PS Color

印刷割付け設定 アキ・トノボ 用紙との配置 印刷範囲

用紙との配置
☒ 用紙に合わせる
表版(前面)
横方向: センタリング
オフセット: -1.05 mm
縦方向: センタリング
オフセット: -3.98 mm
☒ 表と裏が異なる
裏版
横方向: センタリング
オフセット: 0 mm
縦方向: センタリング
オフセット: 0 mm
バックグラウンド
文字色: 黒
フォント: (MS Pゴシック) 12

用紙に合わせる
表版(前面)
横方向: センタリング
オフセット: -1.05 mm
縦方向: センタリング
オフセット: -3.98 mm
裏版
横方向: センタリング
オフセット: 0 mm
縦方向: センタリング
オフセット: 0 mm

これで Lesson 3 は終了です。

Lesson 4 目次

Lesson 4 名刺を作成しましょう	61
Step 1 名刺の雛形を開きましょう。	62
Step 2 作成済みのボックスタイプを変更しましょう。	63
Step 3 DB パレットでデータを取り込みましょう。	64
Step 4 それぞれのボックスを設定しましょう。	66
Step 5 印刷エラーチェックをしましょう。	73
Step 6 DB パレットを応用してみましょう。＜その1＞	78
Step 6 DB パレットを応用してみましょう。＜その2＞	86
Step 6 DB パレットを応用してみましょう。＜その3＞	90
Step 7 保存と印刷をしましょう。	94

Lesson 4 名刺を作成しましょう

4


WORLD TRAVEL CENTER

営業部/営業一課/課長

 ほ て い う た ひ こ
布袋 宇大彦

〒556-0012

大阪市浪速区敷津東2-6-25

TEL: 06-6649-2151 FAX: 06-6649-2153

携帯: 090-1234-0001

e-mail: hotel@morisawa-mvp.co.jp

Step 1

名刺の雛形を開きましょう。

MVP を起動し、雛形を開きます。

Step 2

作成済みのボックスタイプを変更しましょう。

作成済みのボックスタイプを違うタイプのボックスタイプに変更します。

Step 3

DB パレットでデータを取り込みましょう。

DB パレットに 10 人分の名刺データを取り込みます。

Step 5

印刷エラーチェックをしましょう。

印刷を行う前に、組版結果に問題がないか、エラーチェックをします。

Step 7

保存と印刷をしましょう。

作成したデータを保存し、印刷します。



Step 4

それぞれのボックス設定をしましょう。

固定画像、可変画像を設定し、氏名にルビを振ります。



Step 6

DB パレットを応用してみましょう。

<その1><その2><その3>

DB パレットを応用して、色々なレイアウトを行います。

環境設定：位置／長さ「ミリ：mm」文字「級数：Q」

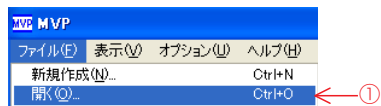
基本属性：組方向／「横組」書体／A-OTF 新正楷書 CBSK 1 Pro CBSK1」

文字サイズ：「16Q」行送り：「16Q」

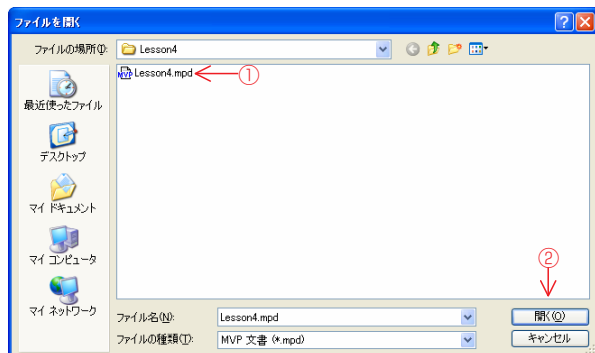
Step 1 名刺の雛形を開きましょう。

MVP を起動して、あらかじめ用意してある雛形を開きます。

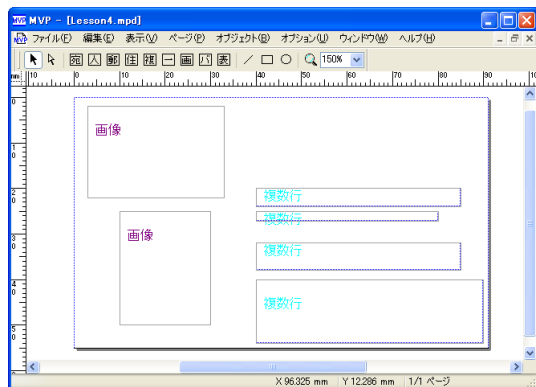
1. メニューバー → 「ファイル」 → 「開く」をクリックします①。



2. "C:\Morisawa\MVP\チュートリアル\Lesson4" の中にある「Lesson4.mpd」を選択し①、【開く】をクリックします②。

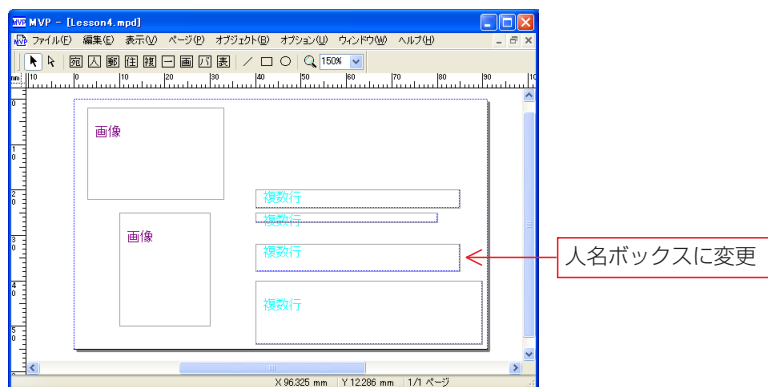


3. 名刺の雛形レイアウト画面が開きます。

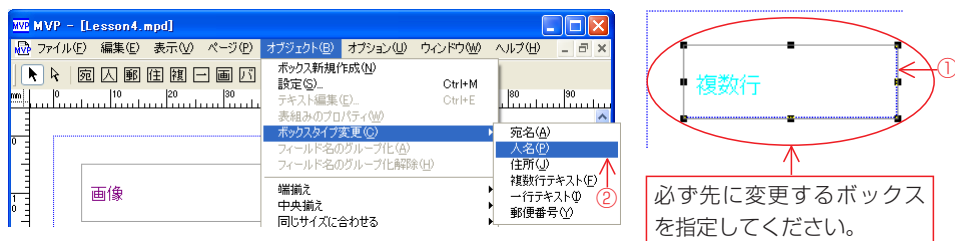


Step 2 作成済みのボックスタイプを変更しましょう。

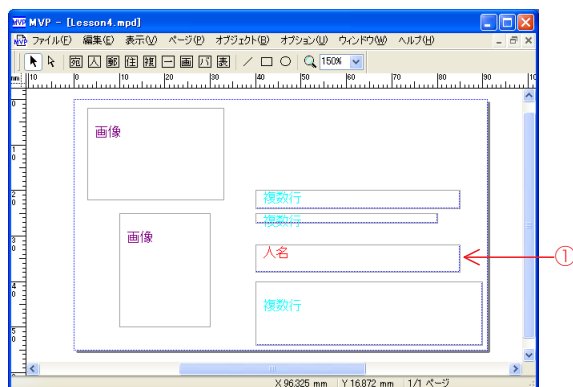
1. 4つの作成済み複数行テキストボックスのうち、1つを人名ボックスに変更します。



2. 変更するボックスをクリックし、選択します①。メニューバー → [オブジェクト] → <ボックスタイプ変更> → 《人名》をクリックします②。



3. 複数行ボックスが人名ボックスに変わります①。

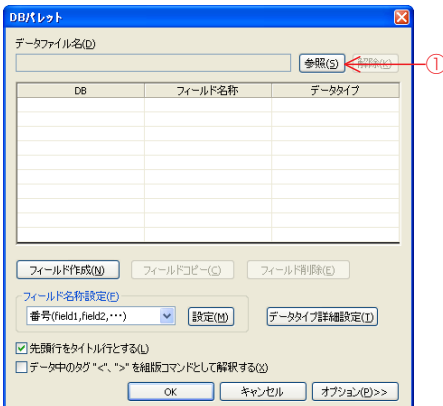


Step 3 DB パレットでデータを取り込みましょう。

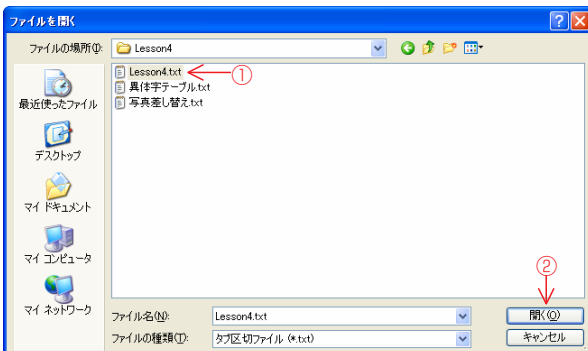
1. メニューバー → [表示] → < DB パレット > をクリックします①。



2. DB パレットのダイアログが表示されます。【参照】をクリックします①。

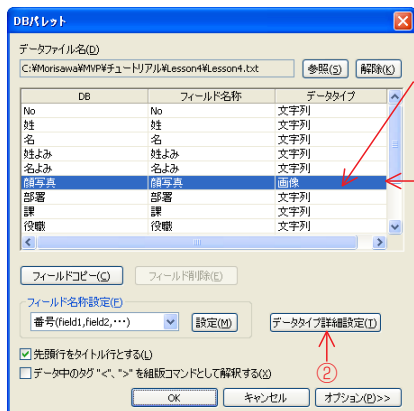


3. ファイルを開くダイアログが表示されます。"C:¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥Lesson 4¥Lesson 4.txt" 中にある「Lesson.4txt」を選択し①、【開く】をクリックします②。



MVP チュートリアルガイド

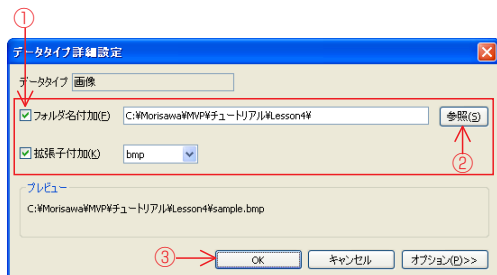
4. DB パレットに顧客データの各フィールドが表示されます。「顔写真」のデータタイプをクリックして「文字列」から「画像」に変更し①、「顔写真」のフィールドを反転させたまま【データタイプ詳細設定】をクリックします②。



データタイプを変更する時は、「文字列」の上をクリックしてください。
選択できるコンボボックスが表示されます。

注意！「先頭行をタイトル行とする」に必ずチェックを入れてください。

5. データタイプ詳細設定のダイアログが表示されます。下記の設定内容に変更します。
フォルダ名付加にチェックを入れ、①【参照】をクリックし②、「C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル ¥Lesson4」を選択します。
次に拡張子付加にチェックを入れ、「bmp」を選択し、【OK】をクリックします③。DB パレットのダイアログに戻りますので、再び【OK】をクリックします。

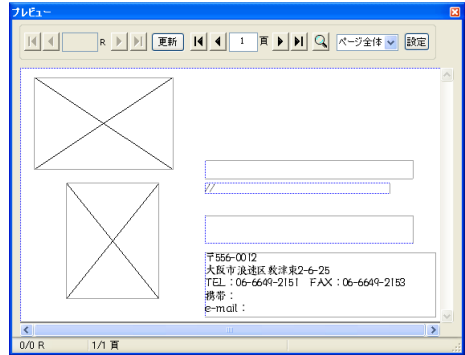
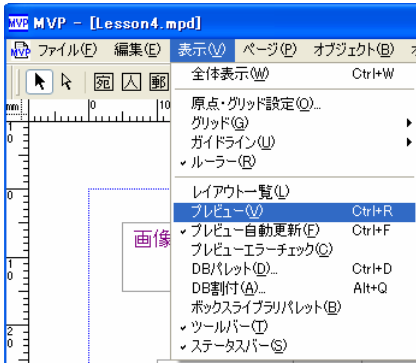


設定内容

- ☒ フォルダ名付加 C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル ¥Lesson4
- ☒ 拡張子付加 bmp

Step 4 それぞれのボックスを設定しましょう。

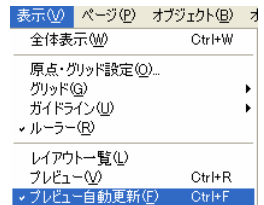
1. 各ボックス設定の前にプレビューウィンドウを表示しておきます。
メニューバー → 「表示」 → <プレビュー> を選択すると①、プレビューウィンドウが表示されます。(プレビューウィンドウは閉じずに開けたまま次に進んでください。)



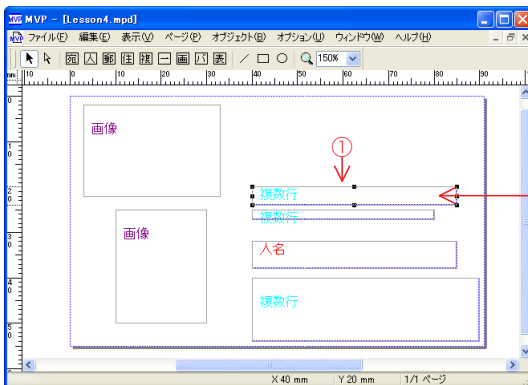
4

アドバイス プレビューウィンドウを表示して、各ボックスの設定を行い【適用】をクリックすると、プレビューが更新されますので、レイアウトを確認しながら作成できます。

プレビューウィンドウの【更新】をクリックしないと、レイアウトが更新されない場合は、メニューバー → 「表示」 → <プレビュー自動更新> にチェックを付けてください①。

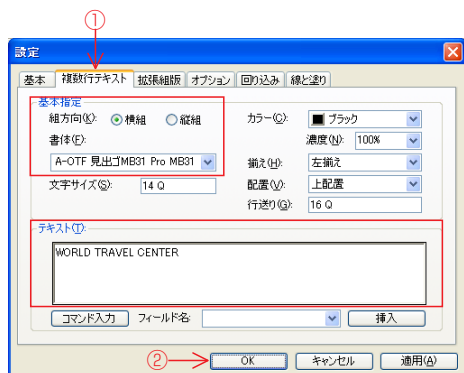


2. 複数行ボックスの設定をします。複数行ボックスをダブルクリックします①。



この中でダブルクリックしてください。

3. 設定のダイアログが表示されます。〔複数行テキスト〕 タブをクリックして①、下記の設定内容に変更し、【OK】をクリックします②。



設定内容

基本指定

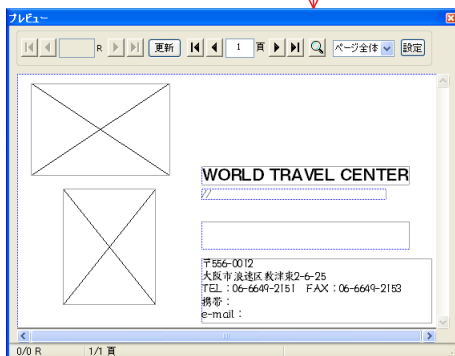
書体：「A-OTF 見出ゴ MB31 Pro MB31」

テキスト

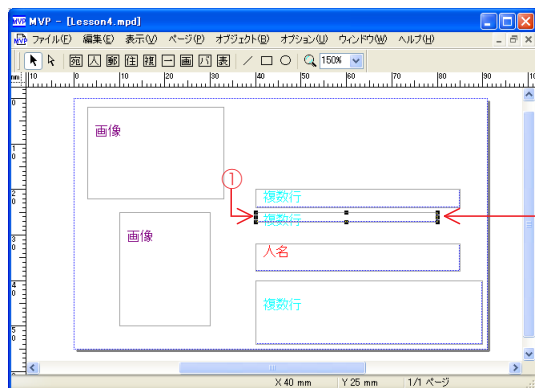
テキストエリアに「WORLD TRAVEL CENTER」と入力。

アドバイス 設定内容を実行する場合は、【OK】か【適用】をクリックします。【適用】はダイアログが閉じないためプレビューウィンドウでレイアウトを確認しながら決定が行えます。【キャンセル】は現在の設定を破棄して、ダイアログを閉じます。ただし、既に適用で更新された内容は破棄できません。

プレビュー画面

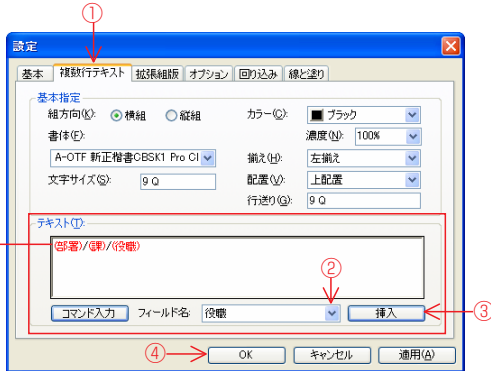


4. 複数行ボックスの設定をします。複数行ボックスをダブルクリックします①。



この中でダブルクリックしてください。

5. 設定のダイアログが表示されます。〔複数行テキスト〕タブをクリックして①、下記の設定内容に変更し、**テキスト**のテキストエリアに可変にする「部署、課、役職」を設定します。カーソルをテキストエリア内のあらかじめ入力されているスラッシュ「/」の一番前に置き、フィールド名より「部署」を選択し②、挿入をクリックします③。「部署」の後ろのスラッシュ「/」の後に、同じように「課」「役職」も挿入し、【OK】をクリックします④。



テキスト

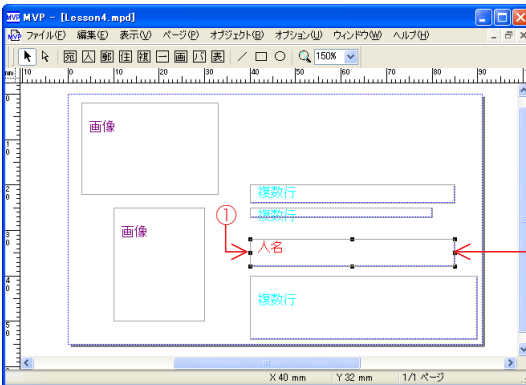
フィールド名:「部署」/「課」/「役職」

4



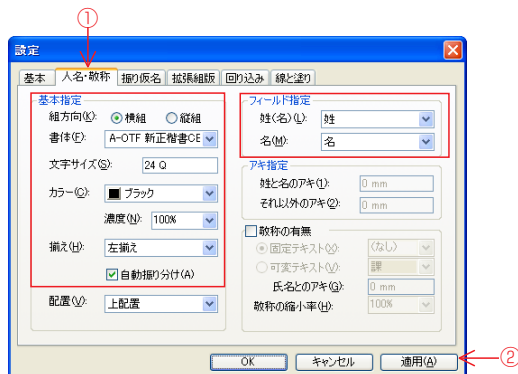
挿入する場所にカーソルを設定してから、挿入をクリックしてください。

6. 人名ボックスの設定をします。人名ボックスをダブルクリックします①。



この中でダブルクリックしてください。

7. 設定のダイアログが表示されます。〔人名・敬称〕タブをクリックし①、下記の設定内容に変更し、【適用】をクリックします②。



設定内容

基本指定

文字サイズ:「24Q」

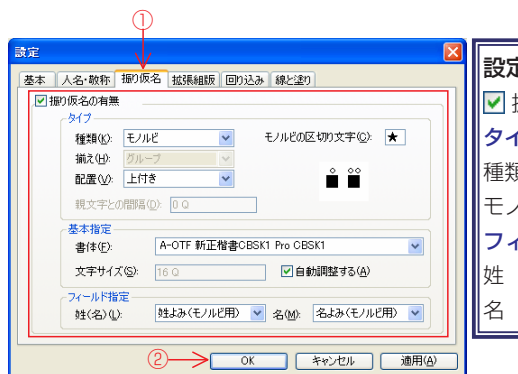
揃え:「自動振り分け」

フィールド指定

姓:「姓」

名:「名」

8. 人名にルビを振ります。〔振り仮名〕タブをクリックして①、下記の設定内容に変更し、【OK】をクリックします②。



設定内容

☒ 振り仮名の有無

タイプ

種類:「モノルビ」

モノルビの区切り文字:「★」下記アドバイス参照

フィールド指定

姓:「姓よみ(モノルビ用)」

名:「名よみ(モノルビ用)」

アドバイス ルビには、「グループ」(複数文字)と「モノルビ」(一字単位)の2種類があります。「モノルビ」を設定する場合には、あらかじめ、取り込む任意の区切り文字を入力しておく必要があります。その文字を「モノルビの区切り文字」で指定します。

ほ て い う た ひ こ
布 袋 宇 大 彦

モノルビ設定 DB

姓のよみ	名のよみ
ほ★てい	う★た★ひこ
お★やなぎ	いつみ
やまと	あき★と
おお★ぜ★ら	え★り★や
き★かわ★だ	ある★と
のう★しげ	いた★り
(に)★ま★ぐら	おさむ
し★たら	あ★とむ
やま★ざき	おう★がい
よし★だ	き★おん

一文字ごとにルビが付きます。

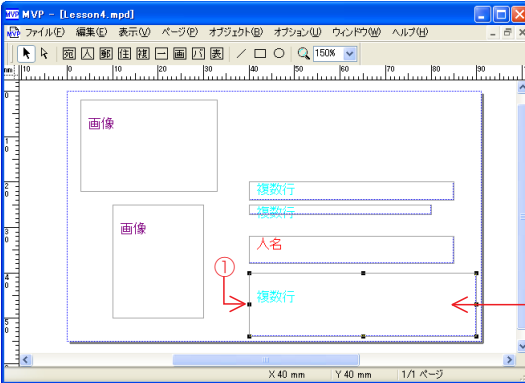
ほ て い う た ひ こ
布 袋 宇 大 彦

グループ設定 DB

姓よみ	名よみ
ほてい	うたひこ
おやなぎ	いつみ
やまと	あきと
おおぜら	えりや
きかわだ	あると
のうしげ	いたり
(に)まぐら	おさむ
したら	あとむ
やまざき	おうがい
よしだ	きおん

姓と名の単位でルビが付きます。

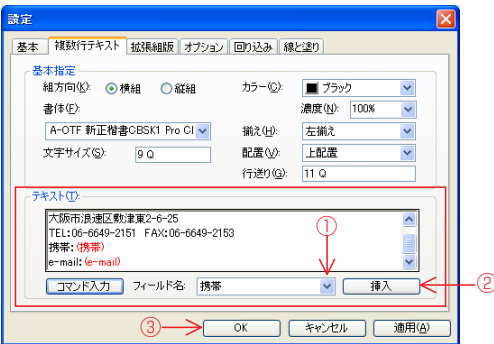
9. 複数行ボックスの設定をします。複数行ボックスをダブルクリックします①。



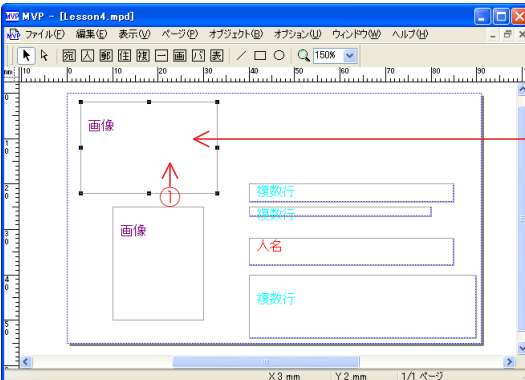
この中でダブルクリックしてください。

4

10. テキストのテキストエリアに可変にする「携帯 /e-mail」を設定します。カーソルをテキストエリア内の「携帯：」の後に置き、フィールド名より、「携帯」を選択し①、挿入をクリックします②。「e-mail」も同じように設定し、【OK】をクリックします③。



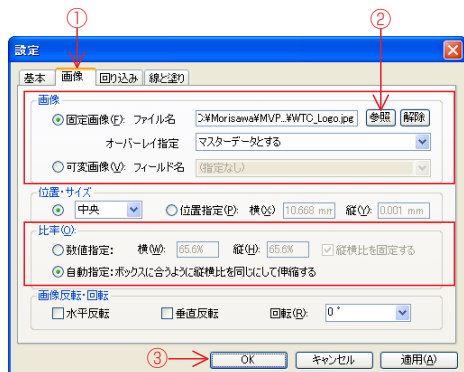
11. 画像ボックスの設定をします。画像ボックスをダブルクリックします①。



この中でダブルクリックしてください。

MVP チュートリアルガイド

12. 設定のダイアログが表示されます。〔画像〕タブをクリックして①、固定画像にチェックを入れます。【参照】をクリックし②、下記の設定内容に変更します。【OK】をクリックします③。



設定内容

画像

固定画像

ファイル名：

C:\¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥
Lesson4¥WTC_Logo.jpg

オーバーレイ指定：「マスターデータとする」

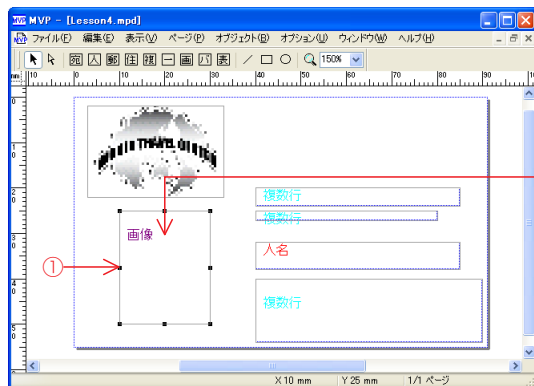
比率

自動指定

4

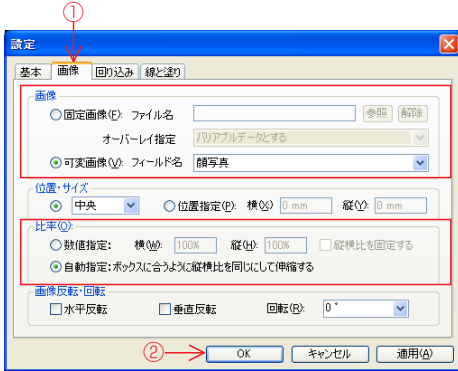
注意！ オーバーレイ指定で「マスターデータとする」を選択すると、常に画像は最前面になります。画像が重なった場合にレイアウトとプレビューウィンドウでは、表示が異なる場合があります。プレビューウィンドウの方で確認ください。

13. 画像ボックスの設定をします。画像をダブルクリックします①。Step3の6でDBパレットのデータタイプ詳細設定で設定した顔写真を、画像ボックスに設定します。



この中でダブルクリックしてください。

- 1 4. 設定のダイアログが表示されます。〔画像〕タブをクリックして①、下記の設定内容に変更し、【OK】をクリックします②。



設定内容

画像

☒ 可変画像

フィールド名：「顔写真」

比率

☒ 自動指定

4

アドバイス プレビューウィンドウの【設定】をクリックすると、「プレビュー設定」ダイアログが表示します。印刷プレビューにチェックを入れて①、【OK】をクリックすると、ボックスの枠線が消えます②。

プレビュー 設定

設定

☒ 片面表示 ☐ 両面表示

モード 早い ☐ きれい

① → ☒ 印刷プレビュー

② →

印刷プレビューチェックあり

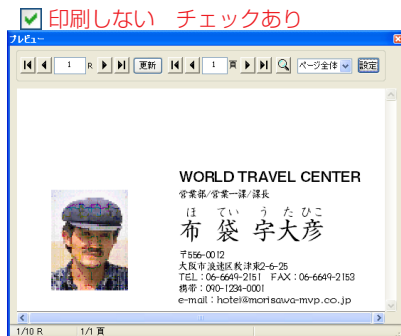
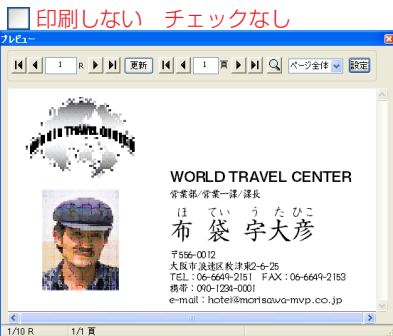
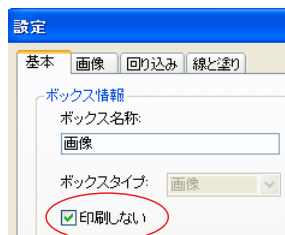


印刷プレビューチェックなし

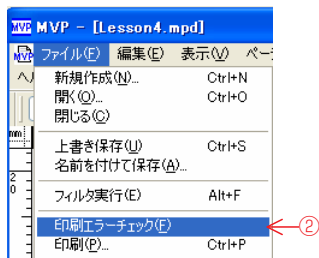


アドバイス 印刷しないボックスデータはそのボックスの設定ダイアログの印刷しないにチェック

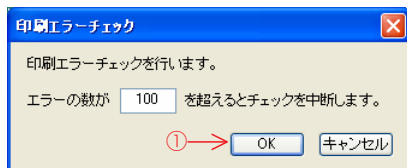
☒ を入れてください。プレビューウィンドウの【設定】をクリックし、☒ 印刷プレビュー」にチェックを入れて【OK】をクリックすると、出力されないボックスが非表示になります。

**Step 5 印刷エラーチェックをしましょう。**

1. 印刷をする前に、組版結果に問題がないかをチェックします。メニューバー → [ファイル] → <印刷エラーチェック>をクリックします①。



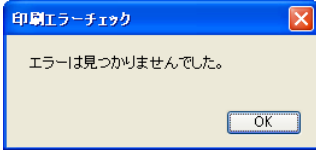
2. 印刷エラーチェックのダイアログが表示されます。【OK】をクリックします①。



3. 印刷エラーチェックのダイアログに、エラーがない場合は「エラーは見つかりませんでした」と表示されます①。エラーが発生した場合は、エラー個数とエラー内容が表示されます②。

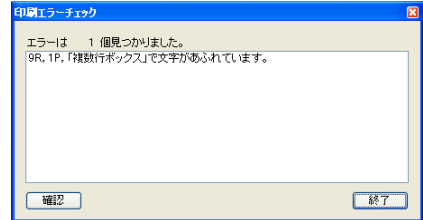
① エラーなしの場合

【OK】をクリックし、「印刷」に進みます。

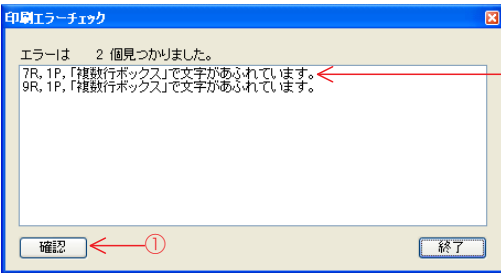


② エラーありの場合

エラー内容を確認し、エラーの箇所の修正を行います。

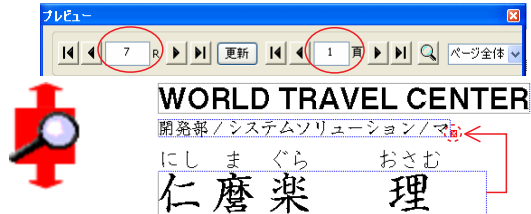
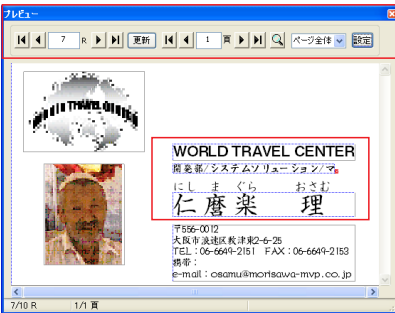


4. エラーがあった場合は、印刷エラーチェックダイアログのエラーリストをクリックして反転させ、【確認】ボタンをクリックします①。



この場合、7レコードの1ページ目がエラーになっていることを表しています。

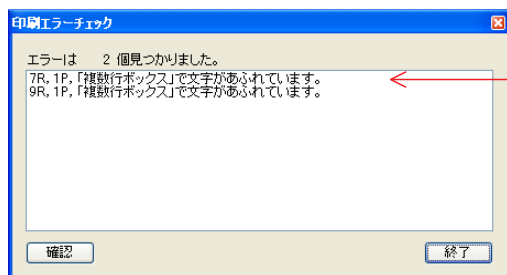
5. エラーが発生しているレコードがプレビューウィンドウに表示されます。



✖ → 「あふれマーク」は、エラーが発生している場所を表しています。

アドバイス プレビュー画面が小さい場合、「あふれマーク ✖」が見えない場合があります。その場合は拡大して確認してください。

6. エラーの箇所を修正します。エラーのリストをダブルクリックします。

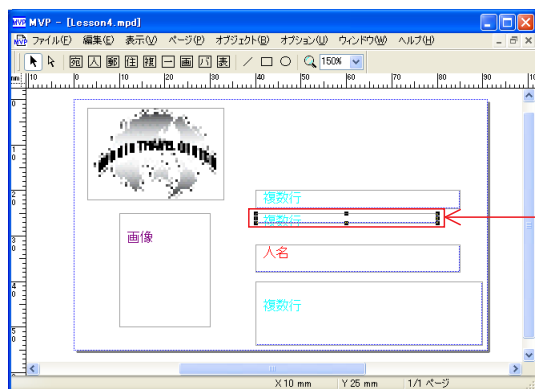


ダブルクリックします。



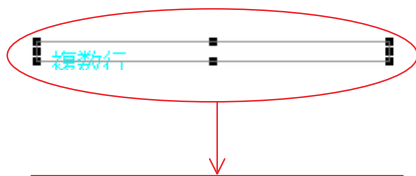
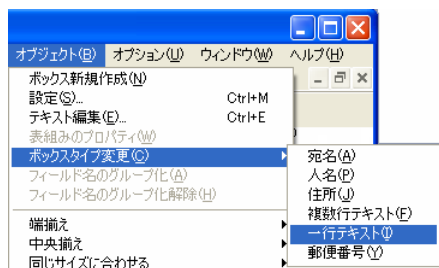
7. レイアウト画面でエラー箇所ボックスが選択状態になります。今回のエラーは複数行ボックス枠内から文字があふれた為に発生したエラーです。ボックス内に自動的に一行に収まるようにボックスタイプを一行テキストボックスに変更をします。

4



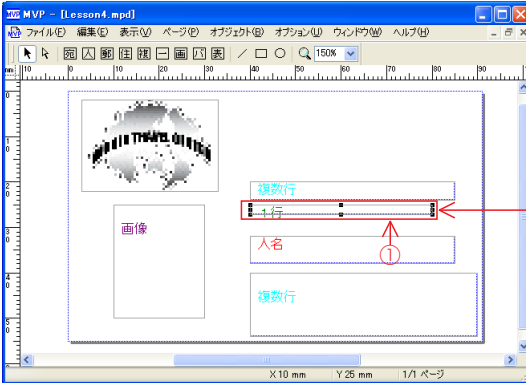
印刷エラーチェックのエラー箇所をダブルクリックするとエラーが発生したボックスが選択状態で表示されます。

8. メニューバー → [オブジェクト] → <ボックスタイプ変更> → 《一行テキスト》をクリックします①。



ボックスが選択された状態でないと、ボックスタイプの変更は行えません。

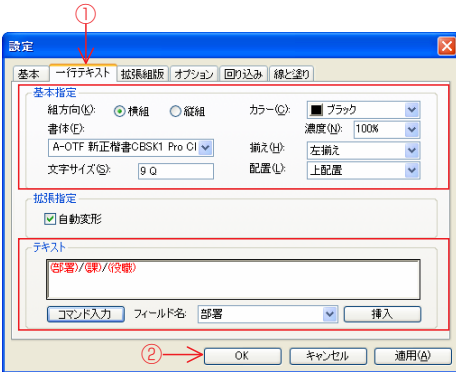
9. 一行テキストボックス内の設定をします。一行テキストボックスをダブルクリックします①。



この中でダブルクリックしてください。

注意！ ボックスタイプ変更をすると、変更前に設定したものは全て解除されます。プレビューウィンドウの【更新】ボタンをクリックして確認して下さい。

10. 設定のダイアログが表示されます。〔一行テキスト〕タブをクリックし①、下記の設定内容に変更します。**テキスト**のテキストエリアの入力方法については、Step 4の5を参照してください。【OK】をクリックします②。



設定内容

基本指定

文字サイズ：「9Q」

テキスト

フィールド名：「部署」／「課」／「役職」

注意！ ☒ 「自動変形」に必ずチェックを入れてください。

アドバイス ボックスタイプを変更する前に、入力済みのテキストエリア内の文字をコピーし、ボックスタイプ変更後に貼り付けてください。

1 1. ボックス内に文字が収まり、「あふれマーク」が消えています。



エラー修正前

WORLD TRAVEL CENTER

開発部 / システムソリューション / マネージャー

にし ま ぐら おさむ

仁 麿 楽 理

エラー修正後

WORLD TRAVEL CENTER

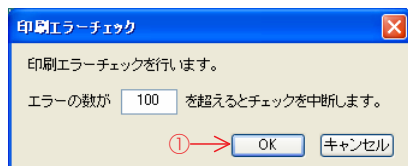
開発部 / システムソリューション / マネージャー

にし ま ぐら おさむ

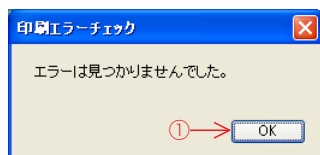
仁 麿 楽 理

4

1 2. 再び印刷エラーチェックを行います。メニューバー → [ファイル] → <印刷エラーチェック> をクリックします。印刷エラーチェックのダイアログが開きます。【OK】 をクリックします①。



1 3. 今回は 2 レコードでエラーが出ていましたが、同じ原因でエラーが出ていたため、複数行テキストボックスを一行テキストボックスに 1 ヶ所変更するだけでエラーを解消することができました。【OK】 をクリックします①。



Step 6 DB パレットを応用してみましょう。＜その1＞

10 人分の全てのプレビューを確認してみましょう。部署、課、役職や、携帯番号、e-mail の一部が空欄になっているものがあります。DB パレットを応用して、データが存在しない場合は文字などを付加しないように設定を行うことができます。

Lesson4 データベース

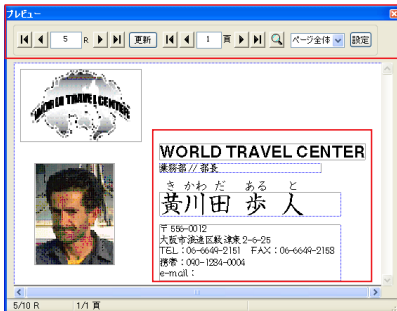
は空白部分。

No	姓	名	部署	課	役職	e-mail	携帯
1	布袋	宇大彦	営業部	営業一課	課長	hotei@morisawa-mvp.co.jp	090-1234-0001
2	小柳	愛	営業部	営業一課			090-1234-0002
3	倭	空翔	営業部	営業二課	係長	yamato@morisawa-mvp.co.jp	
4	大瀬良	英理也	営業部	営業二課		oozera@morisawa-mvp.co.jp	090-1234-0003
5	黄川田	歩人	業務部		部長		090-1234-0004
6	能重	虎利	業務部			noushige@morisawa-mvp.co.jp	090-1234-0005
7	仁麿	理	開発部	システムソリューション	マネージャー	osamu@morisawa-mvp.co.jp	
8	設楽	愛富	開発部	システムソリューション		shitara@morisawa-mvp.co.jp	090-1234-0006
9	山崎	鴎外	営業部	マーケティンググループ	システムディレクター	yamazaki@morisawa-mvp.co.jp	090-1234-0007
10	吉田	祇園	営業部	マーケティンググループ		yoshida@morisawa-mvp.co.jp	

4

部署／課／役職の、空欄部分に文字列を付加しない設定をします①。

携帯番号、e-mail の空欄部分に文字列を付加しない設定をします②。



変更前のプレビュー

WORLD TRAVEL CENTER

業務部//部長

きかわだ あると
黄川田 歩人

〒 556-0012
大阪市浪速区靫津東2-6-25
TEL : 06-6649-2151 FAX : 06-6649-2153
携帯 : 090-1234-0004
e-mail :

変更後のプレビュー

WORLD TRAVEL CENTER

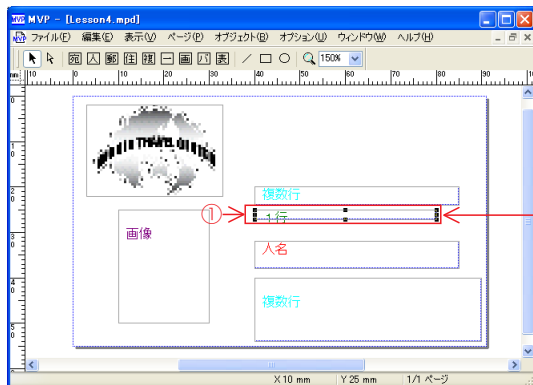
業務部//部長

きかわだ あると
黄川田 歩人

〒 556-0012
大阪市浪速区靫津東2-6-25
TEL : 06-6649-2151 FAX : 06-6649-2153
携帯 : 090-1234-0004

MVP チュートリアルガイド

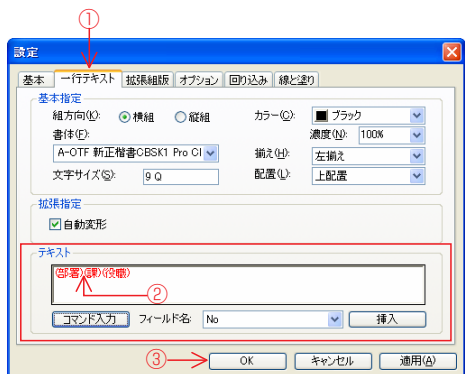
1. 一行テキストボックスを、ダブルクリックします①。



この中でダブルクリックしてください。

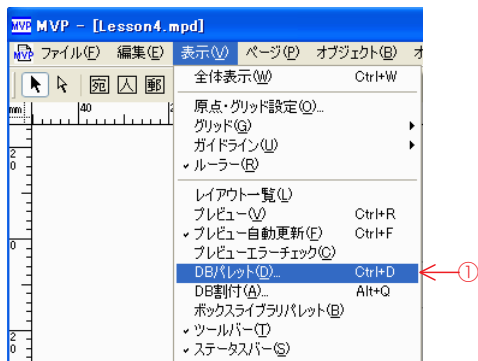
4

2. 設定のダイアログが表示されます。[一行テキスト] タブをクリックします①。テキストのテキストエリア内の「/」を削除②し、【OK】をクリックします③。

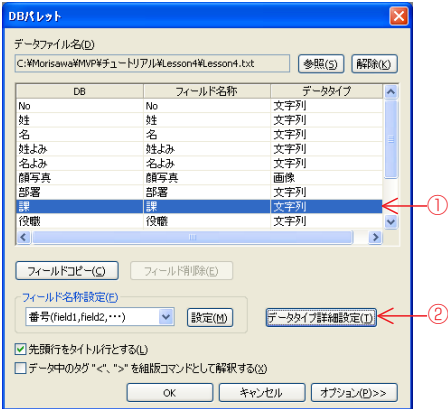


(部署)/(課)/(役職)
↓
(部署)(課)(役職)
/を削除します。

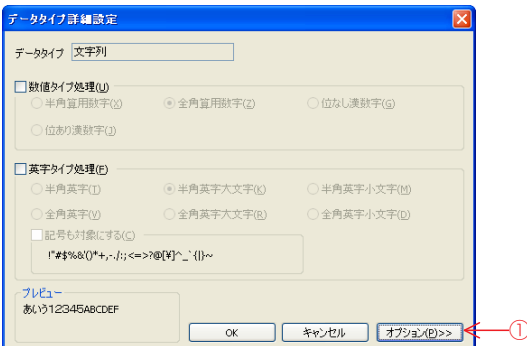
3. DB パレットを開きます。メニューバー → [表示] → <DB パレット>をクリックします①。



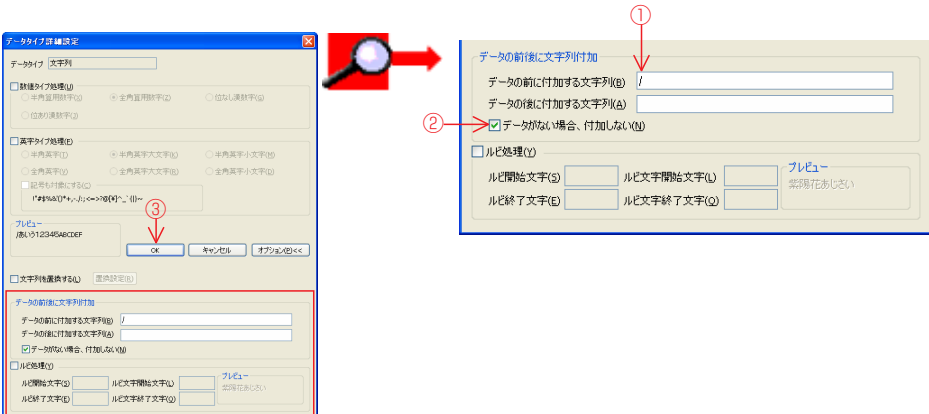
4. DBパレットのダイアログが表示されます。DB列の「課」を反転させ①、【データタイプ詳細設定】をクリックします②。



5. データタイプ詳細設定のダイアログが表示されます。【オプション】をクリックします①。

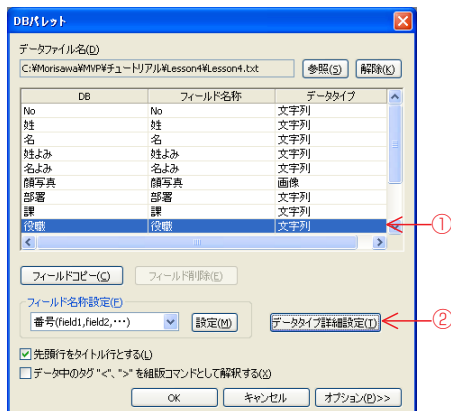


6. データ前後に文字列付加のデータの前に付加する文字列に「/」と入力します①。データがない場合、付加しないに、チェックを入れ②、【OK】をクリックします③。

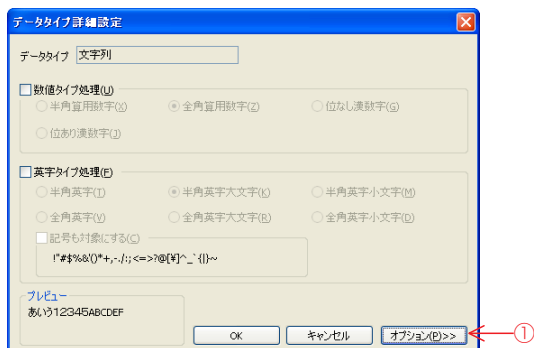


MVP チュートリアルガイド

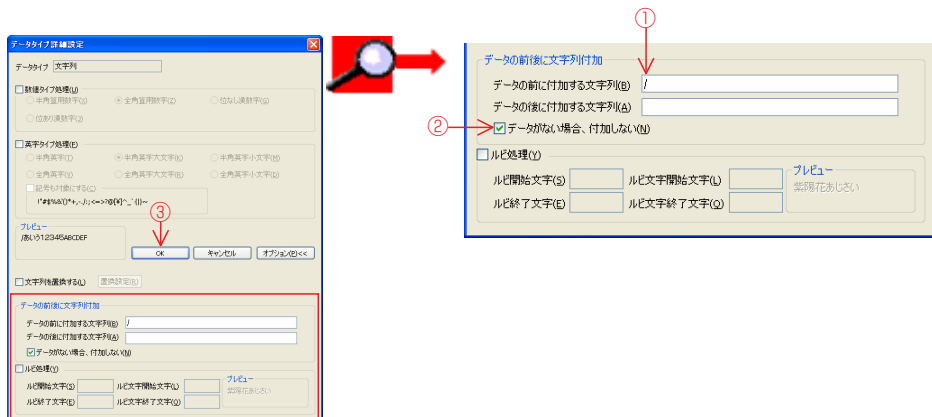
7. DB バレットのダイアログに戻ります。DB 列の「役職」を反転させ①、【データタイプ詳細設定】をクリックします②。



8. データタイプ詳細設定のダイアログが表示されます。【オプション】をクリックします①。



9. データ前後に文字列付加のデータの前に付加する文字列に「/」と入力します①。データがない場合、付加しないに、チェックを入れ②、【OK】をクリックします③。



10. プレビューウィンドウでレイアウトを確認します。データがない場合に「/」もなくなります。



データタイプ詳細設定前

WORLD TRAVEL CENTER

業務部 / 部長

きかわだ ある と
黄川田 歩人

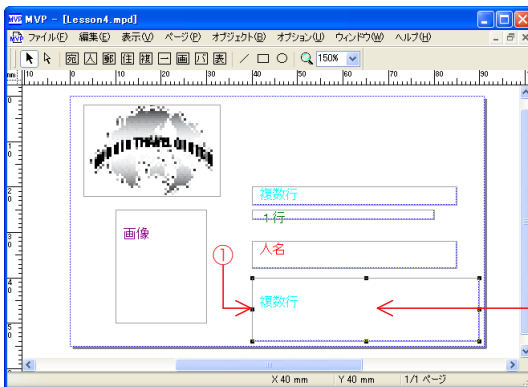
データタイプ詳細設定後

WORLD TRAVEL CENTER

業務部 部長

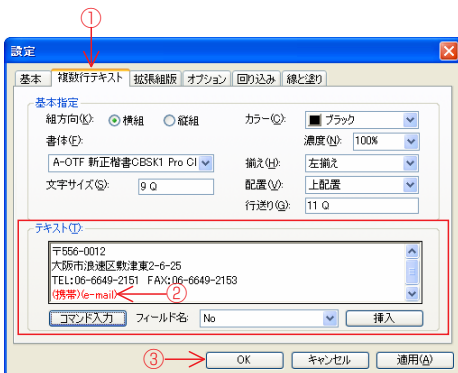
きかわだ ある と
黄川田 歩人

11. 携帯の空欄部分に文字列を付加しない設定をします。複数行テキストボックスをダブルクリックします①。



この中でダブルクリックしてください。

12. 「複数行テキスト」タブをクリックし①、テキストのテキストエリアにある「携帯：e-mail：」を削除し②、【OK】をクリックします③。



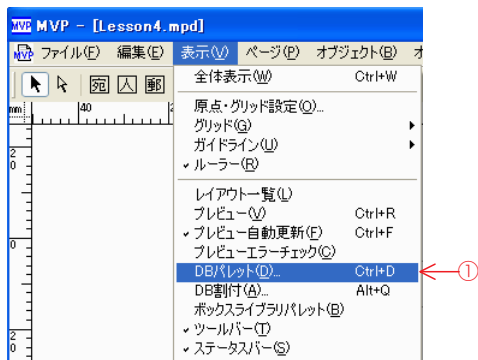
→ 携帯：(携帯)

→ e-mail：(e-mail)

(携帯)(e-mail)

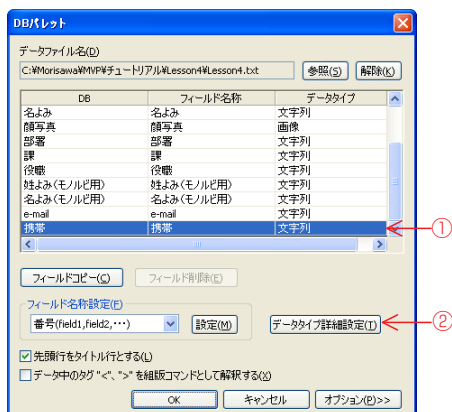
「携帯：e-mail：」を削除し、(携帯)と(e-mail)の間の改行も削除します。

13. DBパレットを開きます。メニューバー → [表示] → <DBパレット>をクリックします①。

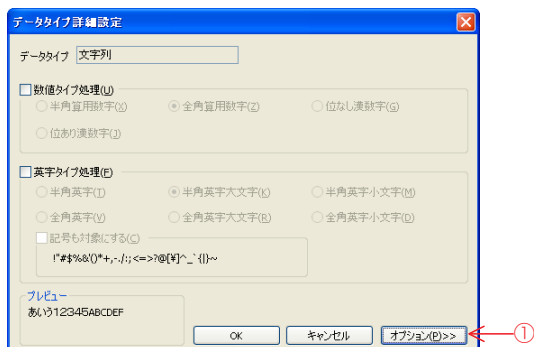


4

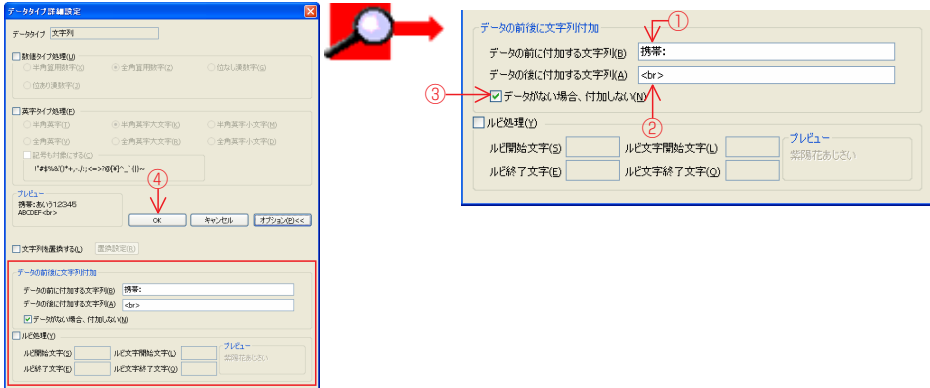
14. 携帯のデータタイプをクリックして反転させ①、【データタイプ詳細設定】をクリックします②。



15. データタイプ詳細設定のダイアログが表示されます。【オプション】をクリックします①。



16. データの前後に文字列付加の、データの前に付加する文字列に「携帯:」と入力します①。データの後に付加する文字列に「
」と入力し②、データがない場合、付加しないに、チェックを入れ③、【OK】をクリックします④。



4

注意！
 は改行のコマンドです。これを、データの後に付加する文字列の後に入れないと、下記ようになります。

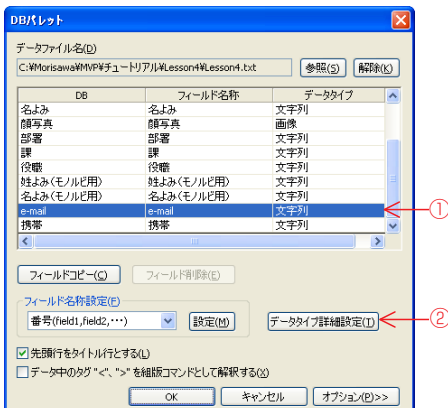
 を付加した場合

〒556-0012
大阪市浪速区敷津東2-6-25
TEL: 06-6649-2151 FAX: 06-6649-2153
携帯: 090-1234-0007
e-mail: yamazaki@morisawa-mvp.co.jp

 を付加しない場合

〒556-0012
大阪市浪速区敷津東2-6-25
TEL: 06-6649-2151 FAX: 06-6649-2153
携帯: 090-1234-0007e-mail: yamazaki@morisawa-mvp.co.jp

17. DB パレットのダイアログに戻ります。DB 列の「e-mail」を反転させ①、【データタイプ詳細設定】をクリックします②。



MVP チュートリアルガイド

18. データタイプ詳細設定のダイアログが表示されます。【オプション】をクリックします①。

データタイプ詳細設定

データタイプ: 文字列

☐ 数値タイプ処理(L)

☐ 半角半角数字(N) ☒ 全角半角数字(Z) ☐ 位なし漢数字(S)

☐ 位あり漢数字(Q)

☐ 英字タイプ処理(E)

☐ 半角英字(T) ☒ 半角英字大文字(U) ☐ 半角英字小文字(M)

☐ 全角英字(Y) ☐ 全角英字大文字(B) ☐ 全角英字小文字(D)

☐ 記号も対象にする(C)

!*#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[*\]^_`{|}~

プレビュー
あい1234567890

OK キャンセル オプション(E)>> ①

19. データ前後に文字列付加のデータの前に付加する文字列に「e-mail:」と入力します①。データがない場合、付加しないに、チェックを入れ②、【OK】をクリックします③。

データタイプ詳細設定

データタイプ: 文字列

☐ 数値タイプ処理(L)

☐ 半角半角数字(N) ☒ 全角半角数字(Z) ☐ 位なし漢数字(S)

☐ 位あり漢数字(Q)

☐ 英字タイプ処理(E)

☐ 半角英字(T) ☒ 半角英字大文字(U) ☐ 半角英字小文字(M)

☐ 全角英字(Y) ☐ 全角英字大文字(B) ☐ 全角英字小文字(D)

☐ 記号も対象にする(C)

!*#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[*\]^_`{|}~

プレビュー
e-mail:あい1234567890

OK キャンセル オプション(E)<< ③

データの前後に文字列付加

データの前(前)に付加する文字列(A) e-mail:

データの後(後)に付加する文字列(B)

☒ データがない場合、付加しない(C) ②

☐ ルビ処理(Y)

ルビ開始文字(S) ルビ文字開始文字(L) プレビュー
ルビ終了文字(E) ルビ文字終了文字(Q) 紫陽花あしき

20. プレビューウィンドウでレイアウトを確認します。e-mailの行が削除されます。

プレビュー

WORLD TRAVEL CENTER

〒556-0012
大阪市浪速区数津東2-6-25
TEL: 06-6649-2151 FAX: 06-6649-2153
携帯: 090-1234-0004

黄川田 歩人

データタイプ詳細設定前

〒 556-0012
大阪市浪速区数津東2-6-25
TEL: 06-6649-2151 FAX: 06-6649-2153
携帯: 090-1234-0004
e-mail:

データタイプ詳細設定後

〒 556-0012
大阪市浪速区数津東2-6-25
TEL: 06-6649-2151 FAX: 06-6649-2153
携帯: 090-1234-0004

Step 6 DB パレットを応用してみましょう。＜その2＞

データベース内の画像名と実際の画像名が異なる場合の設定を行いましょう。Lesson 4.txtの画像名はNo001.bmp からNo010.bmp になっています。DB パレットの置換設定を使って Photo-A.bmp から Photo-J.bmp 画像を取り込みましよう。

Lesson 4 txt の画像名

No	姓	名	顔写真
1	布袋	宇太彦	No001
2	小柳	愛	No002
3	倭	空翔	No003
4	大瀬良	英理也	No004
5	黄川田	歩人	No005
6	能重	虎利	No006
7	仁麿楽	理	No007
8	設楽	愛富	No008
9	山崎	鷗外	No009
10	吉田	祇園	No010

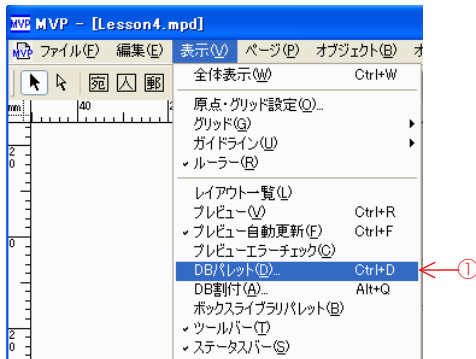
Lesson 4 サンプル画像



Lesson 4 txt の画像名と同じ
画像名

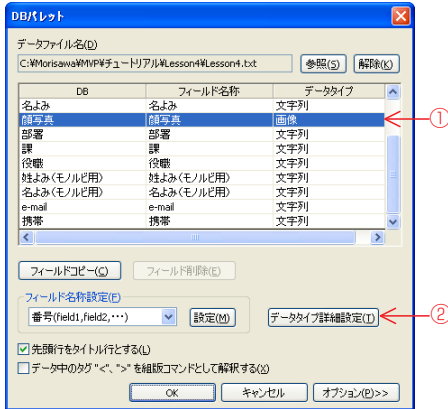
Lesson 4 txt の画像名と異なる
画像名

1. DB パレットを開きます。メニューバー → [表示] → < DB パレット > をクリックします①。

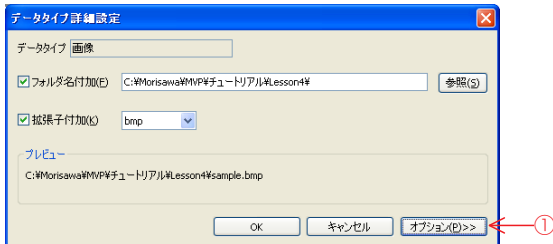


MVP チュートリアルガイド

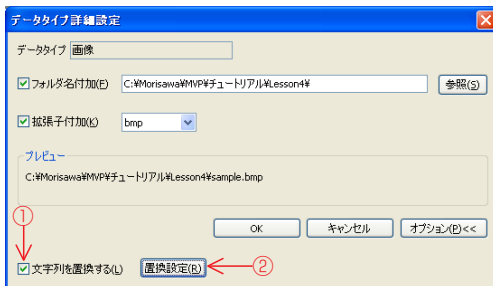
2. DB パレットのダイアログが表示されます。DB 列の「画像」を反転させ①、【データタイプ詳細設定】をクリックします②。



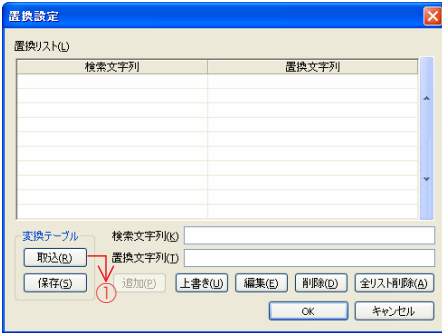
3. データタイプ詳細設定のダイアログが表示されます。【オプション】をクリックします①。



4. 文字列を置換するにチェックを入れると①、【置換設定】が表示されます。【置換設定】をクリックします②。

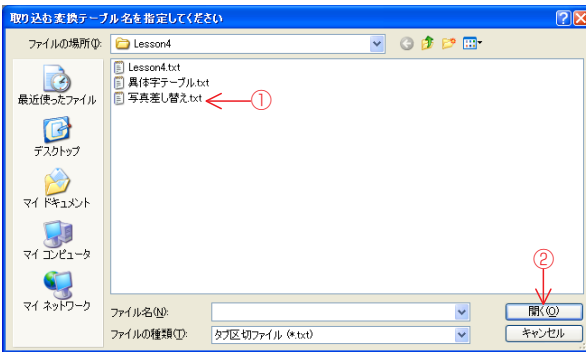


5. 置換設定のダイアログが表示されます。変換テーブルの【取込】をクリックします①。

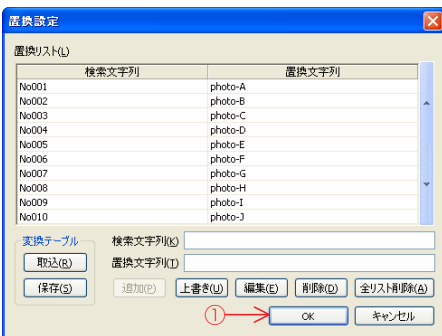


6. 取り込む変換テーブル名を指定してくださいのダイアログが開きます。
“C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル¥Lesson4”にある「写真差し替え.txt」を選択し①、
【開く】をクリックします②。

4



7. 置換リストに「写真差し替え.txt」のデータが取り込まれます。【OK】をクリックします①。



変換テーブル

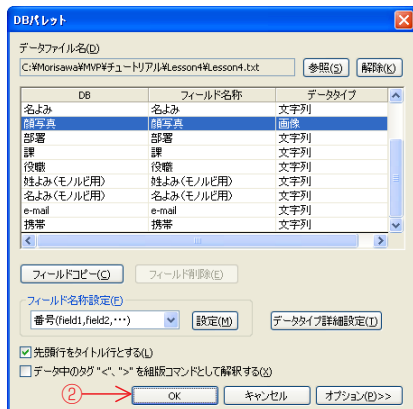
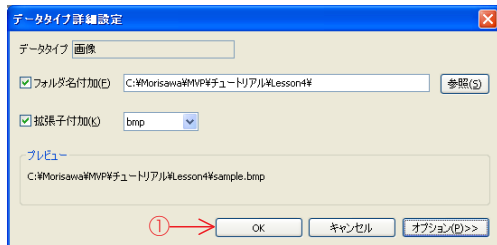


取込

「No001」は「photo-A」に置き換えられます。

アドバイス ファイル指定ダイアログで指定可能なファイル形式は CSV（カンマ区切り * .CSV）またはテキスト（タブ区切り * .txt）です。変換テーブルを別途用意していない場合は、置換設定ダイアログ内で直接、検索文字列と置換文字列を入力します。

8. データタイプ詳細設定のダイアログに戻りますので、【OK】をクリックします①。DB パレットのダイアログに戻りますので、再び【OK】をクリックします②。



9. プレビューウィンドウでレイアウトを確認します。データベース内の名称と違う画像が取り込まれます。

置換設定前 No001 ~



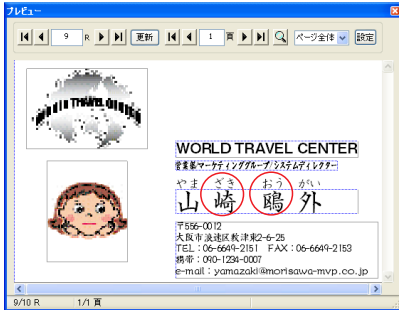
置換設定前 Photo A ~



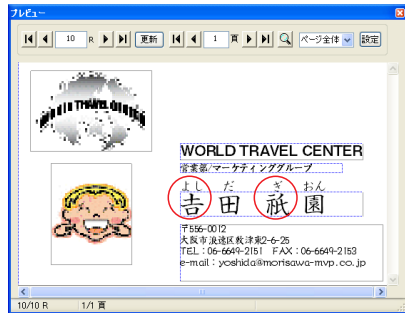
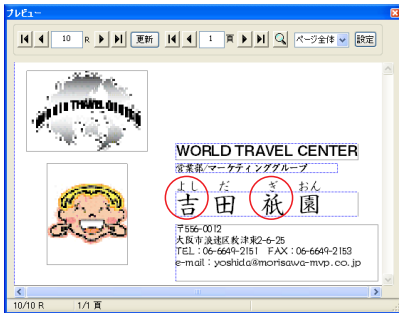
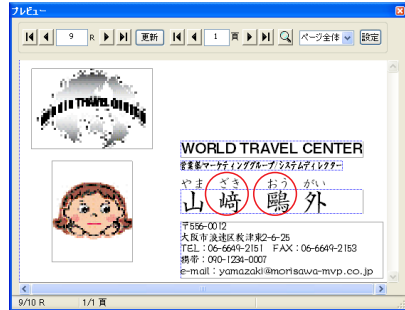
Step 6 DB パレットを応用してみましょう。＜その3＞

「崎」「鵬」「吉」「祇」の文字を置換設定を使って、OpenType Fontにある字形に変更します。

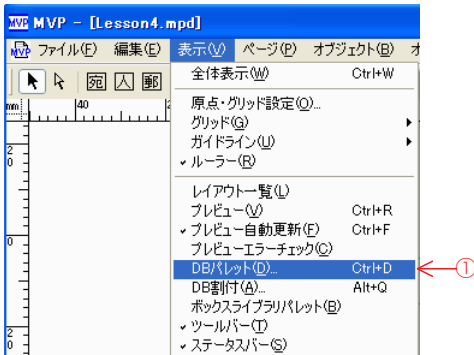
異体字設定前



異体字設定後

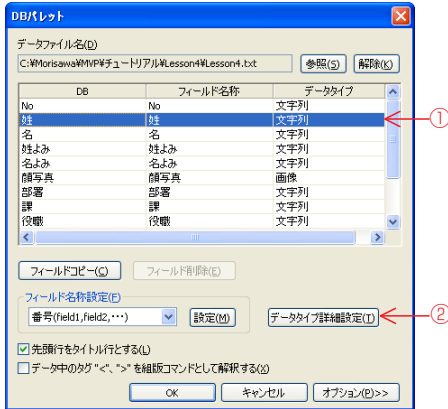


1. DB パレットを開きます。メニューバー → [表示] → < DB パレット > をクリックします①。

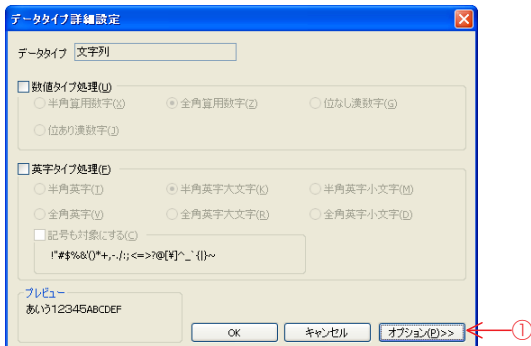


MVP チュートリアルガイド

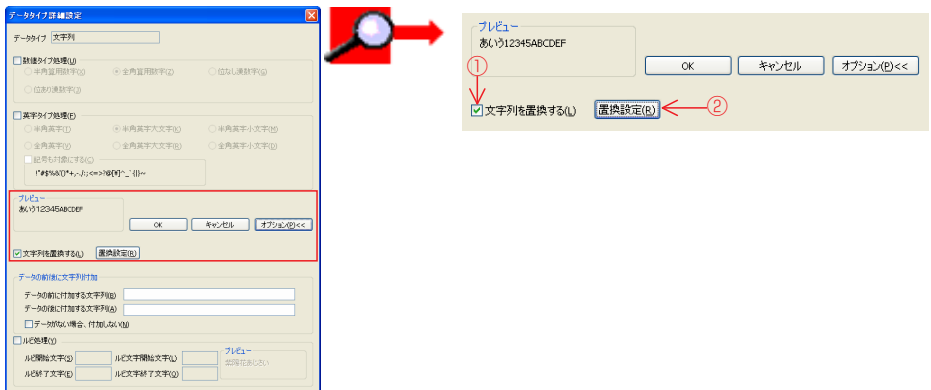
2. DB バレットのダイアログが表示されます。DB 列の「姓」を反転させ①、【データタイプ詳細設定】をクリックします②。



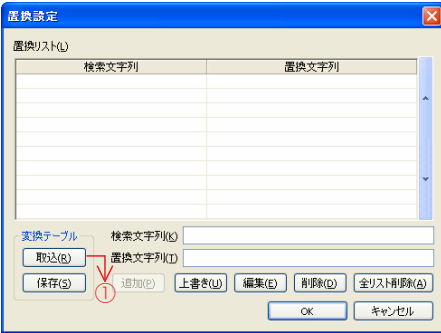
3. データタイプ詳細設定のダイアログが表示されます。【オプション】をクリックします①。



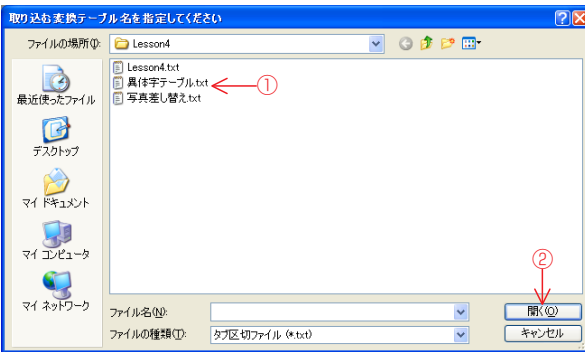
4. 文字列を置換するにチェックを入れると①、【置換設定】が表示されます。【置換設定】をクリックします②。



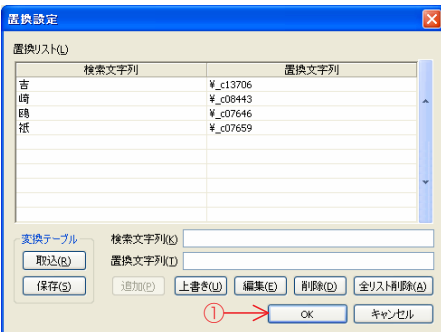
5. 置換設定のダイアログが表示されます。変換テーブルの【取込】をクリックします①。



6. 取り込む変換テーブル名を指定してくださいのダイアログが開きます。
“C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル¥Lesson4”の中にある、「異体字テーブル.txt」を選択し①、【開く】をクリックします②。



7. 置換リストに「異体字テーブル.txt」のデータが取り込まれます。【OK】をクリックします①。



変換テーブル

ファイル(F)	編集(E)	書式(O)	表示(V)	ヘルプ(H)
異体字テーブル.txt - メモ帳				
吉	¥_c13706			
崎	¥_c08443			
鷗	¥_c07646			
祇	¥_c07659			

取込

「吉」は「¥_c13706」に置き換えられます。

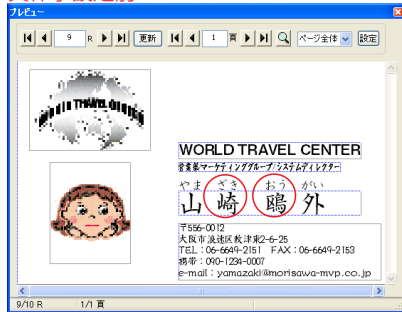
アドバイス OpenType Font を使用する場合に限り、CID コード番号で文字を入力することができます。入力方法は「¥_c****」と入力します。**** は CID コード番号で 5 桁入力です。CID コード番号表は、Adobe 社のホームページにより、ダウンロードが可能です。
<http://partners.adobe.com/public/developer/font/index.html>

8. データタイプ詳細設定ダイアログに戻りますので、【OK】をクリックします①。
DB パレットのダイアログに戻りますので、「名」も同じ手順で変更します②。

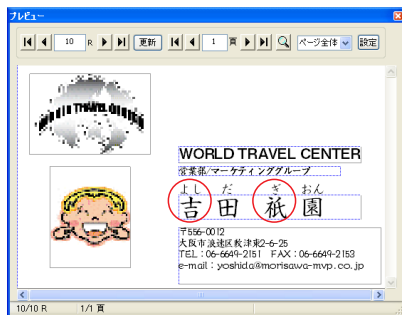
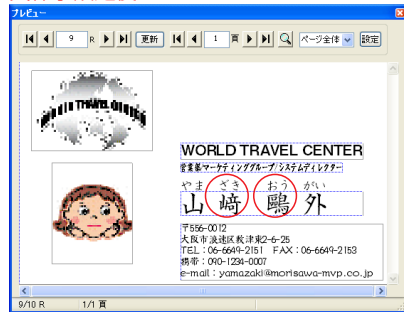
9. 「名」の設定が終わり、再び DB パレットに戻ります。【OK】をクリックします②。

10. プレビューウィンドウでレイアウトを確認します。

異体字設定前



異体字設定後

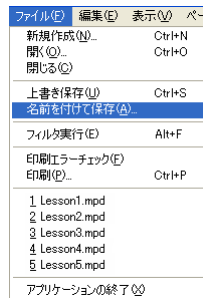
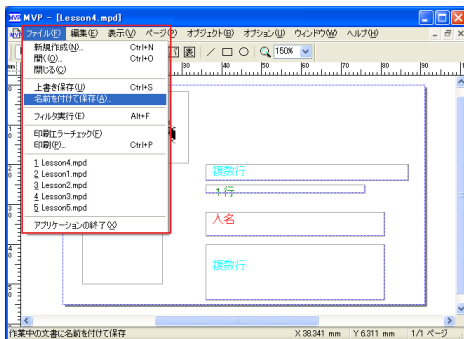


4

Step 7 保存と印刷をしましょう。

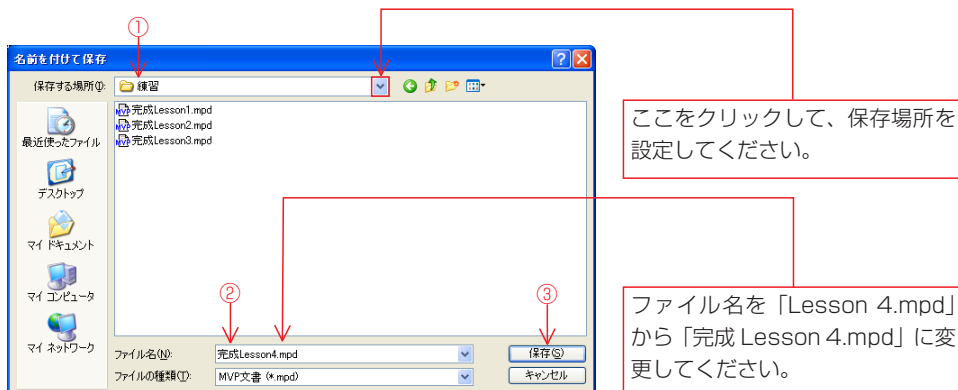
完成したデータに名前を付けて保存します。

1. メニューバー → 「ファイル」 → <名前を付けて保存>をクリックします①。

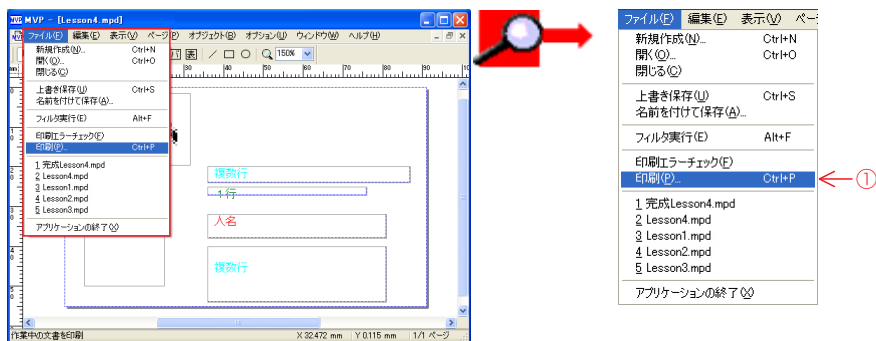


MVP チュートリアルガイド

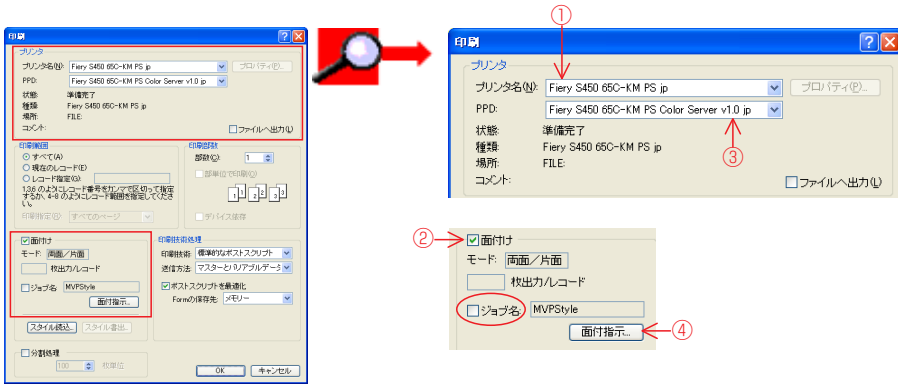
2. 名前を付けて保存のダイアログが表示されます。“C:¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥ 練習”の中に保存します①。ファイル名「完成 Lesson 4.mpd」に変更し②、【保存】をクリックします③。



3. 作成した「Lesson4.mpd」を、A4用紙に横2面、縦5面に面付け印刷します。メニューバー→「ファイル」→<印刷>をクリックします①。



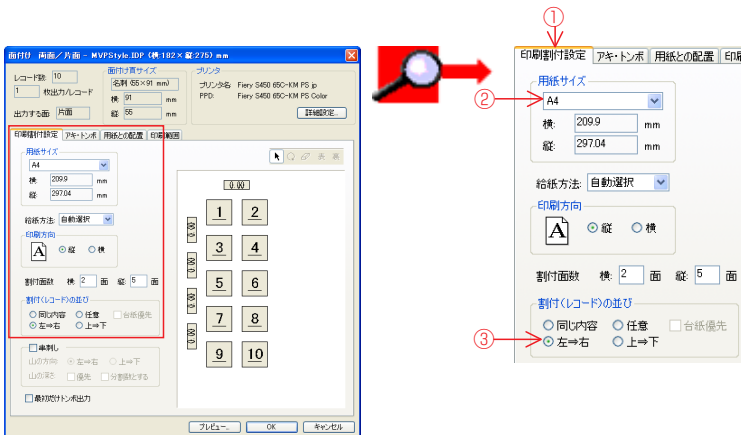
4. 印刷ダイアログが表示されます。**プリンタ**のプリンタ名を< Fiery S450 65C-KM PS jp >に設定して①、面付けをチェックし②、**プリンタ**の PPD を< Fiery S450 65C-KM PS Color Server v1.0 jp >に設定します③。**【面付指示】**をクリックします④。



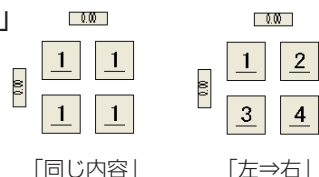
4

アドバイス プリンタ名、PPD はご使用のプリンタドライバと PPD 名に置き換えてお読みください。

5. 面付け (両面 / 片面-MVP style IDP) のダイアログが表示されます。〔印刷割付設定〕のタブを選択して①、用紙サイズを「A4」に設定し②、**割付 (レコード並び)** の「左⇒右」を選択します③。

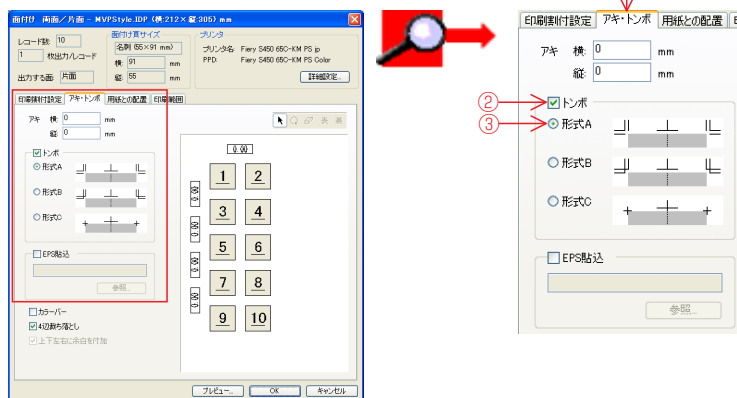


アドバイス 割付 (レコード並び) を「同じ内容」から「左⇒右」に設定を変えるとレコードの並びが右図のようになります。



MVP チュートリアルガイド

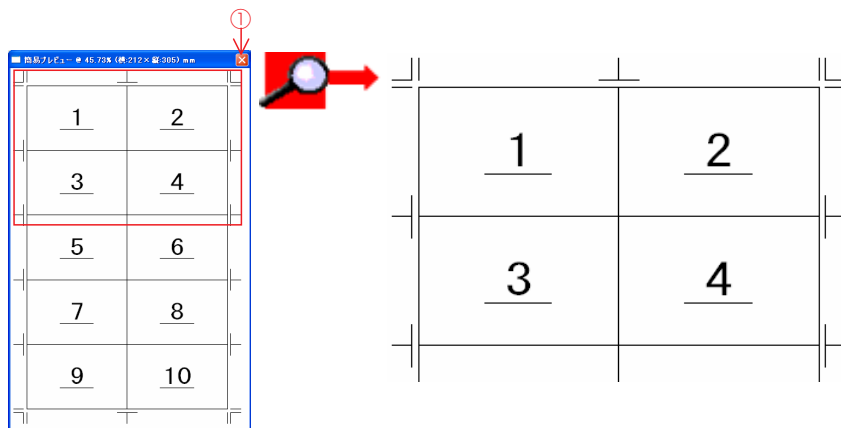
6. 断裁のためのトンボを付けます。〔アキ・トンボ〕タブをクリックして①、トンボにチェックを入れ②、形式 A を選択します③。



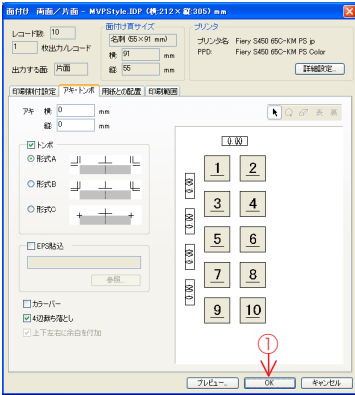
7. プレビューウィンドウでレイアウト確認します。【プレビュー】をクリックします①。



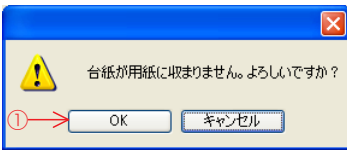
8. トンボが付きます。タイトルバーの ☒ をクリックし、プレビューウィンドウを閉じます①。



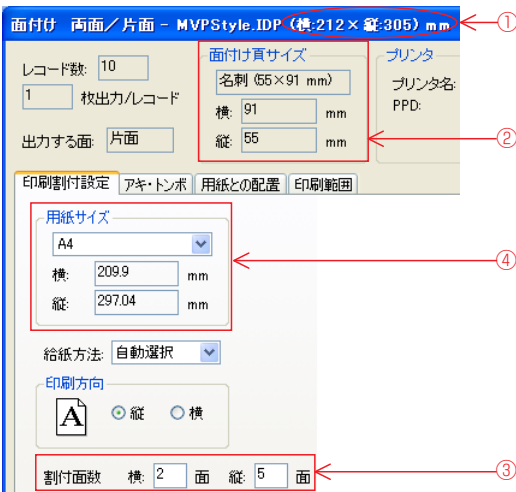
9. 面付け (両面／片面-MVP style IDP) のダイアログに戻ります。【OK】をクリックします①。



10. 警告ダイアログが表示されます。警告エラーは出力サイズが用紙サイズより大きくなった場合に 표시됩니다。【OK】をクリックし、印刷ダイアログに戻り【OK】をクリックして印刷します。①。

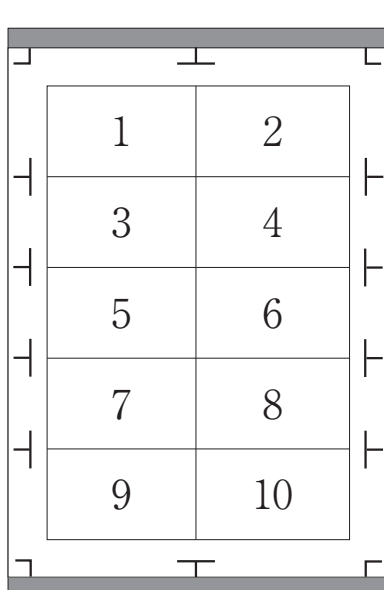


アドバイス ダイアログバーには面付けした結果の出力サイズが表示されます①。サイズは面付け頁サイズ②×割付面数③にトンボやアキ量が加算された数値です。この数値が用紙サイズ④の数値より大きい場合は警告ダイアログが表示されます。【OK】を選択した場合は、「用紙サイズ」を超えた部分は印字されません。



MVP チュートリアルガイド

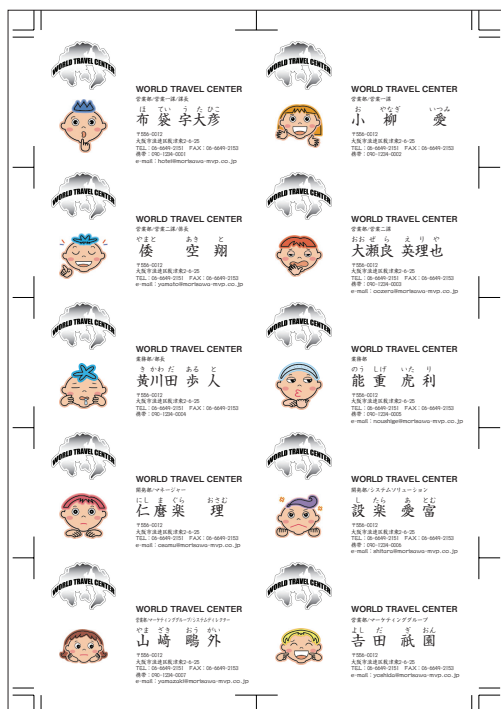
今回はトンボを付けたことにより用紙サイズをオーバーし、警告のエラーが発生します。



A4 用紙サイズ
サイズオーバー

アドバイス 用紙に対する印字位置は印刷→面付指示→用紙との配置で調整が行えます。

紙との配置



これで Lesson 4 は終了です。

Lesson 5 目次

Lesson 5 チケットにナンバリングしましょう	101
Step 1 用紙サイズ定形外の文章を作成しましょう。	102
Step 2 塗り足しを考慮した画像を貼り込みましょう。	104
Step 3 複数行ボックスを設定しましょう。	109
Step 4 ナンバリングの設定をしましょう。	110
Step 5 テキストとナンバリングの組版コマンドを入力しましょう。	111
Step 6 保存して、串刺し印刷しましょう。	114

Lesson 5 チケットにナンバリングしましょう

Step 1

用紙サイズ定形外の文書を作成しましょう。

ユーザー定義サイズを使って定形外の

Step 2

塗り足しを考慮した画像を貼り込みましょう。

塗り足しを考慮して画像ボックスを設定します。

Step 4

ナンバリングの設定をしましょう。

メニューバー → オプションでナンバリングを設定します。

Step 3

複数行ボックスを設定しましょう。

複数行ボックスを作成し、ナンバリングを設定します。



Step 6

保存して、串刺し印刷しましょう。

作成したデータを保存し、串刺し印刷します。

Step 5

テキストとナンバリングの組版コマンドを入力しましょう。

設定したナンバリングに、組版コマンドを設定します。



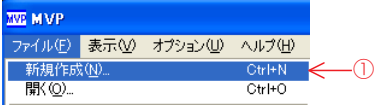
環境設定：位置／長さ「ミリ：mm」文字「ポイント：Pt」

基本属性：組方向／「横組」書体／A-OTF 中ゴシック BBB PRO Medium」

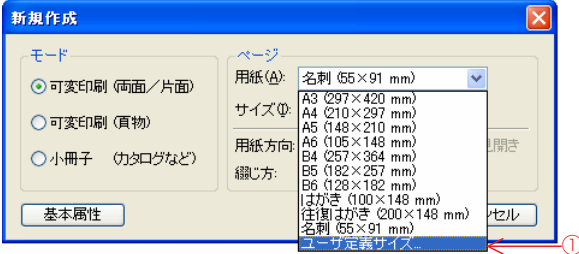
文字サイズ：「9Pt」行送り：「12Pt」

Step 1 用紙サイズ定形外の文章を作成しましょう。

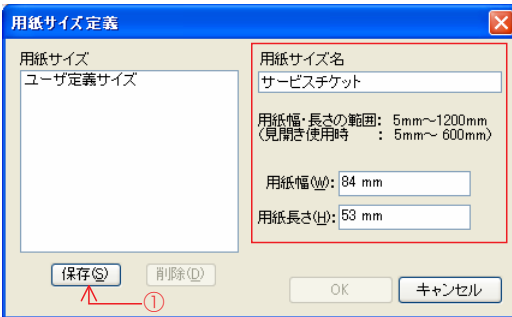
1. メニューバー → [ファイル] → <新規作成>をクリックします①。



2. 新規作成のダイアログが表示されます。ページの用紙よりユーザ定義サイズを選択します①。



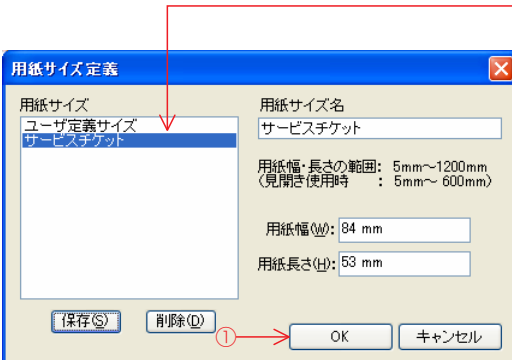
3. 用紙サイズ定義のダイアログが表示されます。下記の設定内容に変更し、【保存】をクリックします①。



設定内容

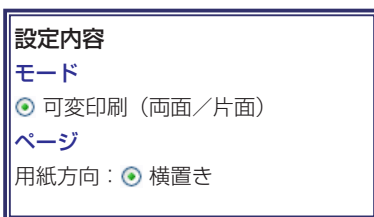
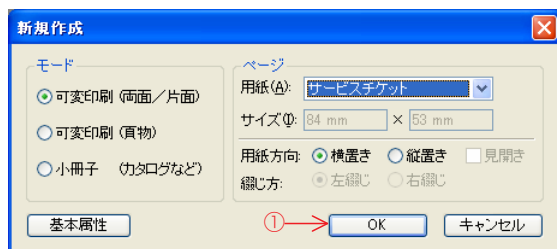
用紙サイズ名：「サービスチケット」
用紙幅：84mm
用紙長さ：53mm

4. 用紙サイズエリアに「サービスチケット」が設定されました。【OK】をクリックします①。

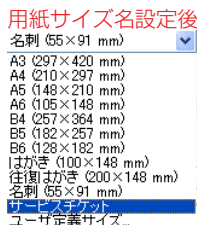
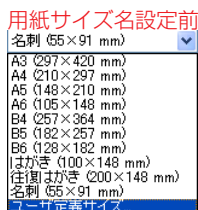


【保存】をクリックすると、用紙サイズ名に入力した「サービスチケット」が用紙サイズエリアに登録されます。

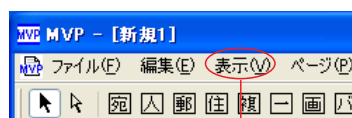
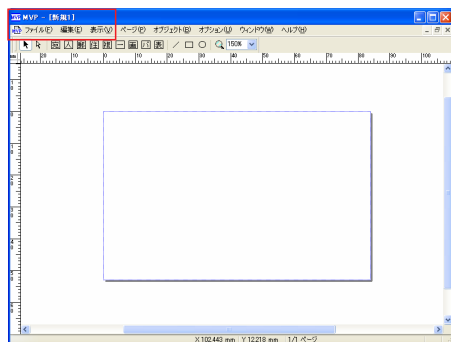
5. 新規作成ダイアログに戻ります。下記の設定に変更し、【OK】をクリックします①。



アドバイス ユーザ定義サイズのダイアログで任意の用紙サイズを設定することができます。設定できる範囲は (5mm ~ 1200mm × 5mm ~ 1200mm) です。用紙サイズ名を入力しないと、登録はできません。登録すると新規作成ダイアログの用紙コンボボックスに表示されます。また、サイズを任意の単位 (例: ポイント・級数) で設定保存した後、ダイアログを再表示すると、現在設定してある単位 (例: ミリメートル) に換算した値で表示されます。





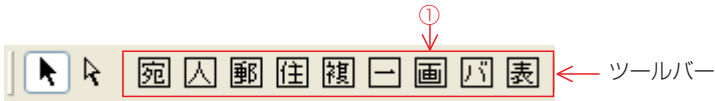
6. 新規1のレイアウト画面が表示されます。



アドバイス メニューバー [表示] → <全体表示>を選択すると、画面上にページ全体が表示されます。

Step 2 塗り足を考慮した画像を貼り込みましょう。

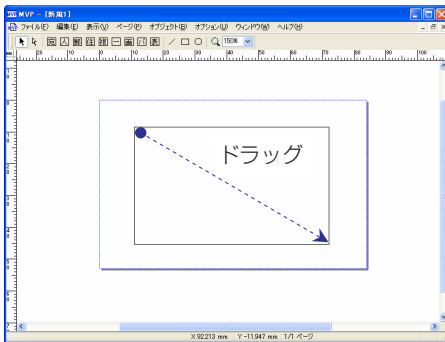
1. レイアウト画面に画像ボックスを作成します。ツールバー → 画をクリックすると、矢印が  から  に変わります。



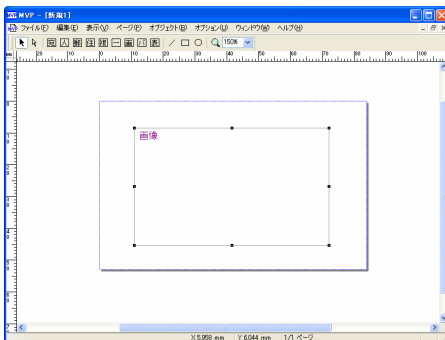
アドバイス レイアウトボックスの作成方法は 2 通りあります。（* Lesson 1 を参照）

- 1 メニューバー → [オブジェクト] → <ボックス新規作成>
- 2 ツールバー → ツールを選択 → レイアウト画面の中でドラッグ

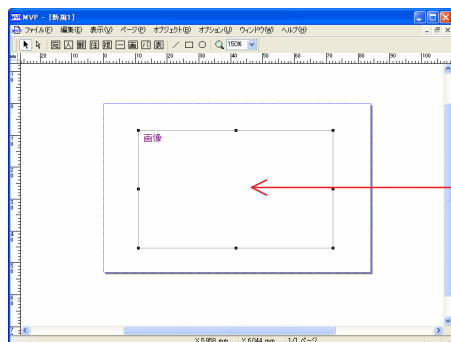
2. レイアウト画面の中でドラッグします。



3. レイアウト画面に任意の大きさの画像ボックスを作成します。



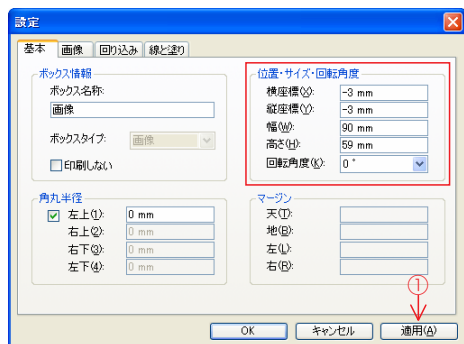
4. 画像ボックスの位置・サイズを設定します。画像ボックスをダブルクリックします。



この中でダブルクリックしてください。

アドバイス ボックスを選択した状態でメニューバー → 【オブジェクト】 → <設定>を選択しても、設定ダイアログが表示されます。

5. 設定のダイアログが表示されます。塗り足し分を入れた用紙サイズより天地左右各 3mm 大きい画像ボックスを設定します。位置・サイズの数値を下記の数値に変更します。【適用】をクリックします①。



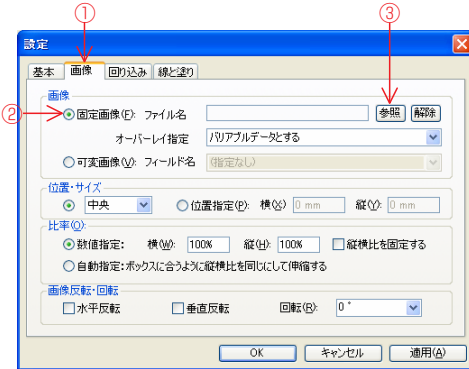
設定内容

位置・サイズ

横座標：「-3mm」 縦座標：「-3mm」

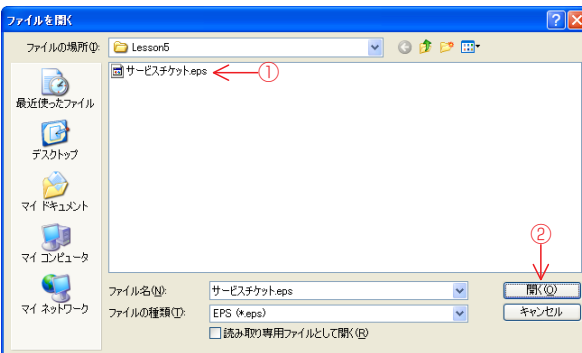
幅：「90mm」 高さ：「59mm」

6. サンプル画像を画像ボックスに配置します。〔画像〕タブをクリックします①。固定画像を選択し②、【参照】をクリックします③。

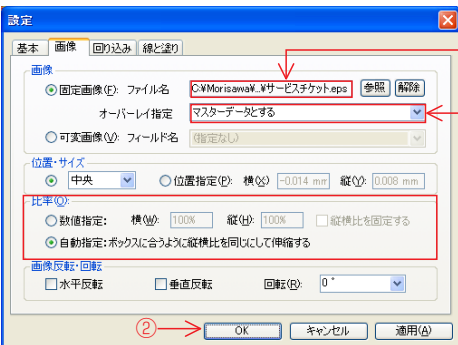


7. ファイルを開くダイアログが表示されます。"C:¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥Lesson5" 中にある「サービスチケット.eps」を選択し①、【開く】をクリックします②。

5



8. オーバーレイ指定を「マスターデータとする」に設定し①、【OK】をクリックします②。



選択した画像のパスが表示されます。

設定内容

比率

☒ 自動指定

アドバイス オーバーレイ指定で「マスターデータとする」を選択すると、常に画像は最背面に表示されます。「オーバーレイ指定」の詳細につきましては、[付録](#)をご覧ください。

9. 画像ボックスに画像が配置されます。

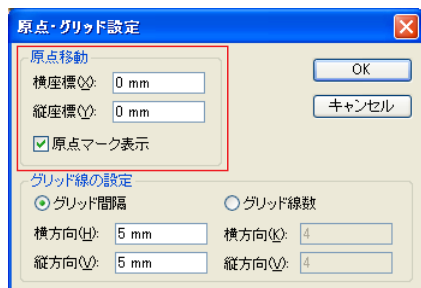


原点マークの設定

メニューバー → [表示] → <原点・グリッド設定>をクリックします①。

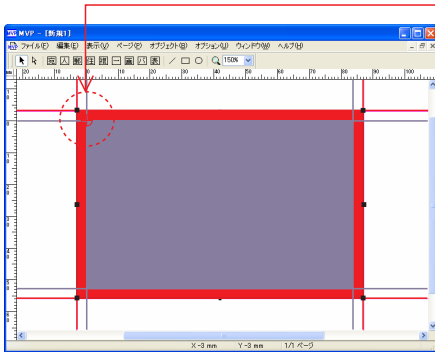


原点・グリッド設定のダイアログが表示されます。横座標・縦座標を決め、原点マーク表示にチェックを入れます。



塗り足しについて

今回は用紙サイズに貼り付ける画像を、用紙サイズよりも大きく設定しています。用紙サイズは、53mm × 84mm に対し、サンプル画像の設定値は 90mm × 59mm と、縦、横とも 6mm 大きく設定しています。原点マークを起点に天地左右各 3mm づつすらした部分が塗り足し部分となります。



⊕ 原点マーク

縦、横、座標値 0mm の原点マークを設定した場所を表します。

■ 画像の座標を表しています。

X -3 mm Y -3 mm

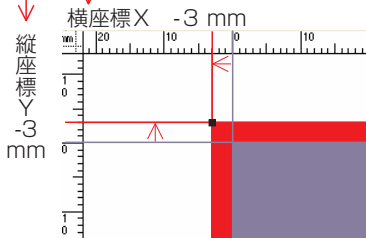
塗り足し部分：サンプル画像の設定値

用紙サイズ：サービスチケット設定値

位置・サイズ

横座標 X:	-3 mm
縦座標 Y:	-3 mm
幅 W:	90 mm
高さ H:	59 mm

用紙幅 W:	53 mm
用紙長さ H:	84 mm



この部分はカットされます。

アドバイス 「面付け設定」→〔アキ・トンボ〕の「4辺裁ち落とし」のチェックを外した場合、塗り足し部分の裁ち落としはされません。

印刷条件設定 アキ・トンボ 用紙との配置

アキ 横	0 mm
縦	0 mm

☒ トンボ

☒ 形式A ☐ 形式B ☐ 形式C

☐ EPS貼込

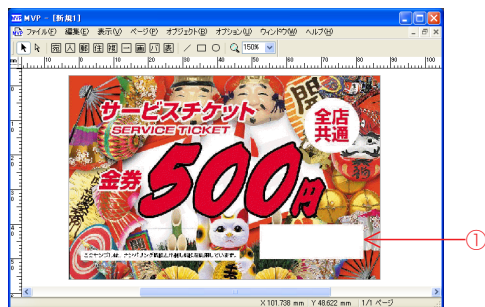
☐ カラーバー

☒ 4辺裁ち落とし

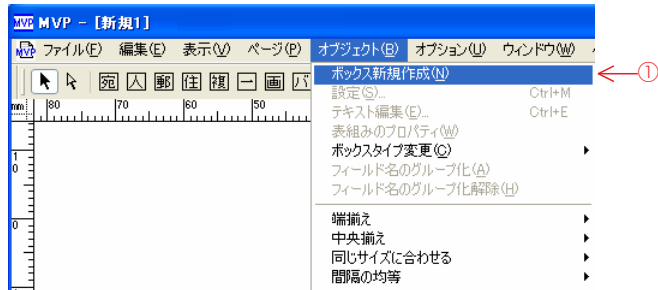
☐ 上下左右に余白を付加

Step 3 複数行ボックスを設定しましょう。

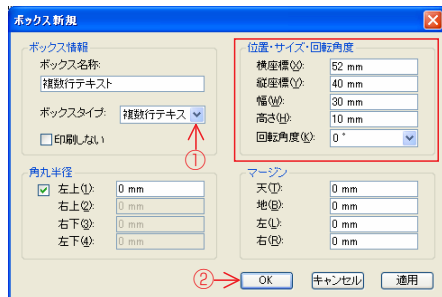
1. レイアウト画像の空白部分①に、複数行ボックスを設定しましょう。



2. メニューバー → [オブジェクト] → <ボックス新規作成>をクリックします①。



3. ボックス新規のダイアログが表示されます。ボックスタイプから「複数行テキスト」を選択し①、下記の設定内容に変更します。【OK】をクリックします②。

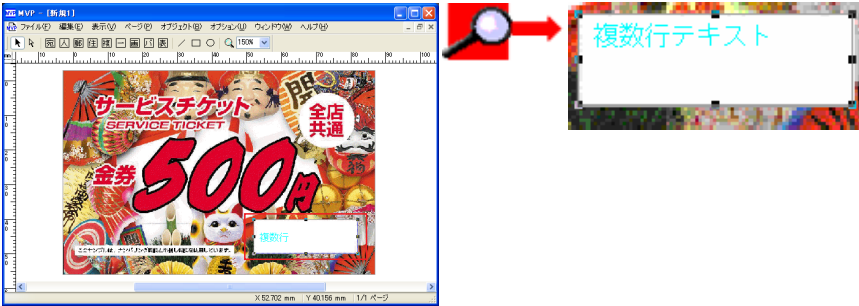


設定内容

位置・サイズ

横座標：「52mm」 縦座標：「40mm」
幅：「30mm」 高さ：「10mm」

4. 複数行テキストボックスがレイアウト画面に作成されます。



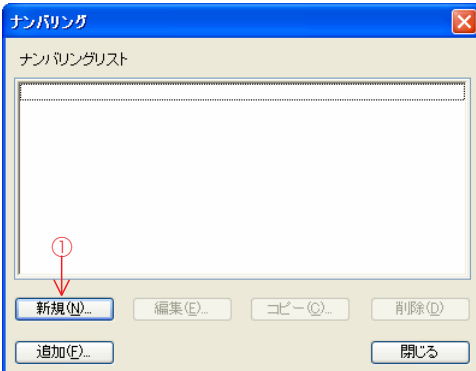
Step 4 ナンバリングの設定をしましょう。

1. 複数行テキストボックスにナンバリングを設定します。メニューバー → 「オプション」 → <ナンバリング設定> をクリックします①。

5



2. ナンバリングのダイアログが表示されます。【新規】 をクリックします①。



3. ナンバリング設定の編集のダイアログが表示されます。下記の設定内容に変更し【OK】をクリックします①。

設定内容

ナンバリング名：「抽選番号」

数値タイプ

☒ 半角算用数字

☒ 桁固定処理

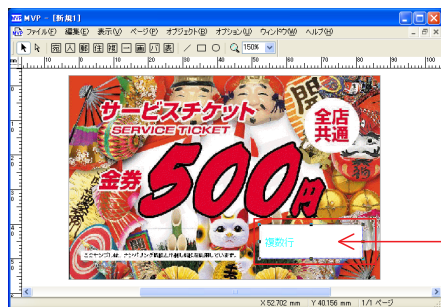
5 桁固定 ☒ 先頭に 0 を埋める

4. ナンバリングのダイアログに戻りますので、【閉じる】をクリックします①。

ナンバリングリストに「抽選番号」の設定が登録されます。

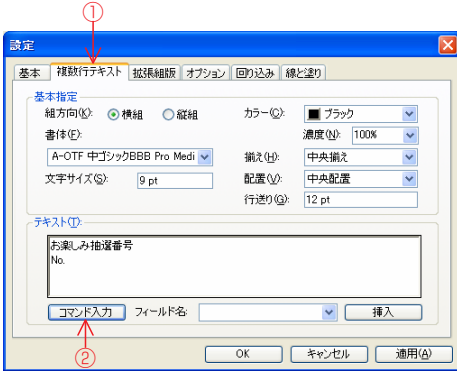
Step 5 テキストとナンバリングの組版コマンドを入力しましょう。

1. 複数行テキストボックスをダブルクリックします。



この中でダブルクリックしてください。

2. 設定のダイアログが表示されます。〔複数行テキスト〕タブをクリックして①、下記の設定内容に変更し、【コマンド入力】をクリックします②。



設定内容

基本指定

揃え：中央揃え

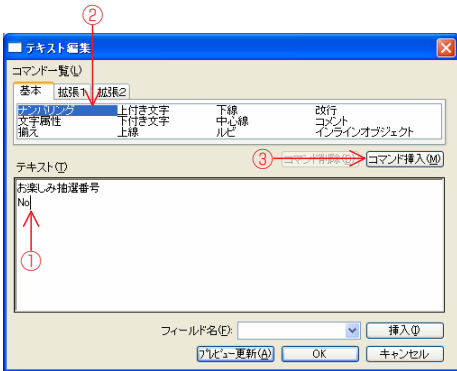
配置：中央配置

テキスト

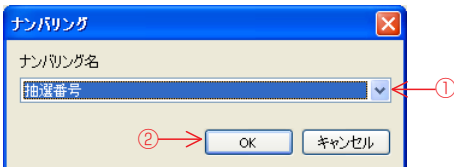
「お楽しみ抽選番号」

「NO.」

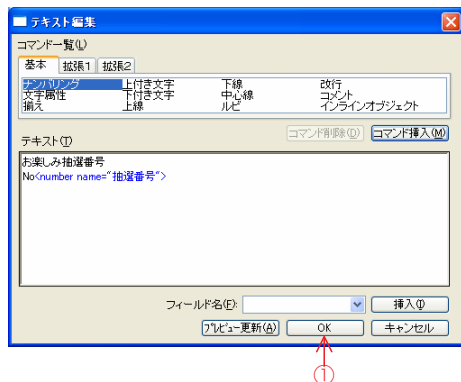
3. テキスト編集のダイアログが表示されます。テキストエリア内の「NO.」の後ろにカーソルを置き①、コマンド一覧のナンバリングを選択し②、【コマンド挿入】をクリックします③。



4. ナンバリングのダイアログが表示されます。Step 4 で設定した、「抽選番号」を選択し①、【OK】をクリックします②。

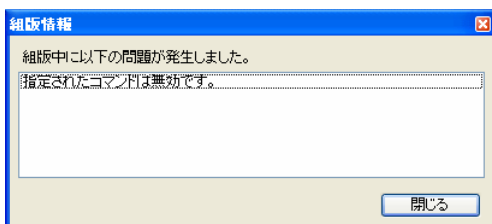


5. テキスト編集のダイアログに戻ります。テキストエリアの NO. の後ろにナンバリングのコマンドが表示されます。【OK】をクリックします①。

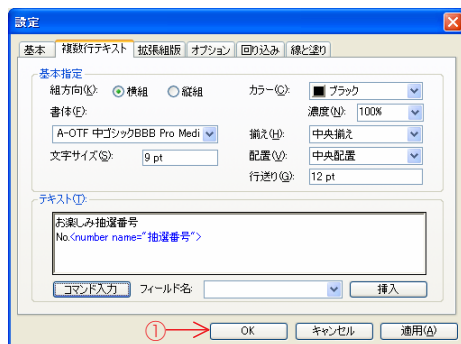


5

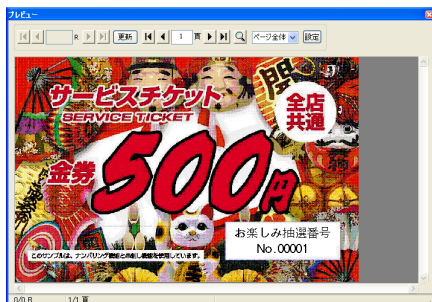
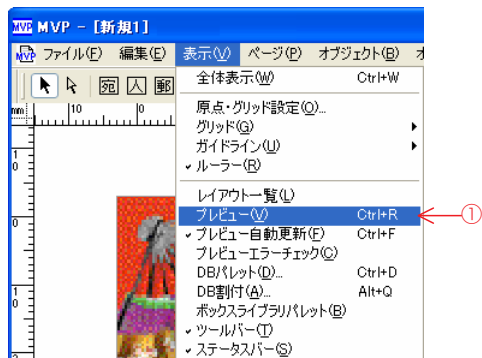
アドバイス プレビュー画面を表示した状態で【プレビュー更新】をクリックした際、コマンド設定に誤りがあれば、右記のエラーメッセージが表示されます。また、プレビュー更新をせずに、【OK】をクリックしてテキスト編集ダイアログを閉じた際、設定ダイアログの【OK】または【適用】をクリックすると、同じエラーメッセージが表示されます。



6. 設定のダイアログに戻ります。【OK】をクリックします①。



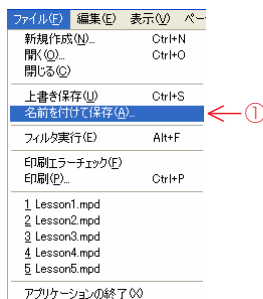
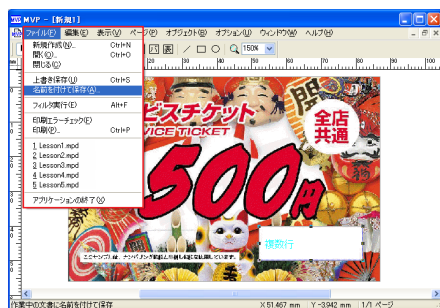
7. プレビューでレイアウトを確認します。メニューバー → [表示] → <プレビュー> を選択すると、プレビューウィンドウが表示されます①。



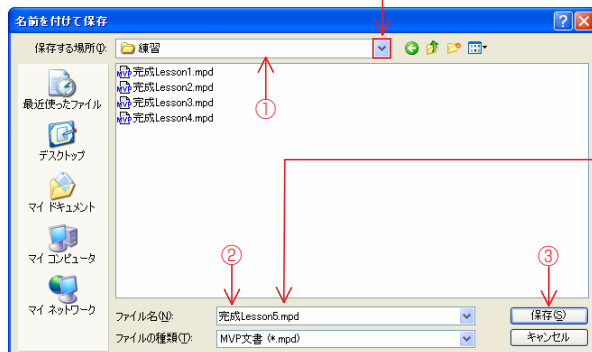
Step 6 保存して、串刺し印刷しましょう。

5

1. メニューバー → [ファイル] → <名前を付けて保存> をクリックします①。



2. 名前を付けて保存のダイアログが表示されます。C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル¥練習”の中に保存します①。ファイル名を「完成 Lesson 5.mpd」に変更し②、【保存】をクリックします③。

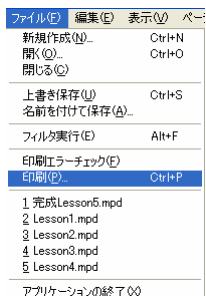
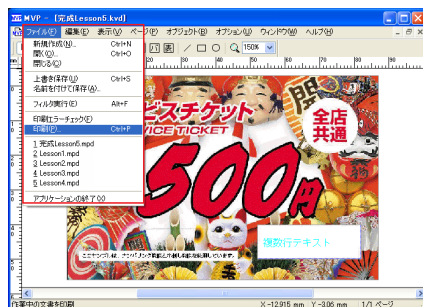


ここをクリックして、保存場所を設定してください。

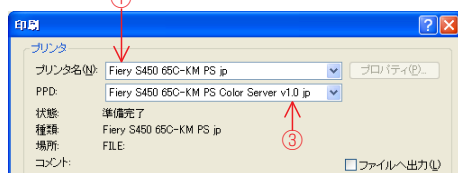
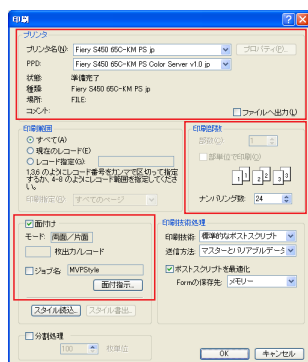
ファイル名を「新規 1.mpd」から「完成 Lesson 5.mpd」に変更してください。

MVP チュートリアルガイド

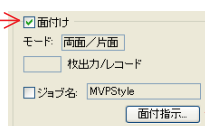
3. 作成した「完成 Lesson5.mpd」を、A4 用紙に横 2 面、縦 4 面の面付け印刷します。メニューバー → [ファイル] → <印刷>をクリックします①。



4. 印刷ダイアログが表示されます。**プリンタ**のプリンタ名を <Fiery S450 65C-KM PS jp> に設定して①、面付けをチェックし②、**プリンタ**の PPD を <Fiery S450 65C-KM PS Color Server v1.0 jp> 設定します③。**印刷部数**のナンバリング数を「24」に設定して④、【面付指示】をクリックします⑤。

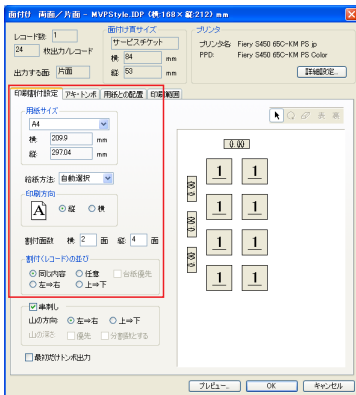


②



アドバイス プリンタ名、PPD はご使用のプリンタドライバと PPD 名に置き換えてお読みください。また、PPD ファイルは「C:\¥Morisawa¥MVP¥PPD」の中に入れてください。

5. 面付け（両面／片面-MVP style IDP）のダイアログが表示されます。〔印刷割付設定〕のタブを選択して①、下記の設定内容に変更します。



設定内容

用紙サイズ 「A4」

印刷方向 「縦」

割付面数：横：2面 縦：4面

割付（レコードの並び） ● 同じ内容

☑ 串刺し

● 「左⇒右」

アドバイス 今回はナンバリング数を「24」に設定してあります。A4用紙に2面×4面＝8面で面付けを行い、3枚印刷します。

串刺し山の方向について

左⇒右

1 枚目	2 枚目	3 枚目
1 4	2 5	3 6
7 10	8 11	9 12
13 16	14 17	15 18
19 22	20 23	21 24

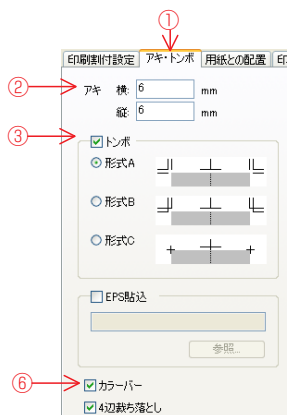
	3	6
2	5	2
1	4	1
7	10	7
13	16	3
19	22	

上⇒下

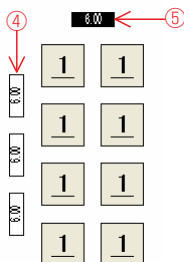
1 枚目	2 枚目	3 枚目
1 13	2 14	3 15
4 16	5 17	6 18
7 19	8 20	9 21
10 22	11 23	12 24

3	1	2	13
6	1	5	17
9	2	8	20
12	2	11	23
			1
			4
			7
			10

6. 「アキ・トンボ」のタブをクリックします①。今回は塗り足しが必要な為、用紙サイズより貼り付けた画像が天地左右 3mm づつ大きく設定しています。アキの横：6mm／縦：6mmと入力し②、トンボにチェックを入れます③。




アドバイス アキの横、縦に数値を入力すると、簡易プレビュー画面上に数値が表示されます④。数値の設定は直接簡易プレビュー画面上で入力することもできます。カーソルを簡易プレビュー画面上のボックスの中でクリックし、黒く反転させて数値を入力することができます⑤。

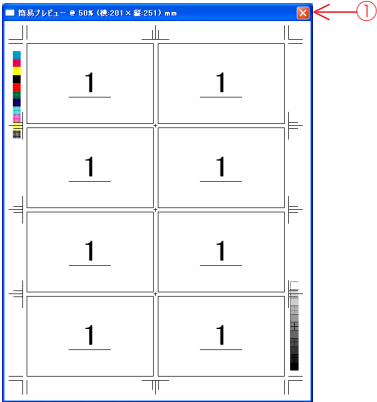


カラーバーにチェックを入れると⑥、CMYK RGB カラーバーを面付け左上に、黒の濃度バーを面付け右下に出力します。簡易プレビューウィンドウで確認できます。

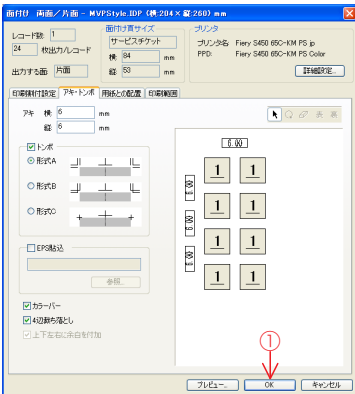


黒の濃度バー

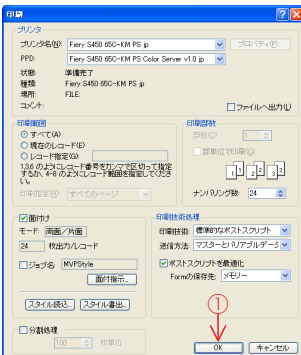
7. 【プレビュー】をクリックします。簡易プレビューウィンドウが表示され、トンボとアキの設定を確認することができます。タイトルバーの  をクリックし、簡易プレビューウィンドウを閉じます①。



8. 面付け（両面／片面-MVP style IDP）のダイアログに戻ります。【OK】をクリックします①。



9. 印刷のダイアログに戻ります。【OK】をクリックすると印刷されます①。



これで Lesson 5 は終了です。

Lesson 6 目次

Lesson 6 可変テキスト入り画像を使いましょう PRO	121
Step 1 Photoshop の動作を確認しましょう。	122
Step 2 はがきの雛形を開きましょう。	126
Step 3 イメージバリアブル用のフィールドを作成しましょう。	127
Step 4 イメージバリアブルの設定を編集しましょう。	130
Step 5 画像配置用のボックスを作りましょう。	137
Step 6 保存と面付け印刷をしましょう。	138

Lesson 6 可変テキスト入り画像を使いましょう

Step 2

はがきの雛形を開きましょう。

MVP を起動し、雛形を開きます。

Step 1

Photoshop の動作を確認しましょう。

Photoshop を起動し、あらかじめアクションや素材を準備します。

Step 3

イメージバリアブル用のフィールドを作成しましょう。

DB パレットで、専用のフィールドを作ります。

Step 4

イメージバリアブルの設定を編集しましょう。

可変テキストを持つ画像の設定を行います。

Step 5

画像配置用ボックスを作りましょう。

作成した画像を入れるためのボックスを用意します。

Step 6

保存と面付け印刷をしましょう。

作成したデータを保存し、面付けして印刷します。



アンケートにお答えください。

飲食店を選ぶとき、重視するサービスは何ですか。

- | | | |
|-----------------|----------------|---------------------|
| 1. 割引やクーポンなどの特典 | 2. ポイントサービス | 3. 携帯やパソコンからの予約サービス |
| 4. 店内全面禁煙サービス | 5. 臨機応変な接客サービス | 6. スタッフの笑顔 |
| 7. その他() | | |

和食のお店で印象に残った料理。すばらしい接客対応などあれば簡単に結構ですので、お教えてください。

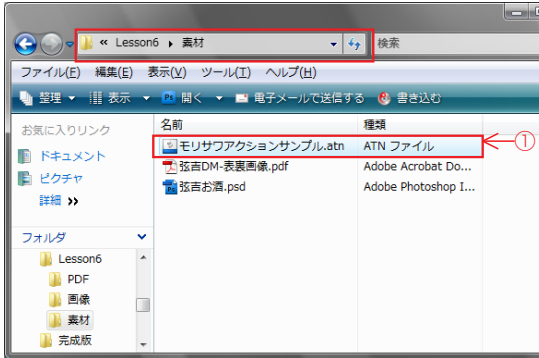


Step 1 Photoshop の動作を確認しましょう。

Photoshop を起動し、アクション機能が正常に機能するか、確認を行います。アクションの使用方法については、Photoshop のマニュアルやヘルプを参照してください。なお、本チュートリアルでは、Photoshop CS4 を例にしています。

注意！ 本製品で対応する Photoshop のバージョンは、CS3 と CS4 です。

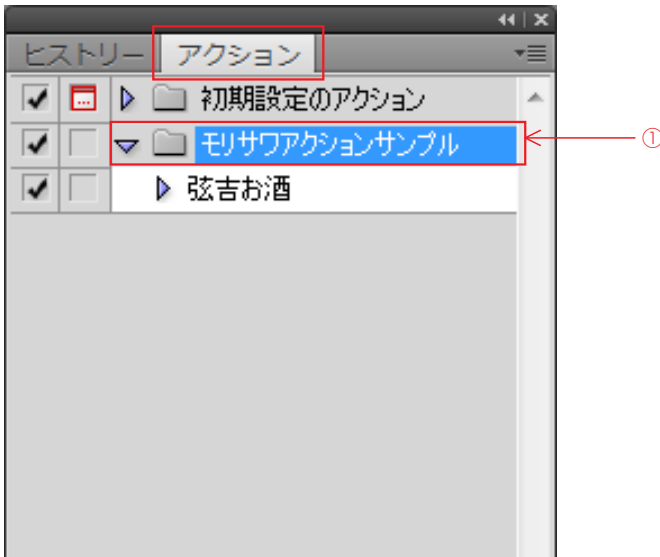
1. サンプルのアクションを Photoshop に登録します。“C:¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥Lesson 6 ¥素材”を開き、「モリサワアクションサンプル.atn」ファイルをダブルクリックします①。



注意！ 既に「モリサワアクションサンプル」アクションが登録されている場合は、登録済のアクションフォルダをリネームするか、削除してください。続けてダブルクリックすると同じフォルダが登録されます。

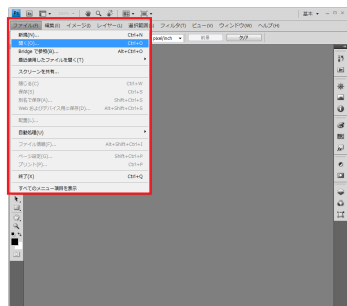
6

2. Photoshop のアクションパネルに、「モリサワアクションサンプル」が読み込まれます①。

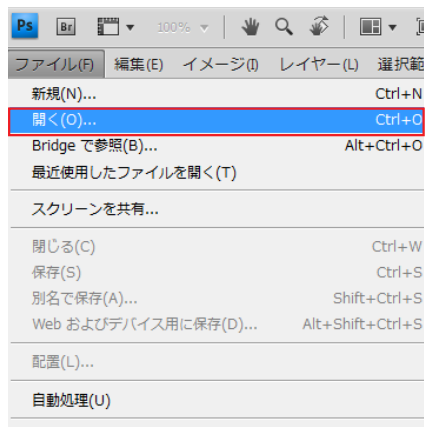


MVP チュートリアルガイド

3. アクションの動作確認を行うため、サンプルファイルを開きます。メニューバー → [ファイル] → <開く> をクリックします①。

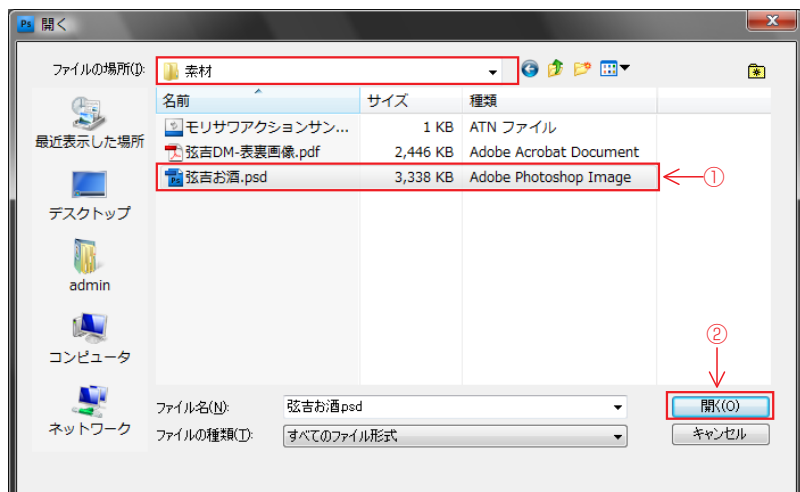


① →



6

4. ファイル選択画面で “C:¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥Lesson 6 ¥素材 ” へ移動し、「弦吉お酒.psd」を選択①、【開く】をクリックします②。

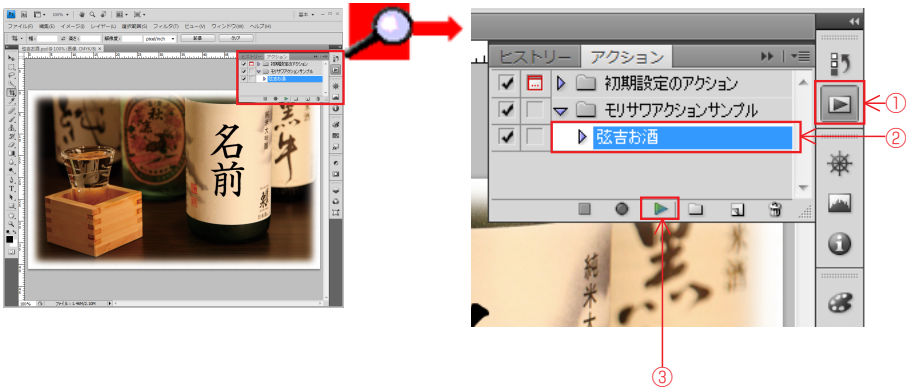


5. サンプルファイルが開きます。

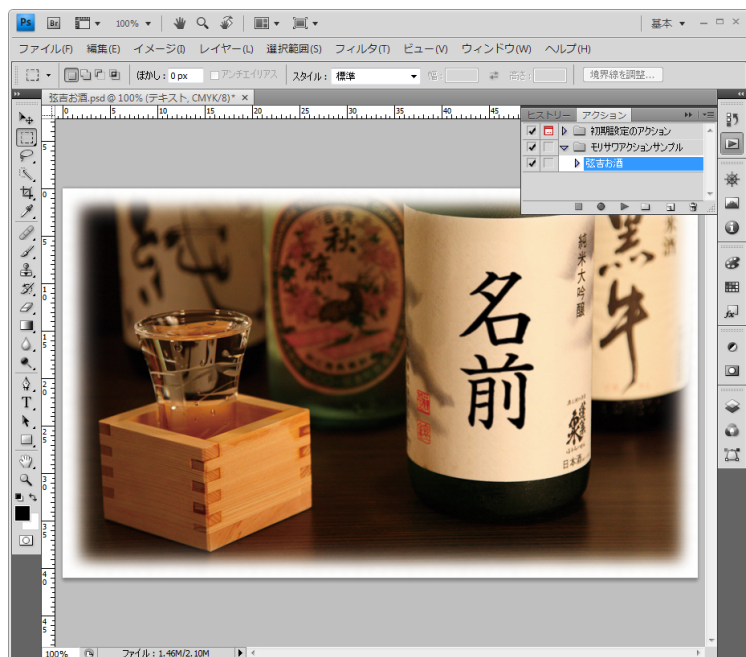


6

6. アクションパネルを開き①、読み込まれている「モリサワアクションサンプル」フォルダ内の「弦吉お酒」を選択②、「選択項目を再生」のボタンをクリックします③。



7. 処理が完了すると、サンプルファイル内のテキストが下図のように画像になじみます。

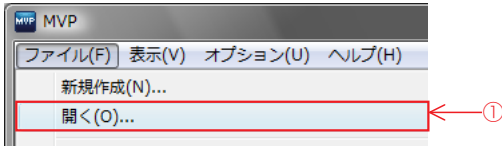


アドバイス アクションの作成方法については、MVP アプリケーション CD の「チュートリアル」フォルダ内にある「イメージバリエアブルアクションサンプル例.pdf」に記載しております。必要に応じてご参照ください。

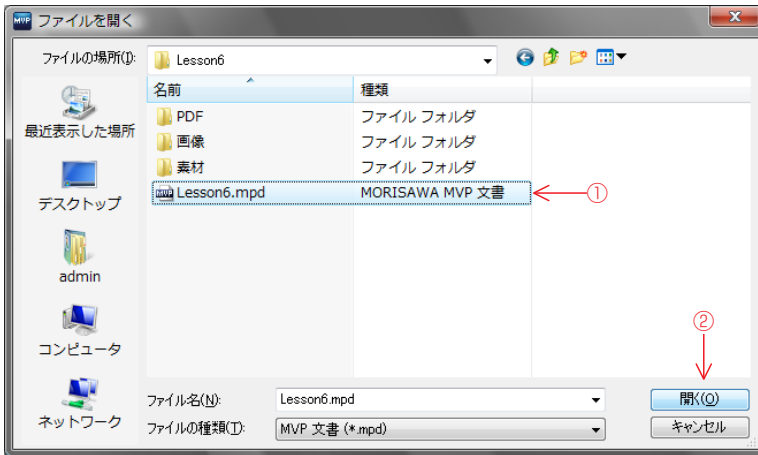
Step 2 はがきの雛形を開きましょう。

MVP を起動して、あらかじめ用意してある雛形を開きます。

1. メニューバー → [ファイル] → <開く>をクリックします①。

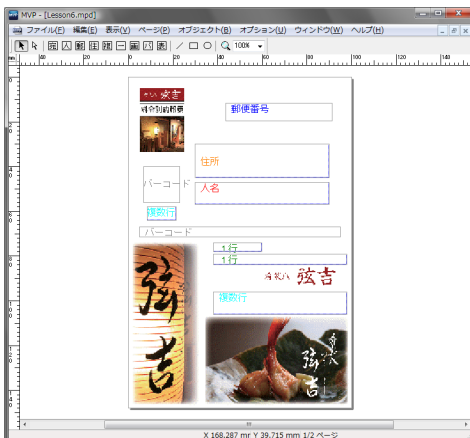


2. "C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル¥Lesson 6" 中にある「Lesson 6 .mpd」を選択し①、【開く】をクリックします②。



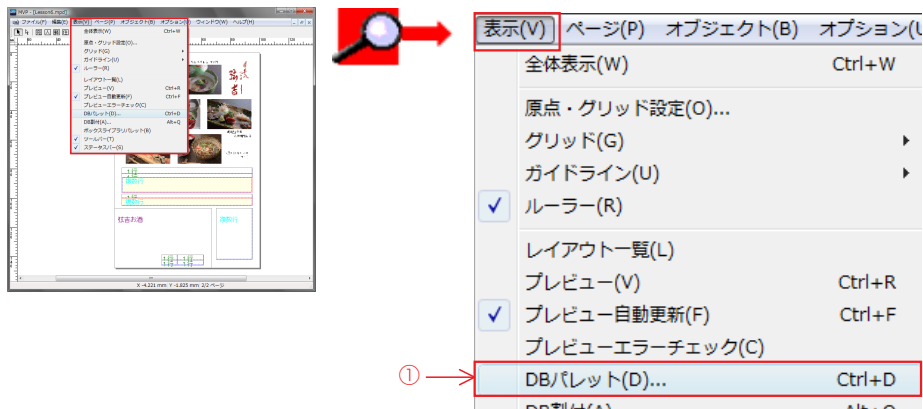
注意！ Acrobat/Adobe Reader が起動している場合は、終了を促すアラートが表示されます。
Lesson 6 のサンプル文書は PDF 取り込み機能を利用しますので、一旦 Acrobat/Adobe Reader を終了してからドキュメントを開いてください。

3. はがきの雛形レイアウト画面が開きます。

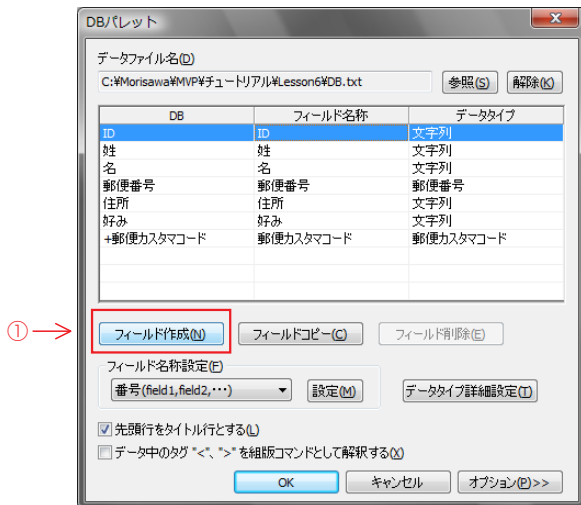


Step 3 イメージバリアブル用のフィールドを作成しましょう。

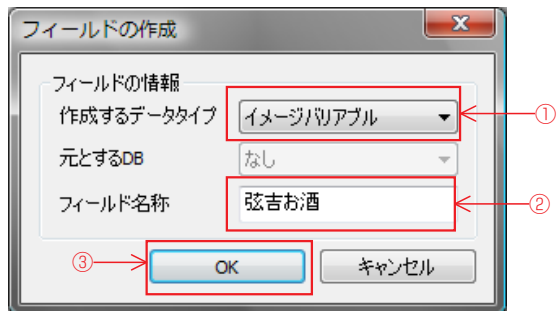
1. メニューバー → [表示] → < DB パレット > をクリックします①。



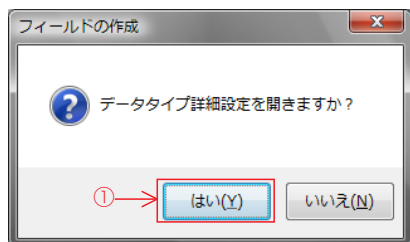
2. DB パレットのダイアログが表示されます。DB 用のテキストが既に読み込まれていますが、イメージバリアブル用のフィールドを追加するため、【フィールド作成】をクリックします①。



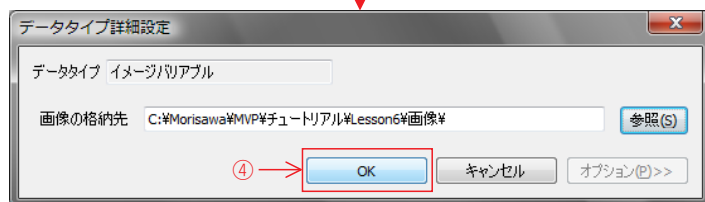
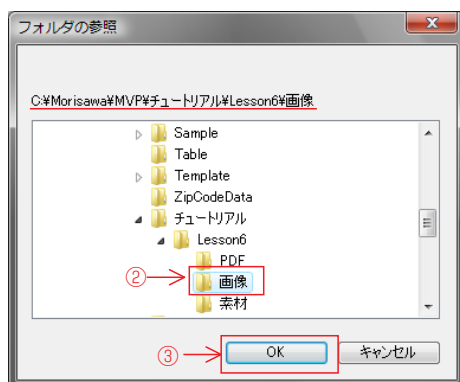
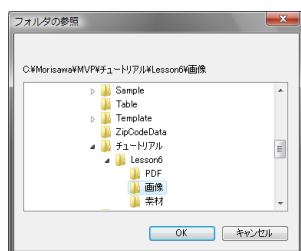
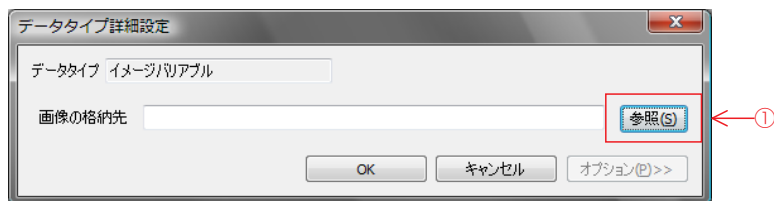
3. フィールド作成ダイアログが表示されますので、作成するデータタイプで「イメージバリアブル」を選択し①、フィールド名称に「弦吉お酒」を入力②、【OK】をクリックします③。



4. 「データタイプ詳細設定を開きますか?」というダイアログが表示されますので、【はい】をクリックします①。

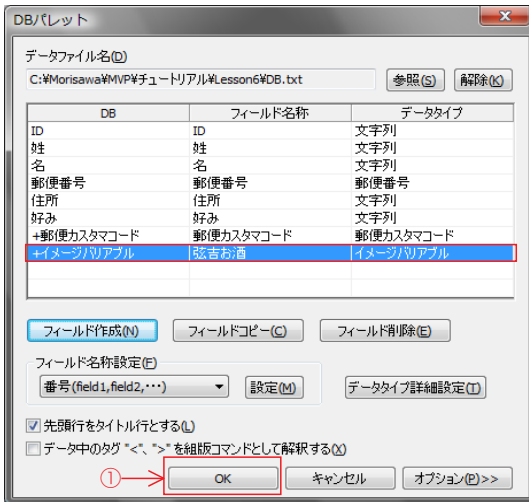


5. データタイプ詳細設定では、作成される画像の格納先を選択します。【参照】をクリックすると①、フォルダ参照のウィンドウが開きますので、「C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル¥Lesson 6¥画像」を指定し②、【OK】をクリックします③。データタイプ詳細設定のウィンドウに戻ったら、そのまま【OK】をクリックします④。



注意！ 画像の格納先フォルダは、事前にエクスプローラ等で作成しておきます。

6. DB パレットのダイアログに戻った後、【OK】をクリックしてダイアログを閉じます①。

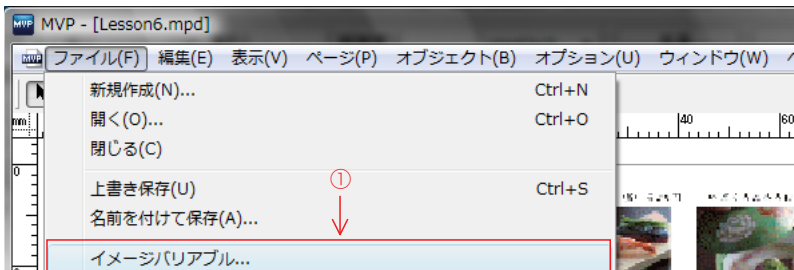


Step 4 イメージバリアブルの設定を編集しましょう。

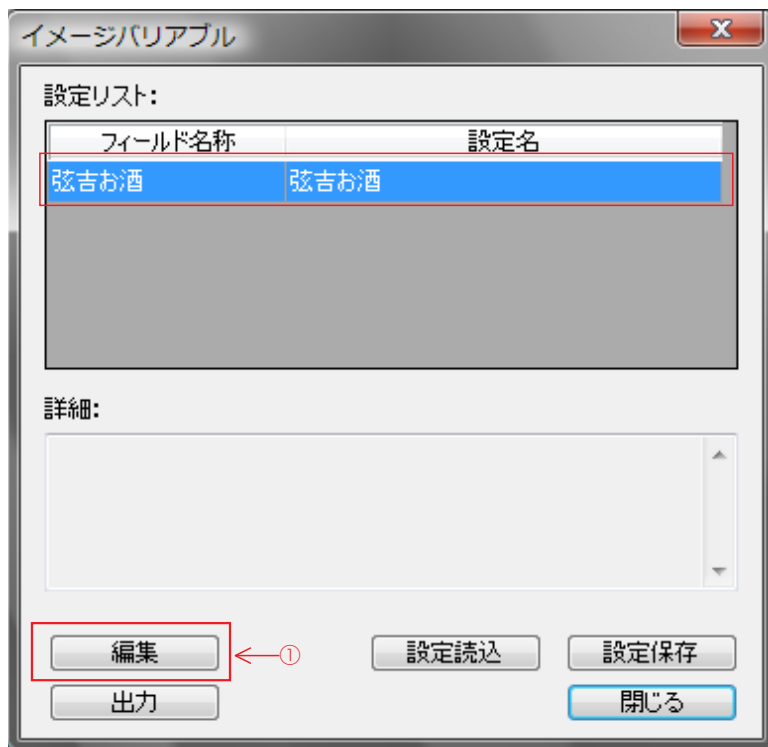
6

イメージバリアブルの詳細な設定を行います。

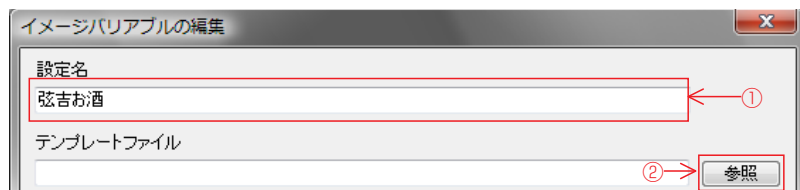
1. メニューバー → [ファイル] → <イメージバリアブル>をクリックします①。



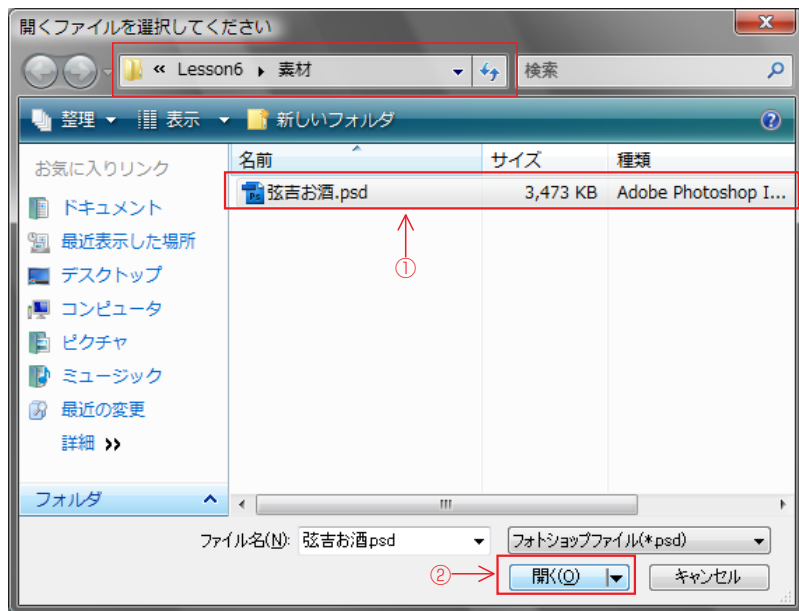
2. イメージバリアブルのダイアログが開きますので、「弦吉お酒」のフィールドが選択されているのを確認し、【編集】をクリックします①。



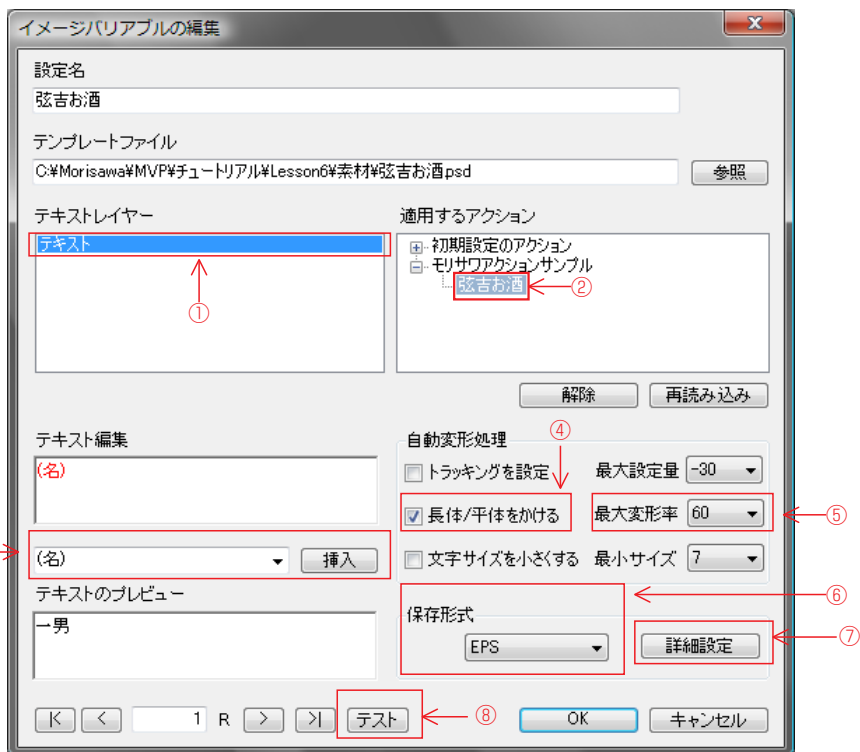
3. イメージバリアブルの編集ウィンドウが開きますので、設定を加えていきます。まずは設定名に「弦吉お酒」を入力します①。入力後、テンプレートファイルを選択するため【参照】をクリックします②。



4. ファイル選択ウィンドウで、「C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル¥Lesson 6 ¥素材¥弦吉お酒.psd」を指定し①、【開く】をクリックします②。



5. テンプレートファイルを選択後、PSD ファイルに含まれるテキストレイヤーの情報や、Photoshop に登録されているアクションの一覧が読み込まれますので、他の項目も含め設定します。



設定内容

テキストレイヤー：「テキスト」①

適用するアクション：「弦吉お酒」（モリサワアクションサンプル内）②

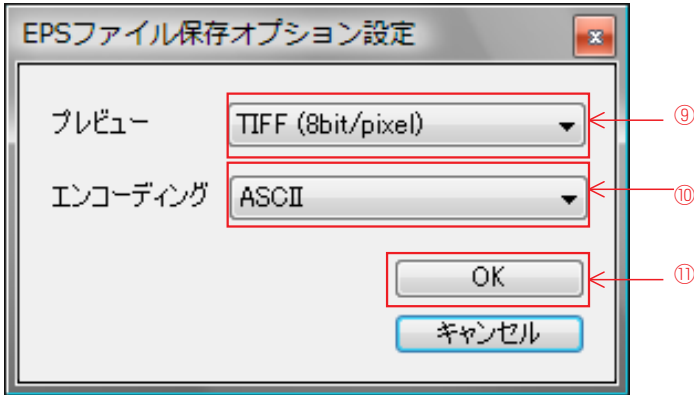
テキスト編集：「名」を【挿入】③

自動変形処理：長体 / 平体をかける④

最大変形率：60⑤

保存形式：EPS⑥

保存形式に EPS を選択後、【詳細設定】をクリックし（前ページ⑦）、プレビューに「TIFF（8 bit/pixel）」を選び⑨、エンコーディングを「ASCII」とします⑩。設定後、【OK】をクリックします⑪。



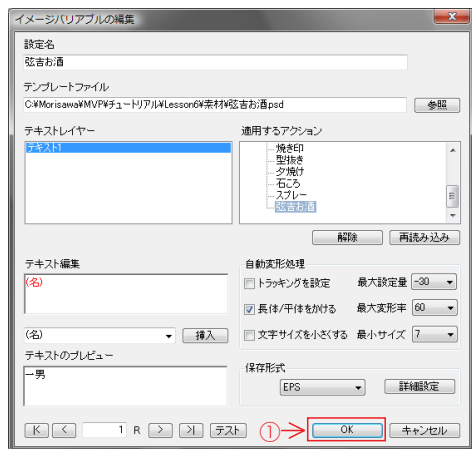
設定完了後、【テスト】をクリックし（前ページ⑧）、画像作成テストを行います。【テスト】ボタンをクリック後、Photoshop のウィンドウを開き、テスト実行結果を確認します。



アドバイス Photoshop の画面が MVP の画面に隠れている場合は、タスクバー上にある Photoshop のウィンドウをクリックし、Photoshop の画面を最前面に配置します。

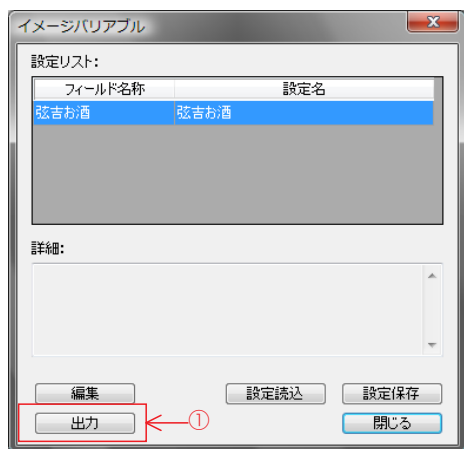
MVP チュートリアルガイド

テスト結果が正常ならば、イメージバリアブルの編集ウィンドウを開き、【OK】をクリックします①。

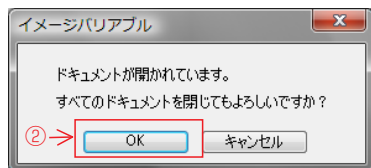


6. イメージバリアブルのダイアログに戻りますので、【出力】をクリックします①。

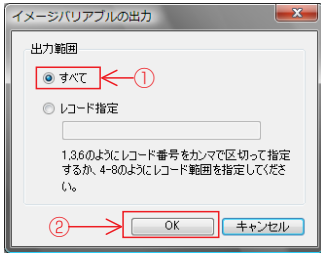
6



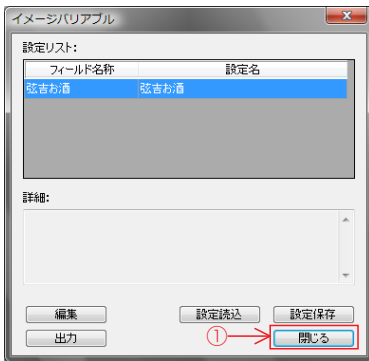
Photoshop でファイルが開かれている場合、下記のようなメッセージが表示されますので、【OK】をクリックします②。



7. 開かれるイメージバリアブルの出力ウィンドウで、出力範囲を指定します。ここでは「すべて」を選び①、【OK】をクリックします②。クリック後、可変テキストを含む画像の作成が Photoshop 側で開始されます。



8. Photoshop の作業が終了したらイメージバリアブルの設定ダイアログに戻り、そのまま【閉じる】をクリックします①。



Step 5 画像配置用のボックスを作ります。

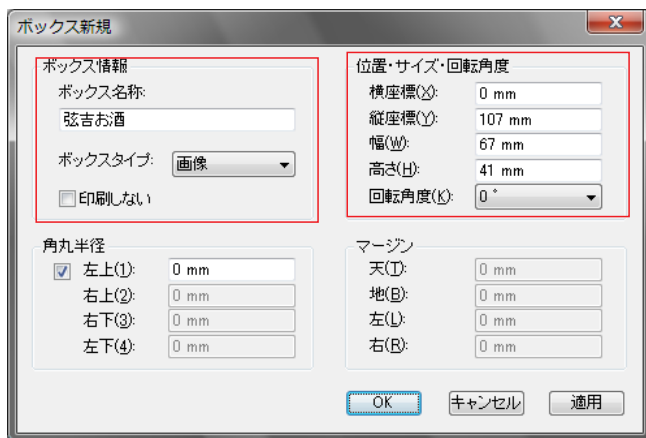
はがきの裏面に、作成される画像を配置するためボックスを作成します。

注意！ Acrobat/Adobe Reader が起動している場合は、終了を促すアラートが表示されます。
その場合は、一旦 Acrobat/Adobe Reader を終了してから作業を進めてください。

1. ファイルの2ページ目に移動します。
2. メニューバー→[オブジェクト]→<ボックス新規作成>をクリックします①。



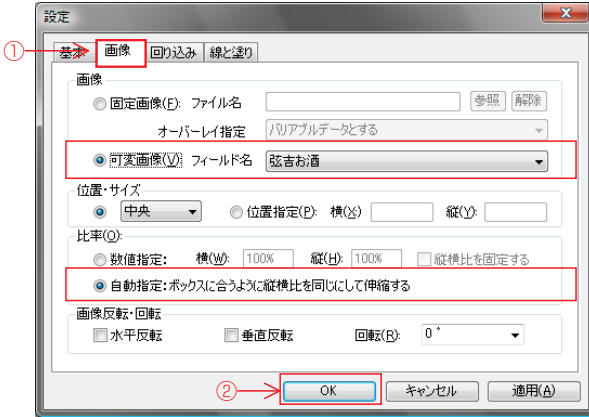
3. 以下のような設定で画像ボックスを作成します。



設定内容

ボックス名称：弦吉お酒
 ボックスタイプ：画像
 縦座標：107 mm
 幅：67 mm
 高さ：41 mm

4. 作成した画像ボックスをダブルクリックし、ボックス設定ウィンドウの〔画像〕タブへ移動し①、下記の設定を加えます。設定後、【OK】をクリックし②、設定ウィンドウを閉じます。



設定内容

画像：可変画像
フィールド名：弦吉お酒
比率：自動指定

Step 6 保存と面付け印刷をしましょう。

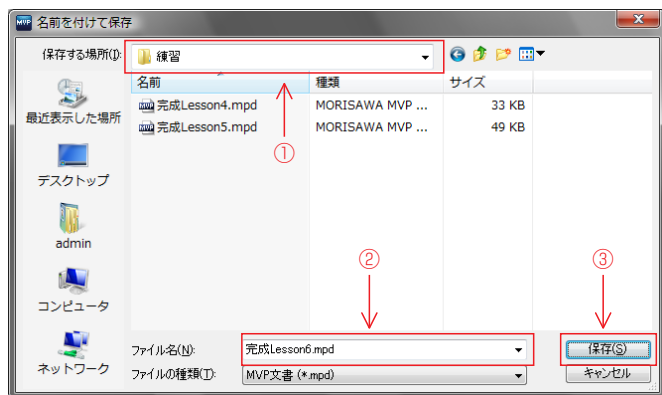
ファイルの保存後、印刷を行います。

1. メニューバー → [ファイル] → <名前を付けて保存>をクリックします①。

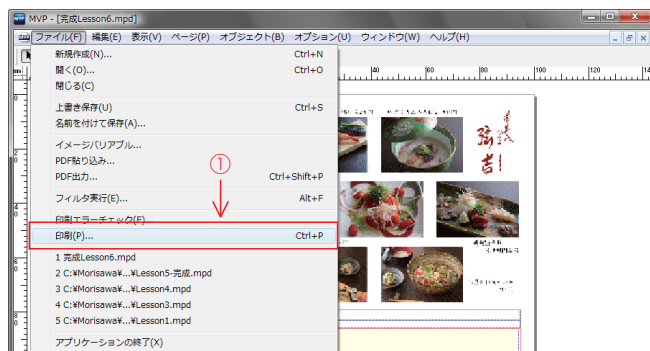


MVP チュートリアルガイド

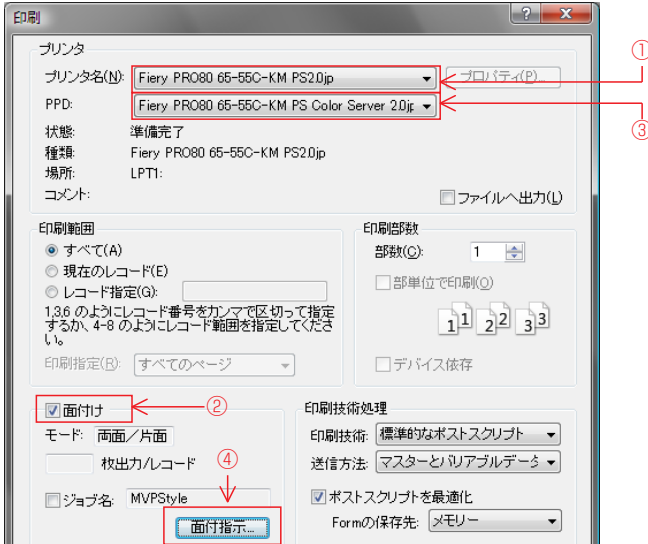
2. 「名前を付けて保存」のダイアログが表示されます。「C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル¥練習」の中に保存します①。ファイル名を「完成 Lesson 6 .mpd」に変更し②、【保存】をクリックします③。



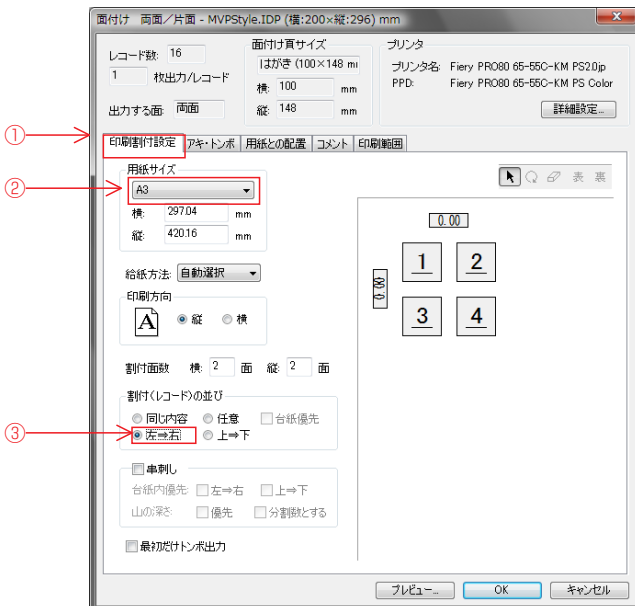
3. 保存後、作成された「完成 Lesson 6 .mpd」を、面付けして印刷します。メニューバー → [ファイル] → <印刷>をクリックします①。



4. 出力を行う機器を指定し①、「面付け」のチェックボックスにチェックを入れ②、PPD に適切なものが選択されているか確認します③。【面付指示】をクリックします④。

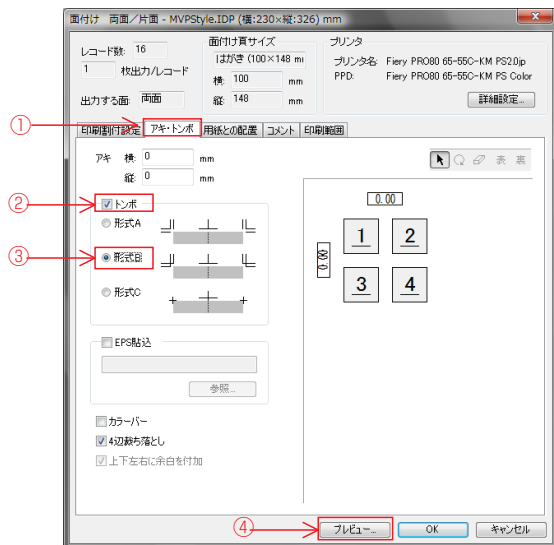


5. 面付の設定を行うダイアログが表示されます。〔印刷割付設定〕タブをクリックし①、用紙サイズを「A 3」②、割付（レコード並び）の「左⇒右」を選択します③。

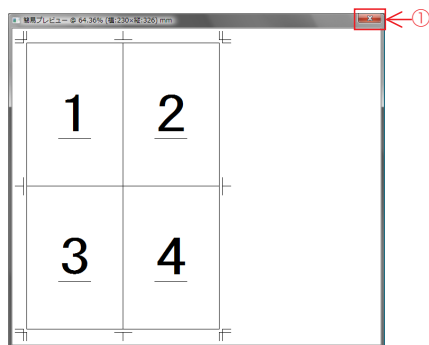


MVP チュートリアルガイド

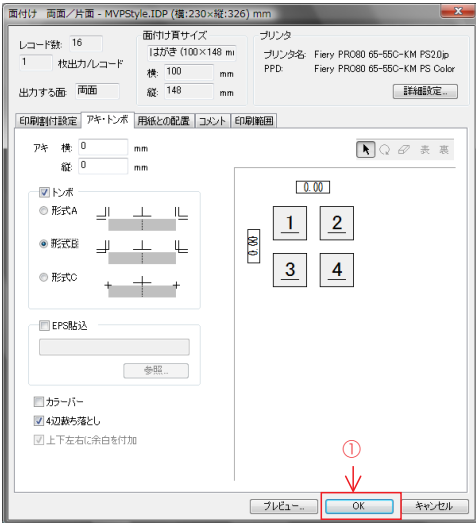
6. 次に【アキ・トンボ】タブをクリックし①、トンボの設定を行います。トンボのチェックボックスにチェック②、「形式 B」を選択します③。設定後は、【プレビュー】をクリックします④。



7. 簡易プレビュー画面が開きますので、レコードの割り付け順やトンボの有無等を確認します。問題がなければ、右上の【×】をクリックしてプレビューを閉じます①。



8. 面付け設定画面に戻った後【OK】をクリック、面付け設定のダイアログを閉じます①。



9. 印刷設定を終えたら、【OK】をクリックし、印刷を開始します①。



Lesson 7 目次

Lesson 7 生年月日データを成形して出力しましょう PRO	145
Step 1 生年月日データの成形ルールを作成しましょう。	146
Step 2 出力に使用するテンプレートを作成しましょう。	156
Step 3 成形から出力までのフローを可視化しましょう。	161
Step 4 フローを実行しましょう。	183

Lesson 7 生年月日データを成形して出力しましょう



Step 1

生年月日データの成形ルールを作成しましょう。

MXP for MVP を使用し、テキストデータからの情報を抽出・ソート、及び、書式変更を行います。

Step 2

出力に使用するテンプレートを作成しましょう。

MVP 上で、出力時に情報を流し込むひな形の設定を行います。

Step 3

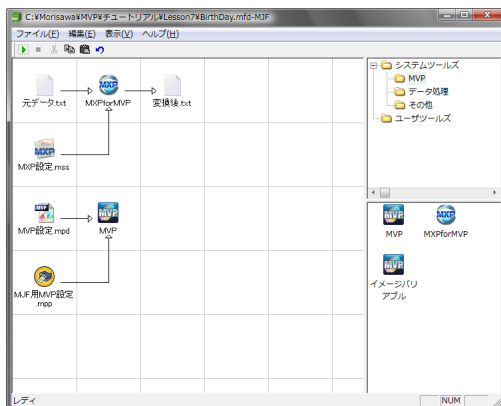
成形から出力までのフローを可視化しましょう。

MJF for MVP を使用し、出力までの流れを図式化し、出力設定を加えます。

Step 4

フローを実行しましょう。

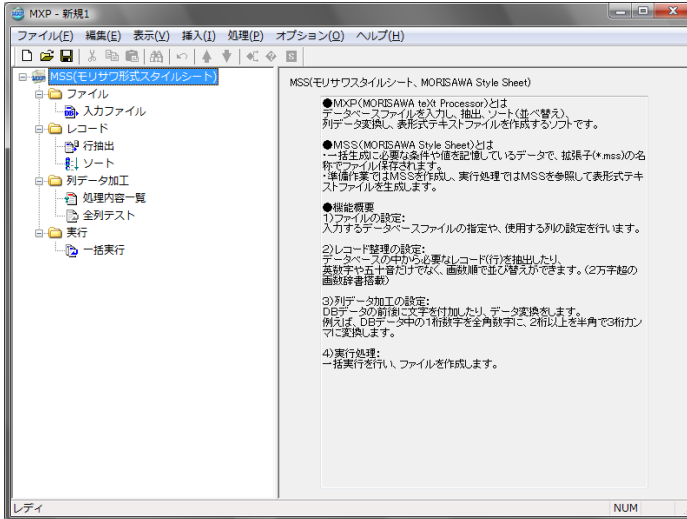
作成したフローを実行し、実際の処理に移ります。



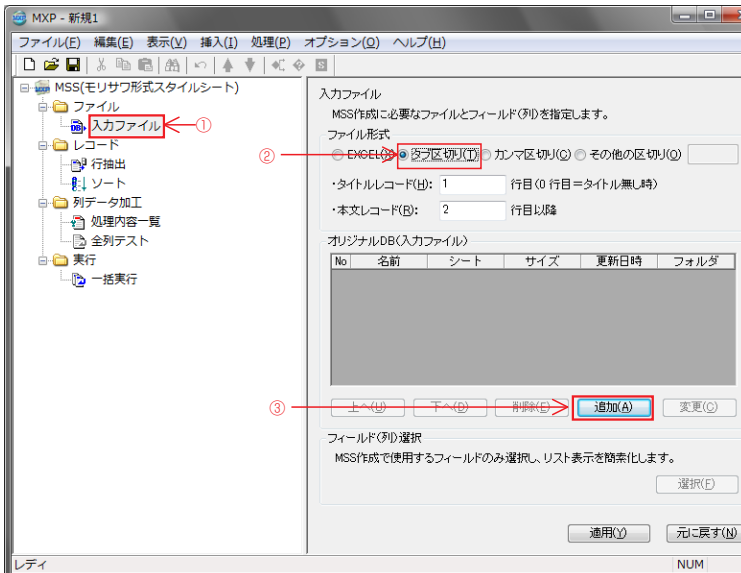
Step 1 生年月日データの成形ルールを作成しましょう。

用意されたテキストデータ内から生年月日を含むレコードを抽出し、データの並び替えと生年月日書式の変更を行います。

1. MXP for MVP を起動します。起動すると、次のようなウィンドウが開きます。

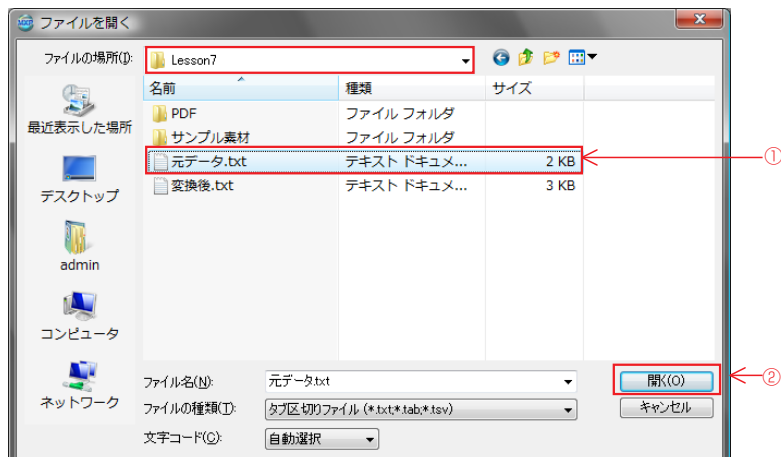


2. 加工元となる入力ファイルを指定します。画面左より【入力ファイル】をクリックし①、画面右のファイル形式として「タブ区切り」を選択②、オリジナル DB 内の【追加】ボタンをクリックします③。

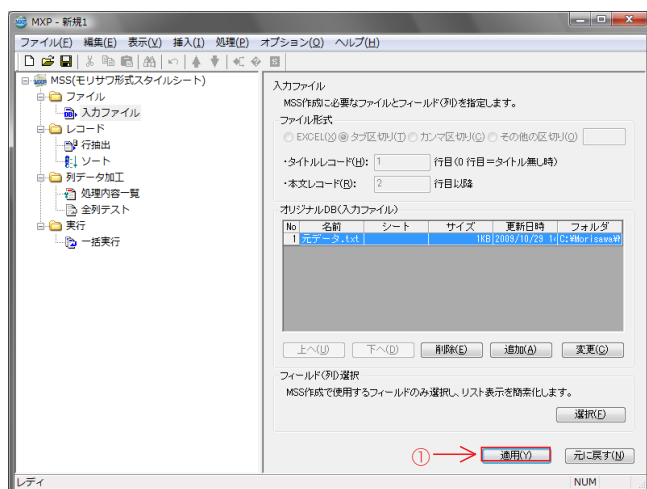


MVP チュートリアルガイド

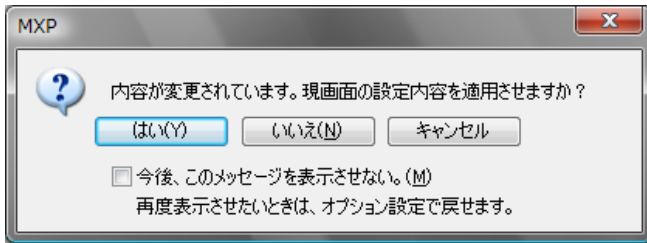
3. "C: ¥Morisawa ¥MVP ¥チュートリアル¥Lesson 7 "内の「元データ.txt」を選択し①、【開く】をクリックします②。



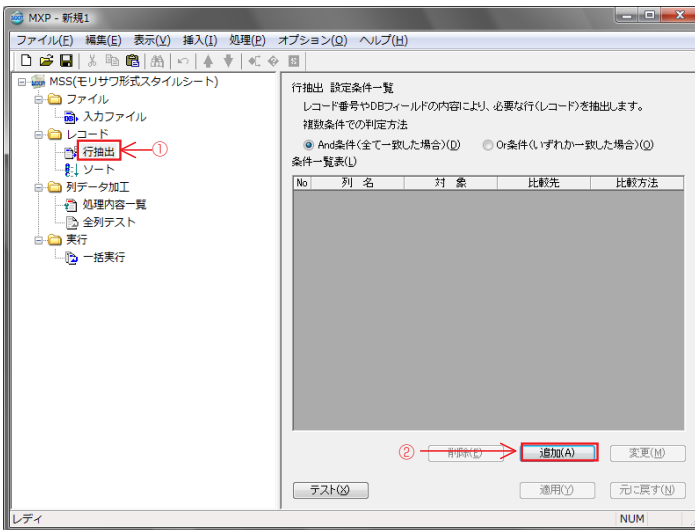
4. 入力ファイル設定画面に戻った後、下部の【適用】ボタンをクリックします①。



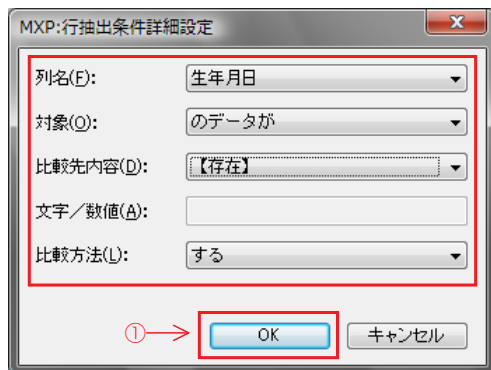
アドバイス 適用ボタンをクリックせずに他の設定画面へ移ろうとすると、下記のようなアラートが表示されることがあります。「今後、このメッセージを表示させない」を選択し、【はい】を選ぶと、他の設定画面へ移る前に設定が自動で保存されるようになります。



5. ファイルの選択後、使用するデータ内レコードの抽出条件を設定します。画面左の〔行抽出〕をクリックし①、画面右下部の【追加】をクリックします②。



6. 行抽出条件の設定ダイアログが表示されますので、下記の設定を加え、【OK】をクリックします①。



設定内容

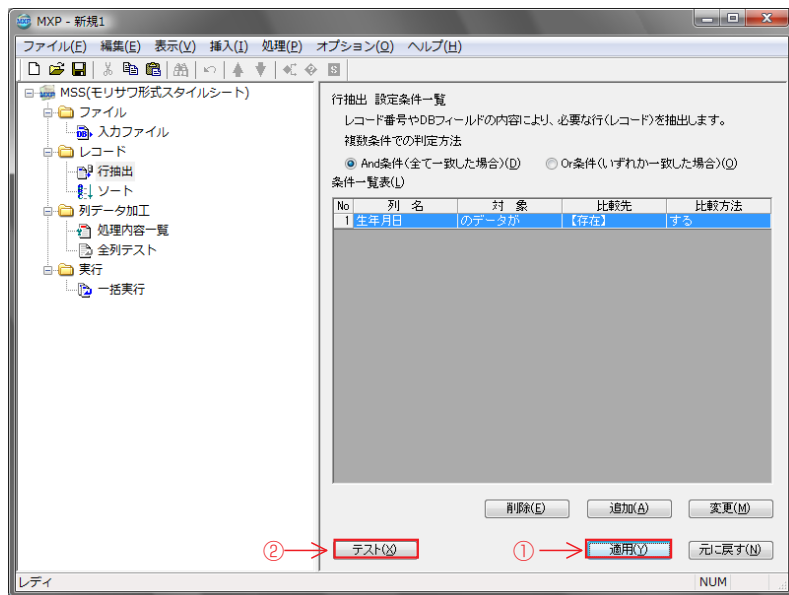
列名:「生年月日」

対象:「のデータが」

比較先内容:「【存在】」

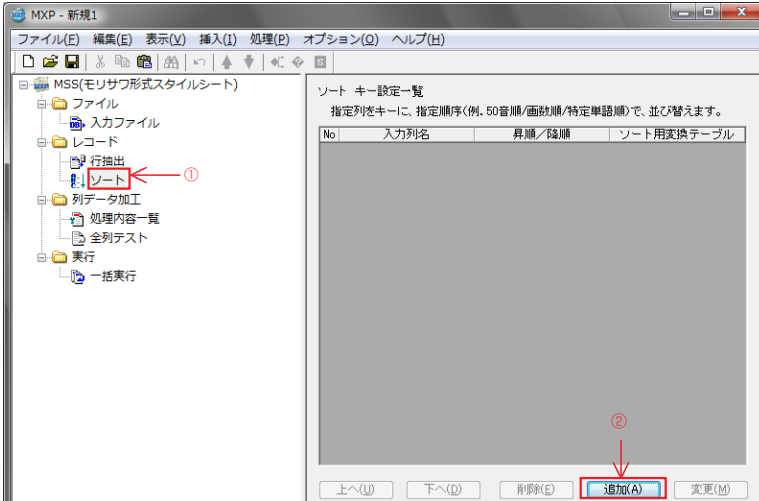
比較方法:「する」

7. 行抽出の設定画面に戻りますので、【適用】をクリックします①。

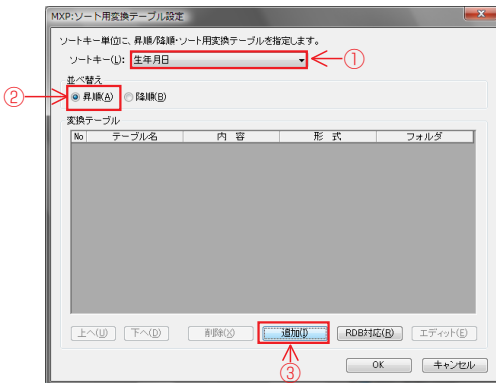


アドバイス 【テスト】をクリックすると②、抽出結果を Excel (なければメモ帳) で表示します。

8. 次に、データの並べ替えに関する設定を行います。画面左の〔ソート〕をクリックし①、画面右下の【追加】をクリックします②。

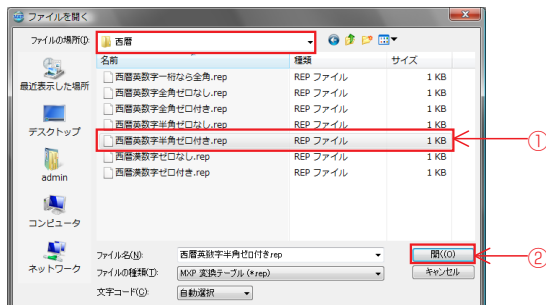


9. ソートに用いる変換テーブル設定のダイアログが開きます。ソートキーに「生年月日」①、並べ替えに「昇順」を設定し②、【追加】をクリックします③。

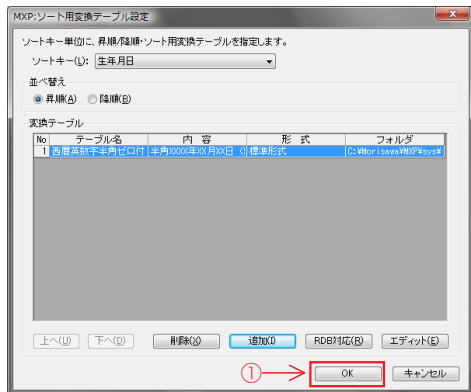


MVP チュートリアルガイド

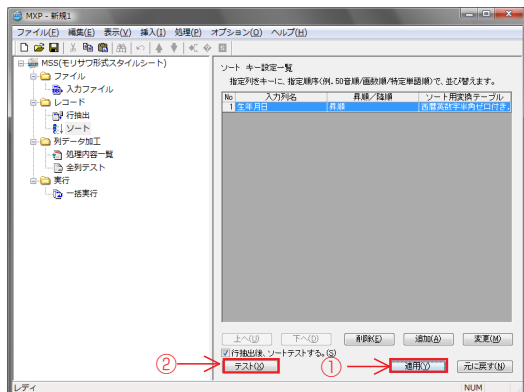
10. ファイル選択画面が現れますので、「C:\Morisawa\MXP\sys\table\日付 西暦」内の「西暦英数字半角ゼロ付き.rep」を選択し①、【開く】をクリックします②。



11. 変換テーブル設定ダイアログに戻り、【OK】をクリックします①。

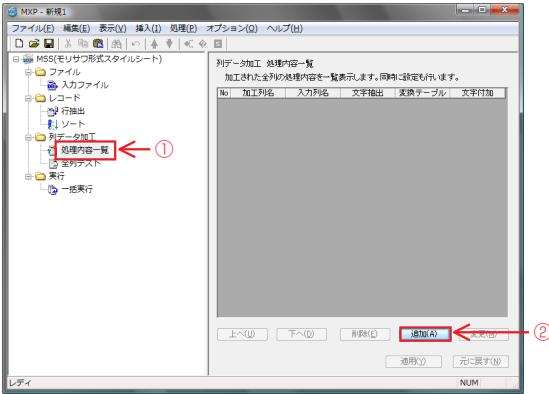


12. ソート設定画面で、【適用】をクリックします①。

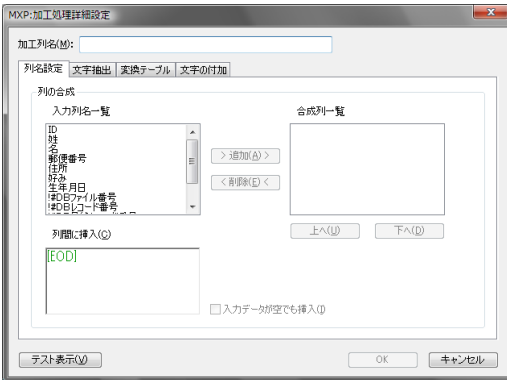


アドバイス 【テスト】をクリックすると②、Excel（なければメモ帳）にソート結果が出力されます。

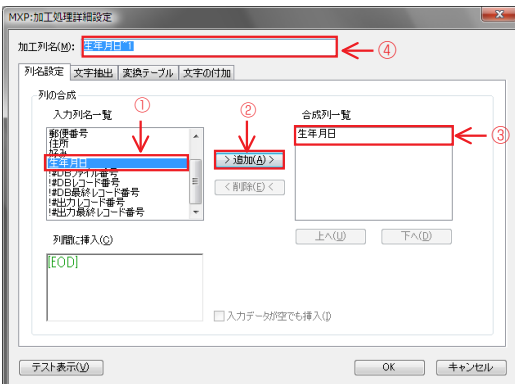
13. データの抽出・ソート後に実行する処理内容を設定します。画面左の〔処理内容一覧〕をクリックし①、画面右下部の【追加】をクリックします②。



14. データ加工処理の詳細設定ダイアログが表示されます。



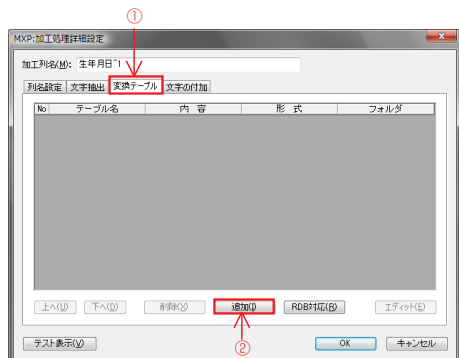
15. 現在の〔列名設定〕タブで、入力列名一覧より「生年月日」を選択し①、【追加】をクリックします②。合成列一覧に「生年月日」が表示され③、加工列名が「生年月日~1」④となります。



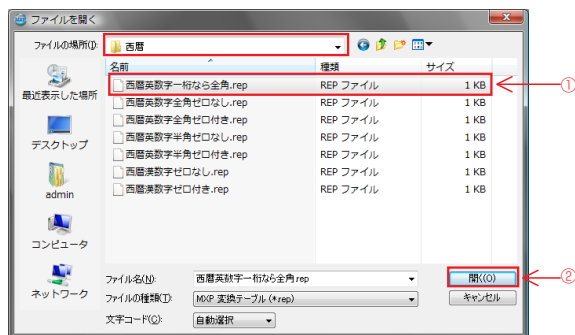
アドバイス 加工列名は任意に変更することもできます。

MVP チュートリアルガイド

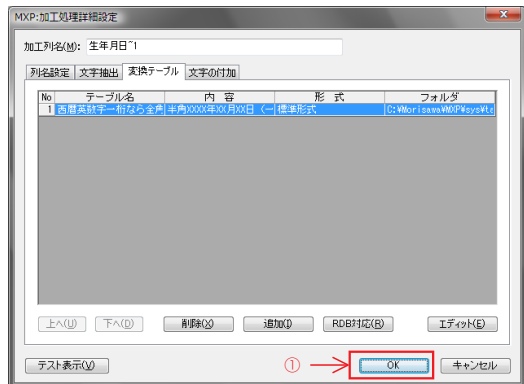
16. 次に「変換テーブル」タブへ移動し①、文字列検索・置換用のテーブルを設定します。画面下部の【追加】をクリックします②。



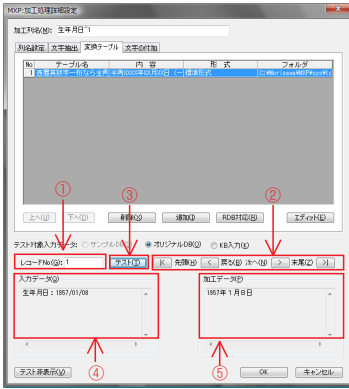
17. ファイル選択画面で、「C:¥Morisawa¥MXP¥sys¥table¥ 日付 ¥ 西暦」内の「西暦英数字一桁なら全角.rep」を選び①、【開く】をクリックします②。



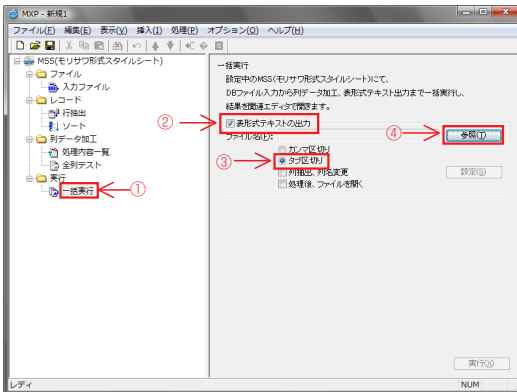
18. MXP 加工処理設定の画面に戻りますので、【OK】をクリックし①、設定を完了させます。



アドバイス 【テスト表示】をクリックすると、テキストの変換処理の結果をテストする箇所がダイアログ下部に追加されます。レコード番号を「レコード No.」で直接指定するか①、【先頭】～【末尾】の各ボタンを用い指定します②。【テスト】をクリックすると③、入力元のデータ④と加工後のデータ⑤がそれぞれ表示されます。

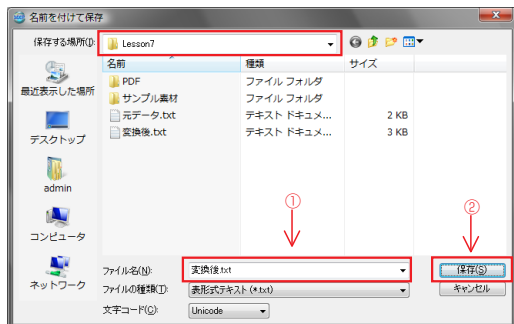


19. 最後に、出力ファイルの設定を行います。アプリケーションの画面に戻った後、〔一括実行〕をクリックし①、画面右の「表形式テキストの出力」にチェックを入れます②。「タブ区切り」のラジオボタンを選択し③、【参照】をクリックします④。



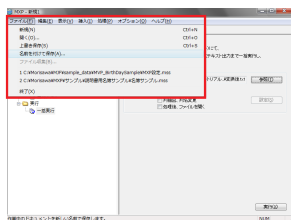
MVP チュートリアルガイド

20. ファイル保存ダイアログが開きますので、“C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル ¥Lesson 7”へ移動後、ファイル名に「変換後.txt」を指定し①、【保存】をクリックします②。

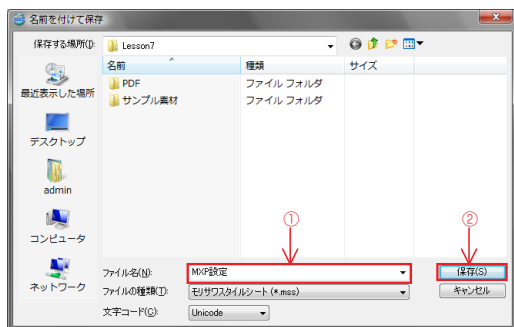


注意！ 本チュートリアルでは、MVP上のフィールド設定作業を省略するため、あらかじめ変換後のテキストを用意しています。ただし、フローの実行中にファイルが更新されるため、チュートリアル上で行った設定は出力結果に反映されます。

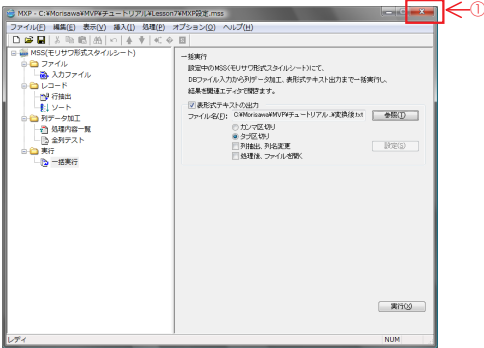
21. MXPの設定内容をファイルに保存します。メニューバー → [ファイル] → <名前を付けて保存>をクリックします①。



22. ファイル保存画面で、ファイル名を「MXP 設定」とし①、【保存】をクリックします②。



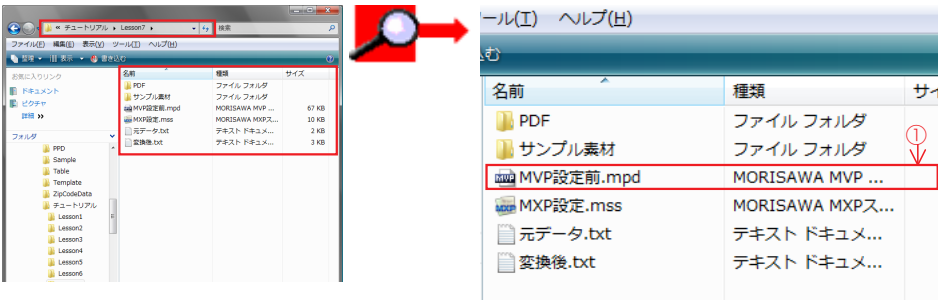
2.3. ファイル保存後、右上の「×」をクリックしてウィンドウを閉じます①。



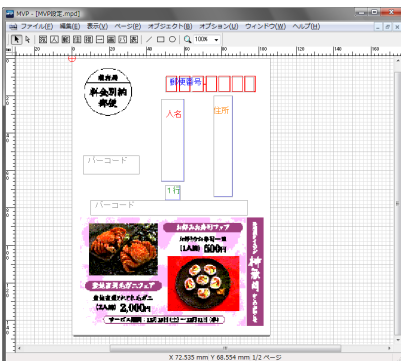
Step 2 出力に使用するテンプレートを作成しましょう。

出力に使用するテンプレートを、MVP で作成します。本チュートリアルでは、生年月日の設定のみ確認します。

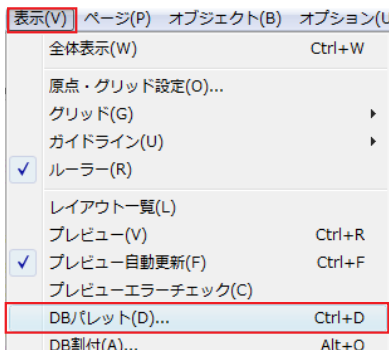
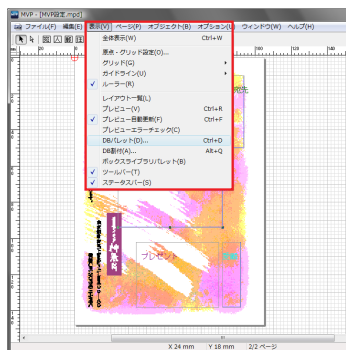
1. 「C:\Morisawa\MVPチュートリアル\Lesson 7」内にある「MVP 設定前.mpd」①を開きます。



2. はがきのひな型となるファイルが開きますので、2 ページ目へ移動します。



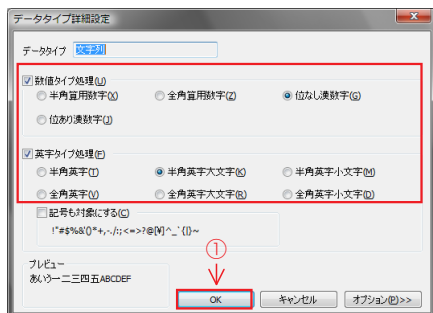
3. メニューバー → [表示] → <DB パレット>をクリックします①。



4. DB パレットが表示されます。既にDB用のテキストが指定されていますので、DBの列に「生年月日～1」があることを確認、このフィールドを選択し①、【データタイプ詳細設定】をクリックします②。



5. データタイプ詳細設定のダイアログが開きます。以下の設定を確認し、【OK】をクリックします①。



設定内容

数値タイプ処理 (チェック「入」の画像)

「位なし漢数字」

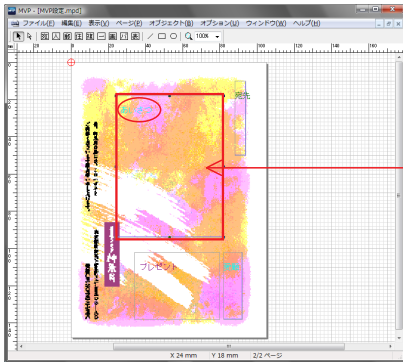
英字タイプ処理 (チェック「入」の画像)

「半角英字大文字」

6. DBパレットのダイアログに戻った後、そのまま【OK】をクリックし①、ダイアログを閉じます。



7. 2ページ目中央の「あいさつ」ボックスを選択、ダブルクリックします。



この中でダブルクリックしてください。

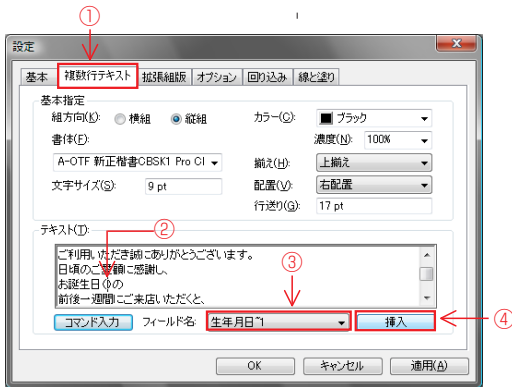


8. ボックスの設定ダイアログが開きます。

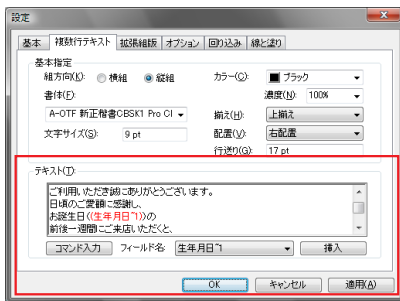


MVP チュートリアルガイド

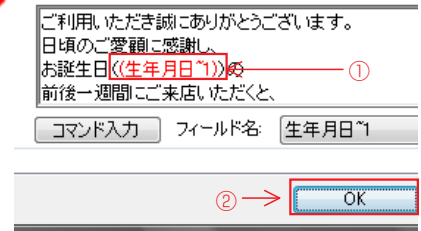
9. 設定のダイアログが表示されます。〔複数行テキスト〕タブをクリックし①、**テキスト**のテキストエリア5行目「お誕生日 ()」の括弧間へカーソルを移動させます②。カーソルを置いた後、下のプルダウンメニューより「生年月日～」を選択し③、**【挿入】**をクリックします④。



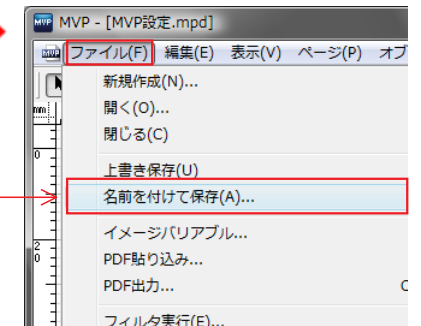
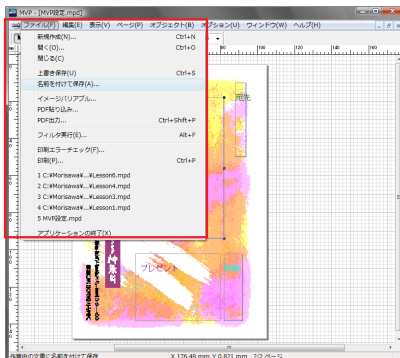
10. 「生年月日～」のフィールドがテキストに埋め込まれたのを確認し①、**【OK】**をクリックします②。



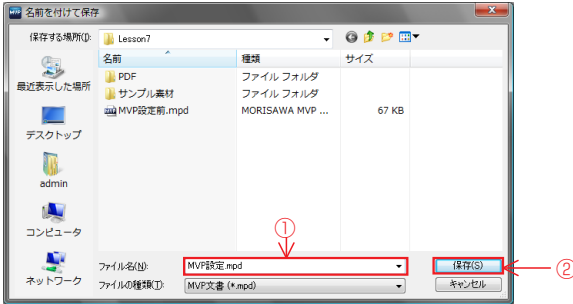
テキスト①:



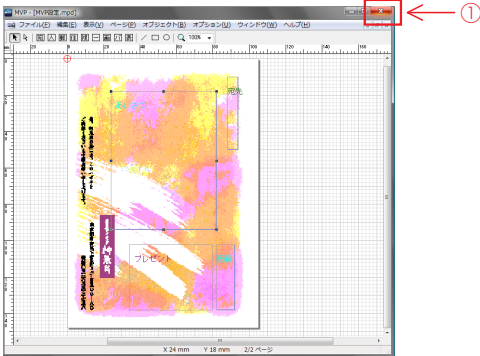
11. 設定内容を保存します。メニューバー → **【ファイル】** → **<名前を付けて保存>**をクリックします①。



12. ファイル保存ダイアログが開きますので、ファイル名を「MVP 設定」とし①、【保存】をクリックします②。



13. 保存後、ウィンドウ右上の [×] をクリックし①、ウィンドウを閉じます。

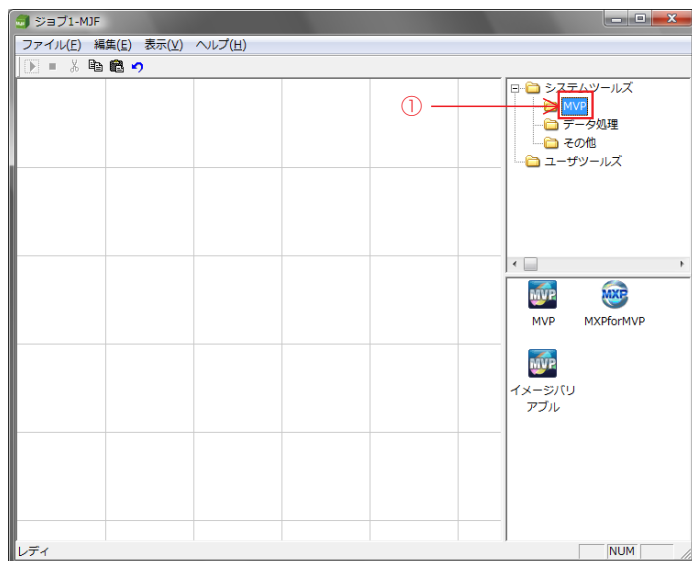


アドバイス MVP の設定ファイルを作成する際、MXP による変換処理を加えたテキストを事前に用意する必要があります。

Step 3 成形から出力までのフローを可視化しましょう。

MJF for MVP を使用し、作業の流れを図示します。

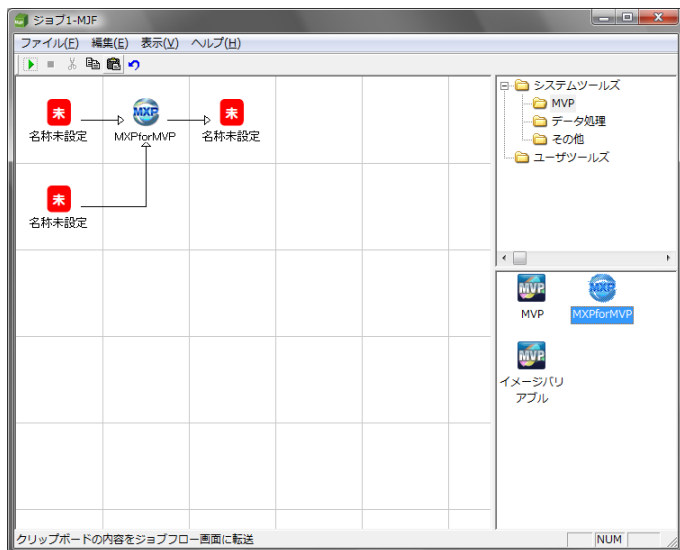
1. MJF for MVP を起動します。
2. 画面右上の「システムツールズ」内の「MVP」フォルダをクリックします①。



3. 画面右下のアイコンの中から「MXPforMVP」を選び①、画面左へドラッグ&ドロップします②。ドロップ後、MXPforMVP のアイコンと、その周囲に「未」アイコンが表示されます。

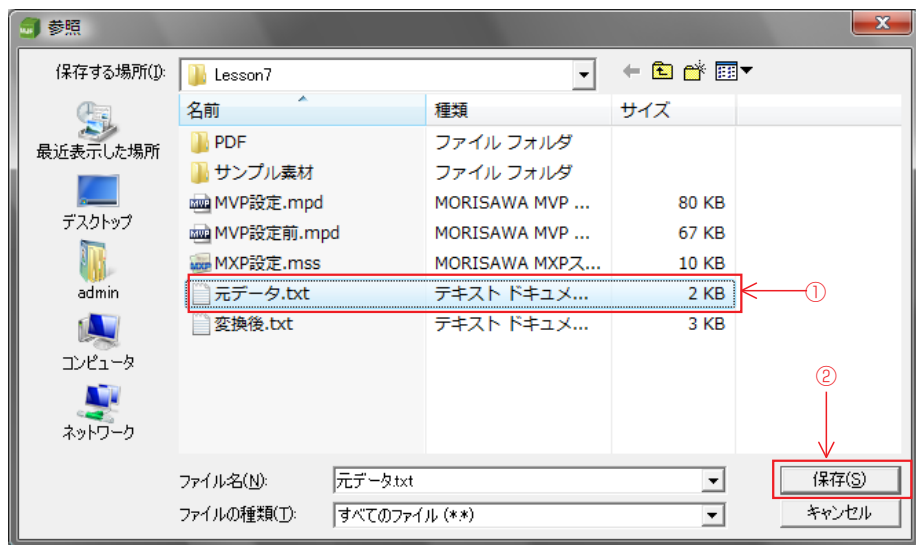
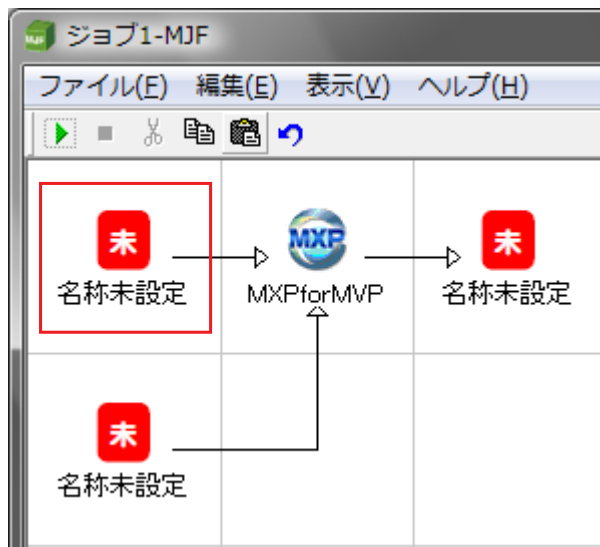


< ドロップ前 >



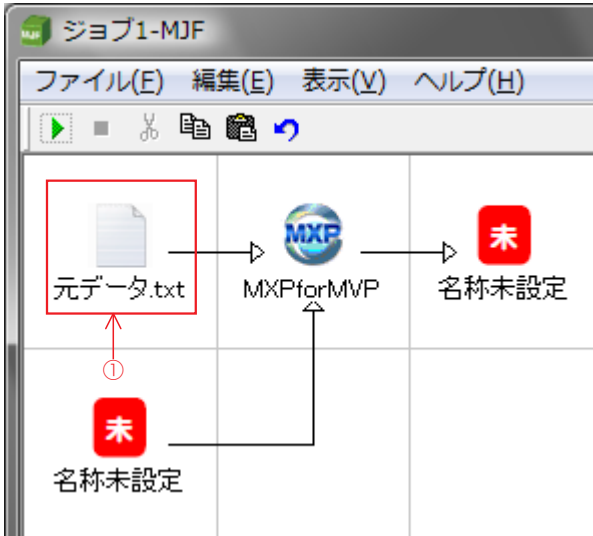
< ドロップ後 >

4. MXPの入力ファイルを設定します。「MXPforMVP」のアイコン左の「未」アイコンをダブルクリックすると、入力ファイルを指定するためのダイアログが開きます。ここで、「C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル¥Lesson 7」内の「元データ.txt」を選択し①、【保存】をクリックします②。

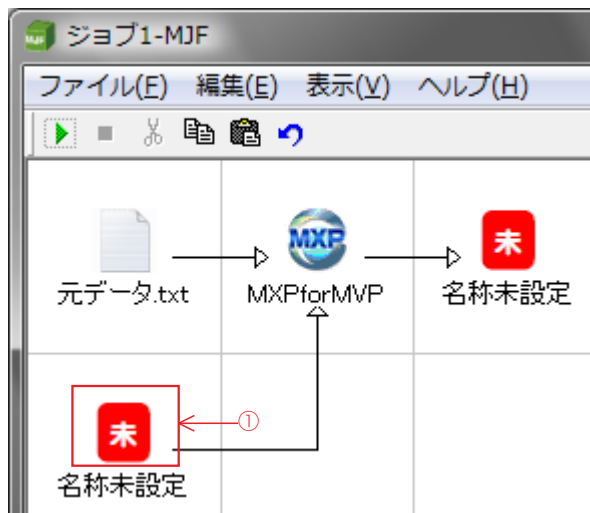


注意！ ファイルを選択する際、すべてのファイルが表示されますので、誤って違うファイルを選ばないように注意しましょう。

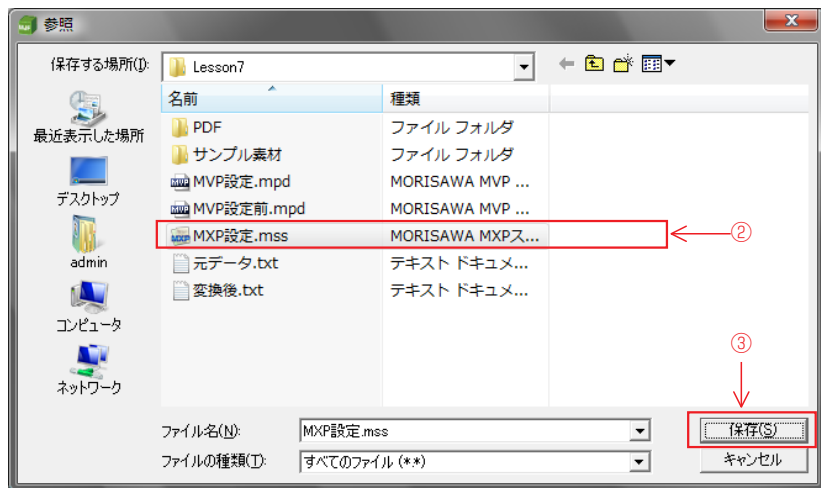
5. MJF のウィンドウに戻ると、アイコンが更新され、ファイル名の部分に「元データ.txt」が表示されます①。



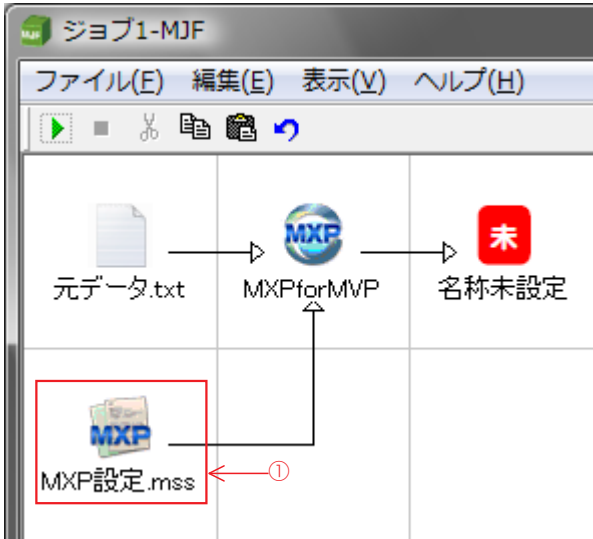
6. 次に、テキストデータの加工設定である MXP のスタイルファイルを指定します。「MXPforMVP」アイコン左下の「未」アイコンをダブルクリック後①、設定ファイルを選択するダイアログが開きますので、「C:\¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル ¥Lesson 7」にある「MXP 設定.mss」を選択し②、【保存】をクリックします③。



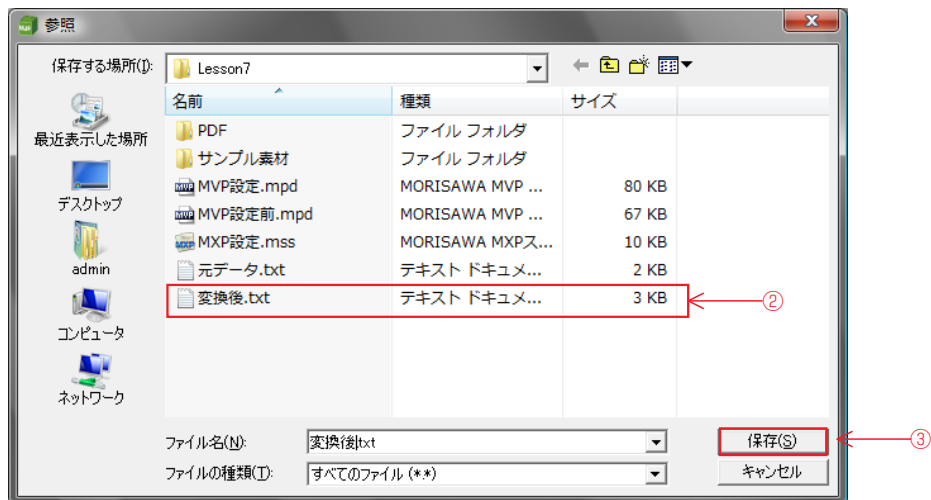
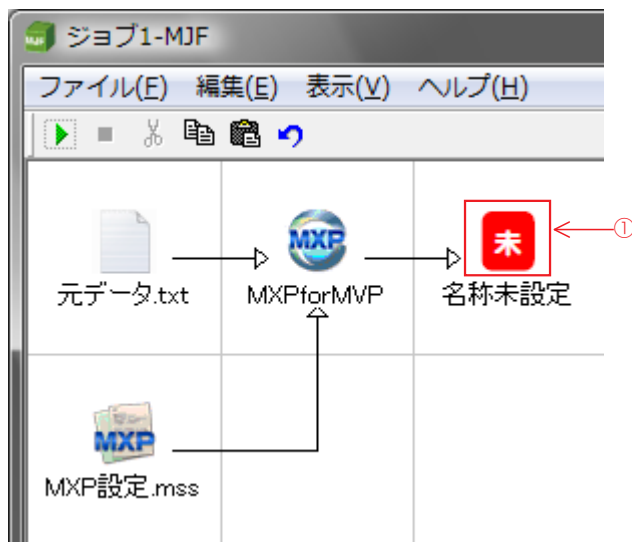
7



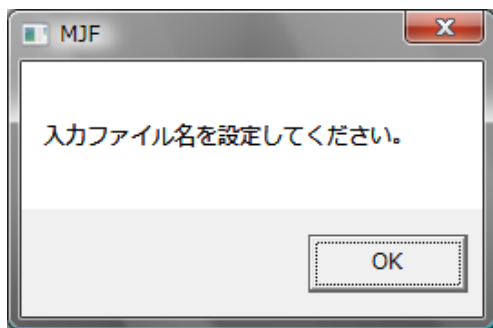
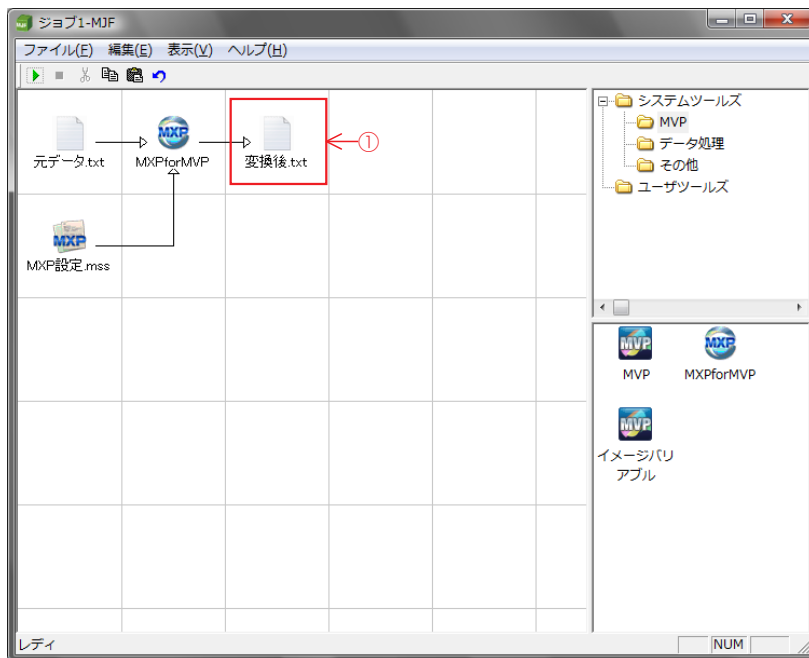
7. MJF のウィンドウに戻った時、アイコンが「未」アイコンから変更され、ファイル名として「MXP 設定.mss」が指定されている事を確認します①。



8. 加工処理後のテキストファイル名を指定します。「MXPforMVP」アイコン右の「未」アイコンをダブルクリックし①、ファイル参照のダイアログを開きます。ここで、「C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル¥Lesson 7」へ移動後、ファイル名として「変換後.txt」を指定し②、【保存】をクリックします③。

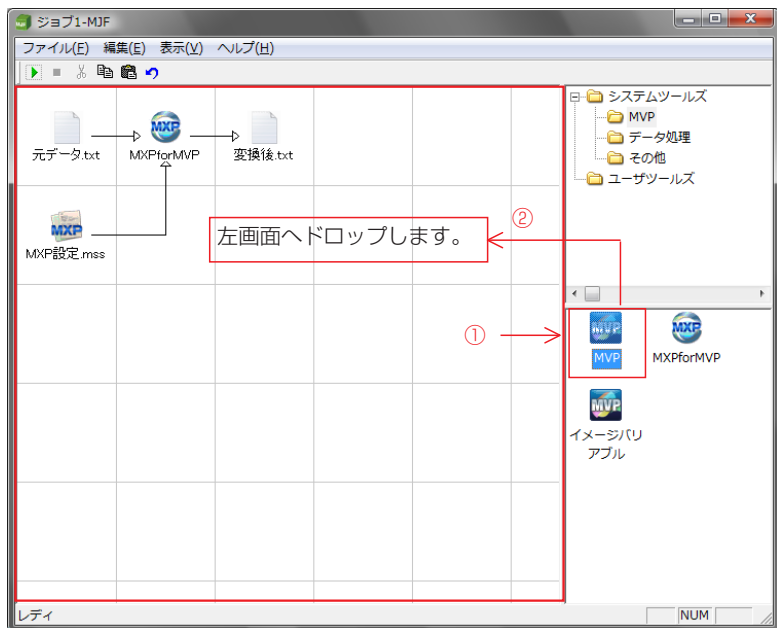


9. MJF のウィンドウで、アイコンの更新と、ファイル名が「変換後.txt」と表示されている点を確認します①。これで、MXP の処理フローが完成しました。

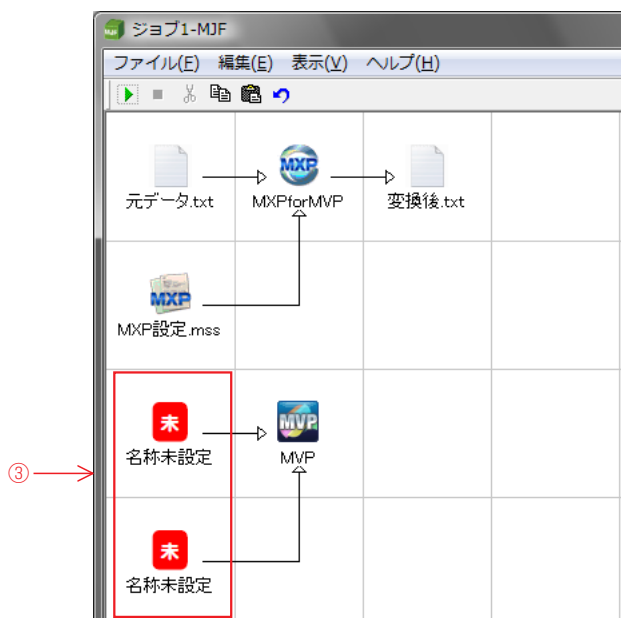


アドバイス 「MXPforMVP」のアイコンや、「MVP」、「イメージバリアブル」のアイコンをダブルクリックすると、未設定項目がある場合にダイアログが表示されることがあります。左図のダイアログは、「MXPforMVP」で入力ファイルを指定していない場合に現れるものです。

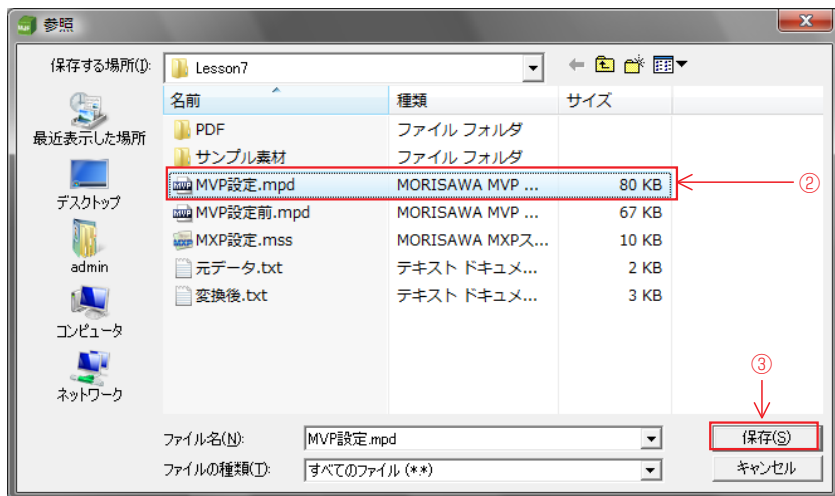
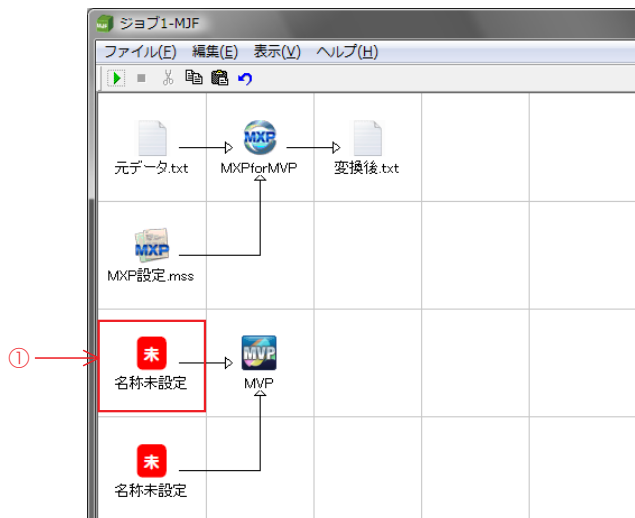
10. 続いて、画面右下のアイコンより「MVP」のアイコンを選択し①、画面左ヘドラッグ&ドロップします②。この時、「未」アイコンが新たに2つ表示されます③。



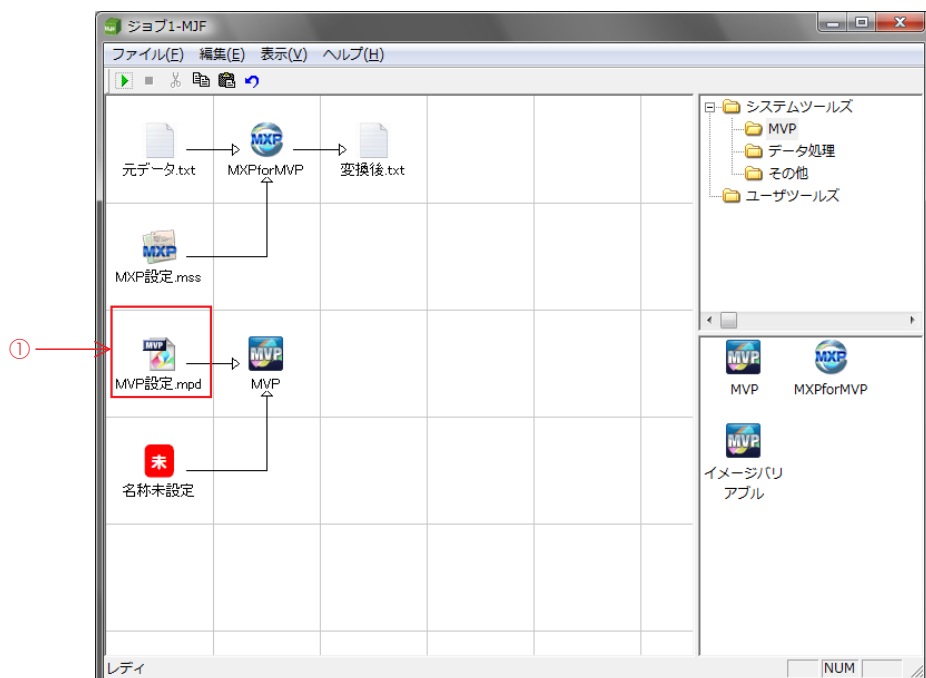
7



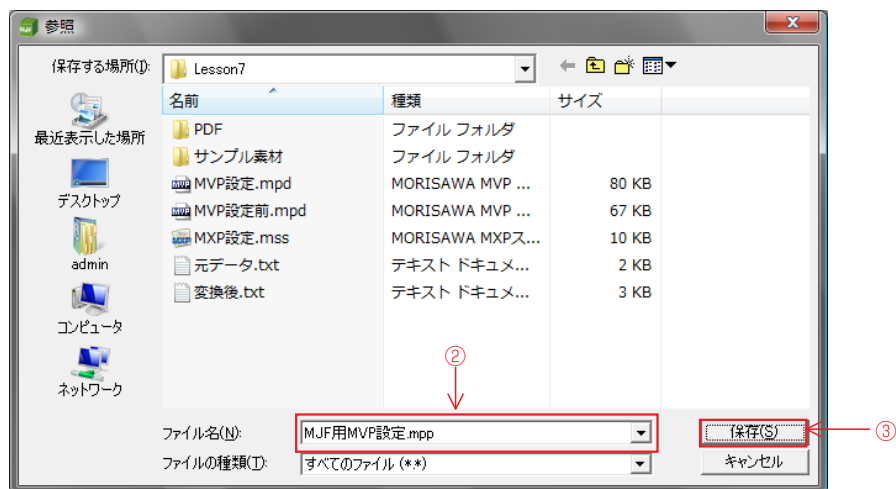
11. 処理に使用する設定が保存された MVP データを指定します。フロー図中の「MVP」アイコンの左にある「未」アイコンをダブルクリックすると①、ファイル参照ダイアログを開きます。ダイアログ中で “C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル ¥Lesson 7 ” へ移動し、「MVP 設定.mpd」を選択②、【保存】をクリックします③。



1 2. MJF の画面に戻ると、アイコンとファイル名が更新されています①。

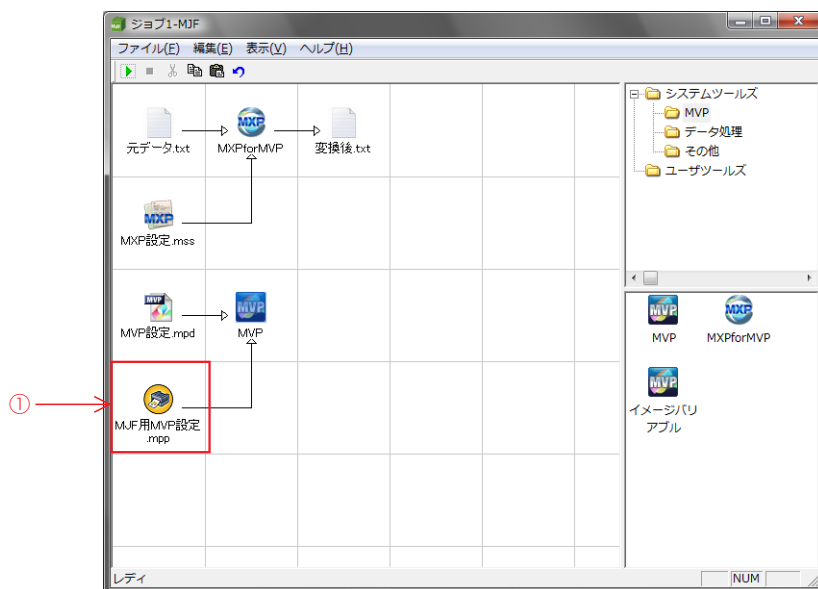


1.3. 次は、MJF用のMVP出力設定ファイルを指定します。「MVP」アイコン左下の「未」アイコンをダブルクリックし、ファイル参照ダイアログを開きます。ファイル名の個所に「MJF用MVP設定.mpp」を入力し②、【保存】をクリックします③。

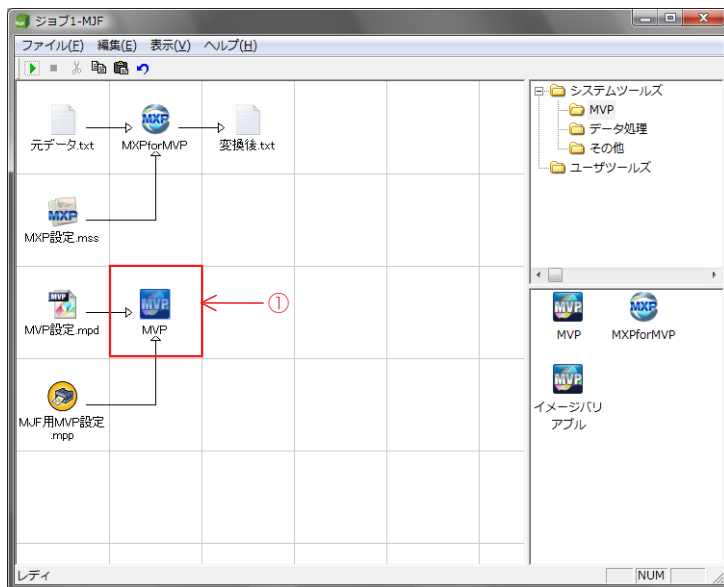


注意！ このファイルは用意されていませんので、ファイル選択ではなく必ず「.mpp」の拡張子まで入力する必要があります。

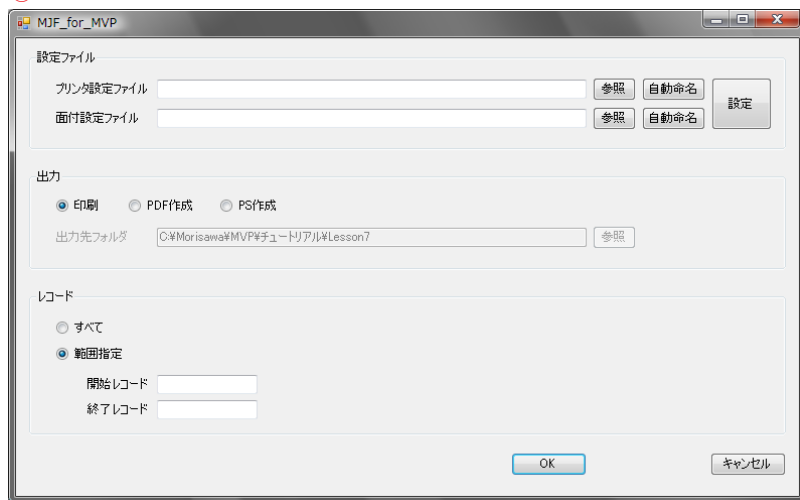
14. MJFのウィンドウに戻りますので、アイコンとファイル名の更新を確認します①。



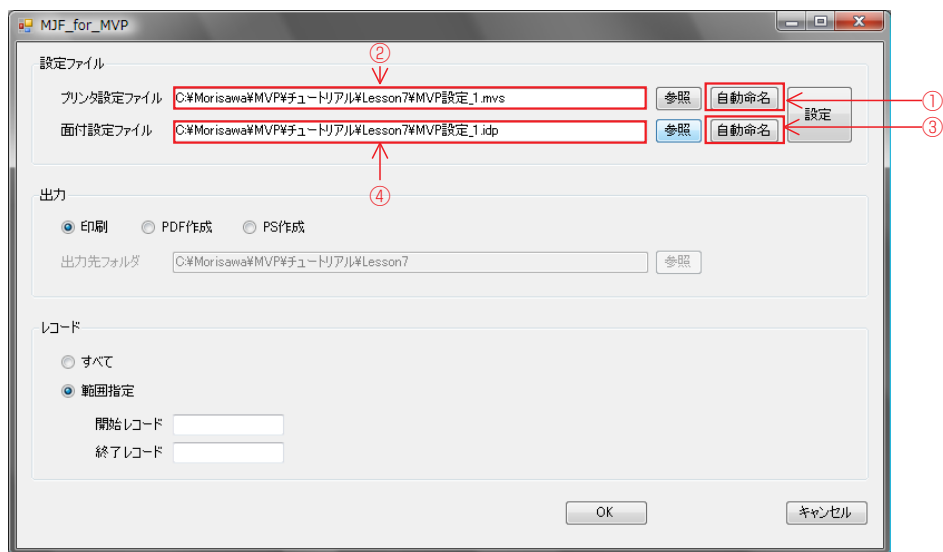
15. 最後に、MVPのプリント設定を行います。「MVP」アイコンをダブルクリックすると①、下図のようなウィンドウが開きます②。



②

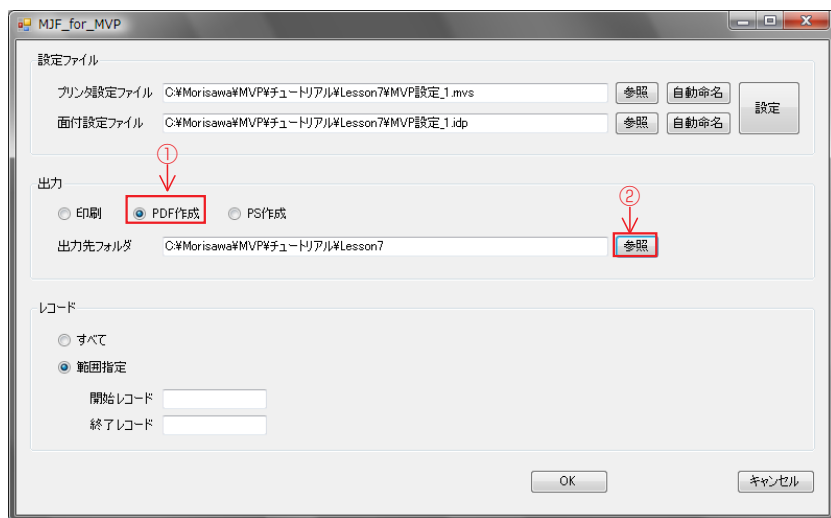


16. 「プリンタ設定ファイル」の項目の【自動命名】をクリックすると①、プリンタ設定ファイルの空欄部にパスとファイル名が自動で入力されます②。面付設定ファイルの【自動命名】をクリックすると③、同様に空欄が埋められます④。

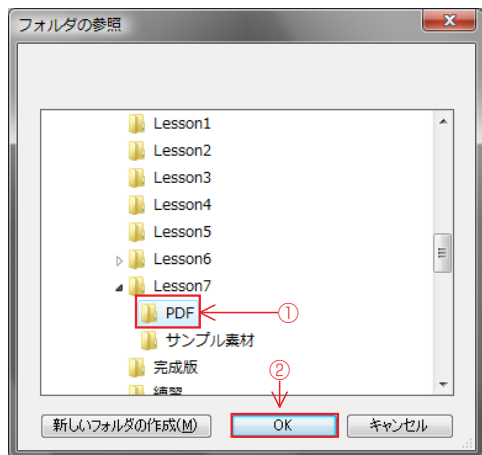


7

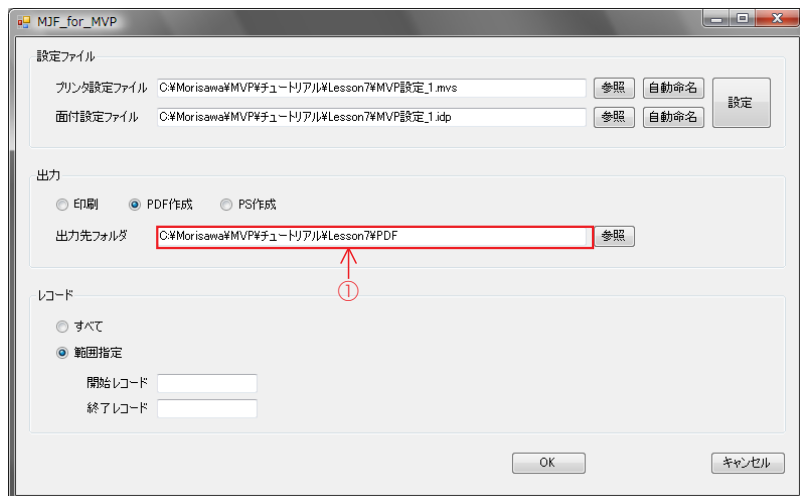
17. 出力の項目で「PDF 作成」を選び①、【参照】をクリックします②。



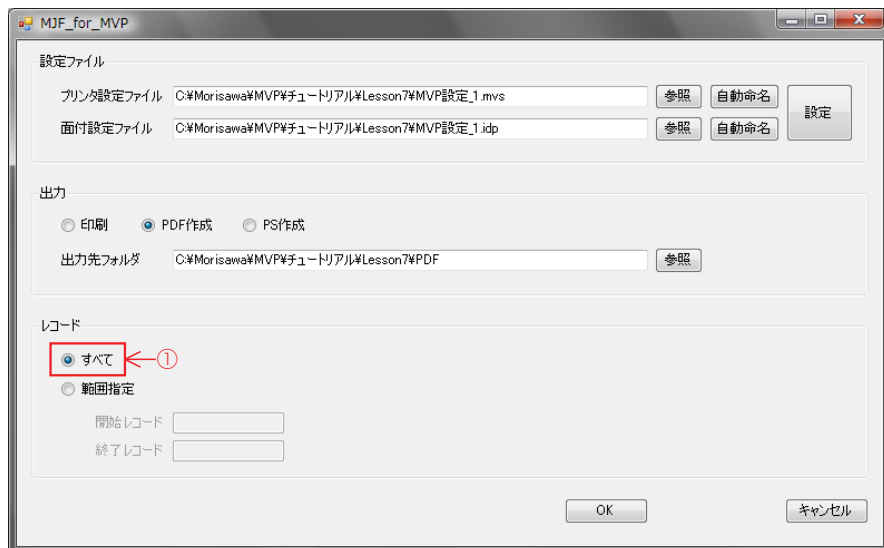
1 8. フォルダ参照のダイアログが開きますので、「C:¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥Lesson 7」内の「PDF」フォルダを選び①、【OK】をクリックします②。



1 9. 元のウィンドウに戻ると、出力先が「C:¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥Lesson 7 ¥PDF」となります①。

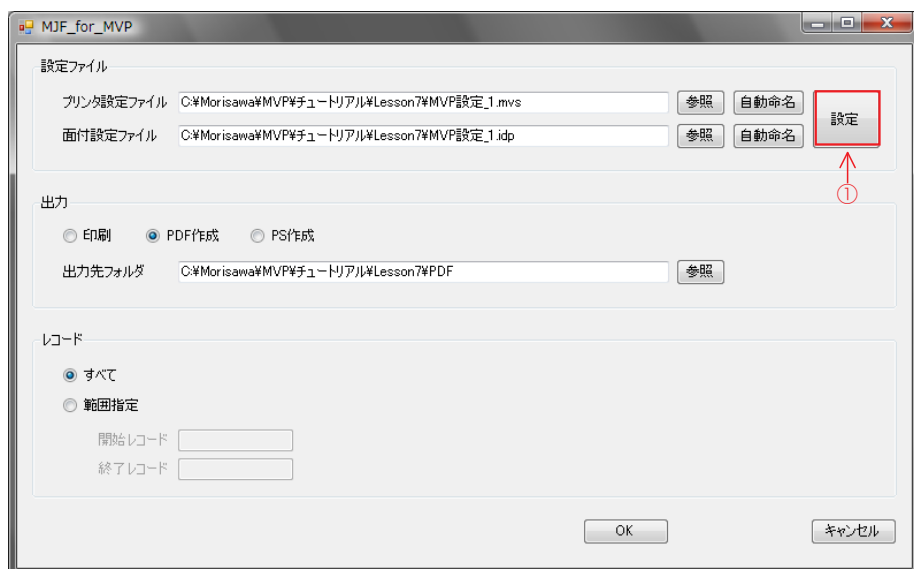


20. 次のレコードの項目では、出力するレコードの範囲を設定します。ここでは、「すべて」を選びます①。

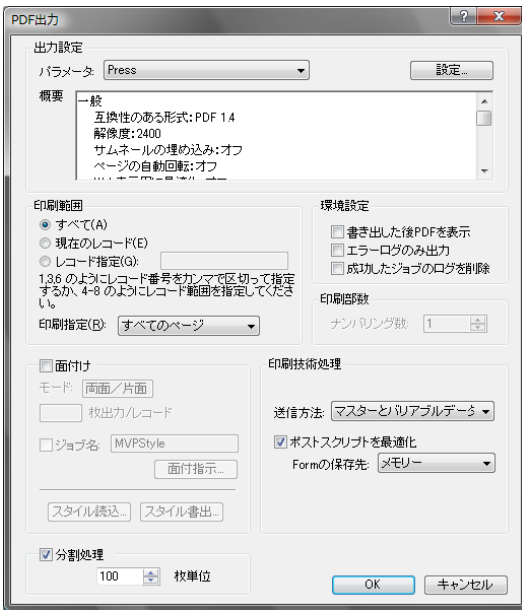


7

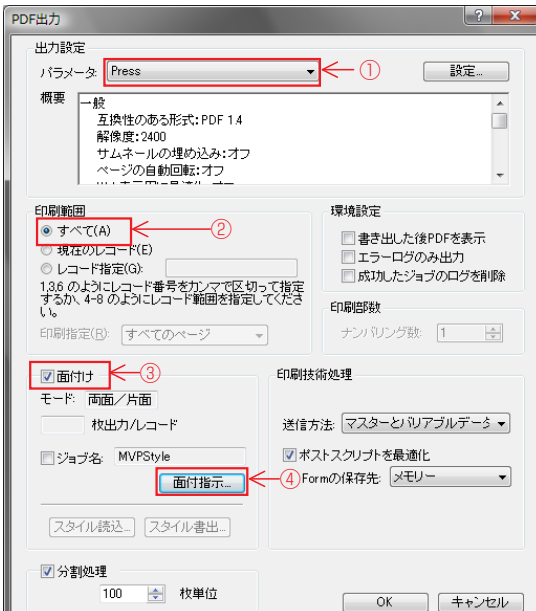
21. 画面内での設定を終えた後、右上の【設定】をクリックします①。



2.2. MVP が起動し、MVP の PDF 出力設定ダイアログが表示されます。

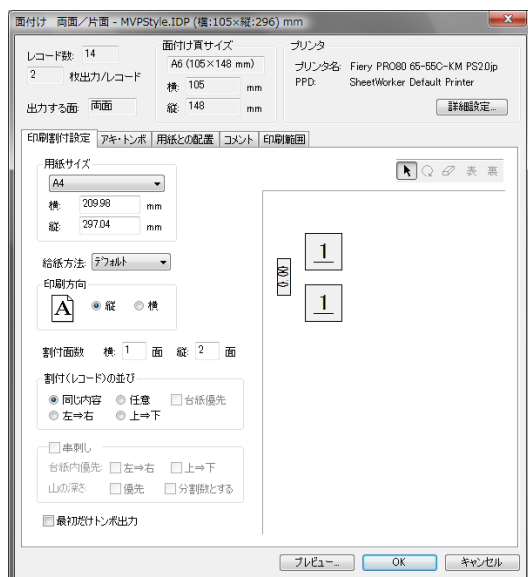


2.3. パラメータが「Press」①、印刷範囲が「すべて」②となっている事を確認し、面付けのチェックボックスをチェックします③。「面付け」内の項目が編集可能となりますので、【面付指示】をクリックします④。

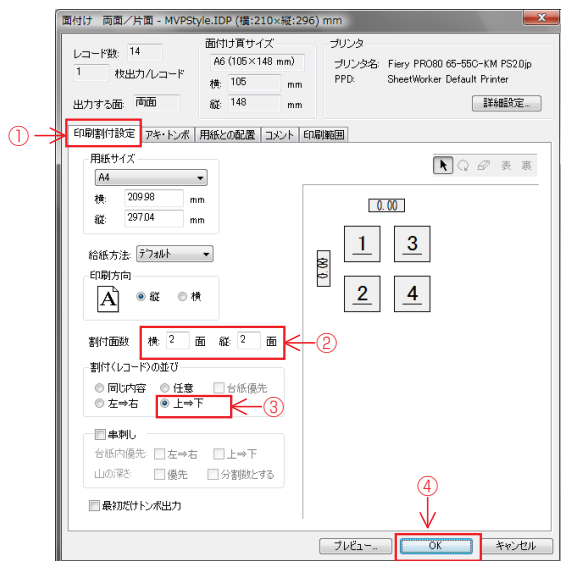


注意！ 画面は内蔵 PDF エンジンを利用した場合の設定です。Professional Edition の場合、MVP の「アプリケーション環境設定」-「PDF エンジン」[Pro] の設定を変更している場合は、選択できるパラメータが異なります。

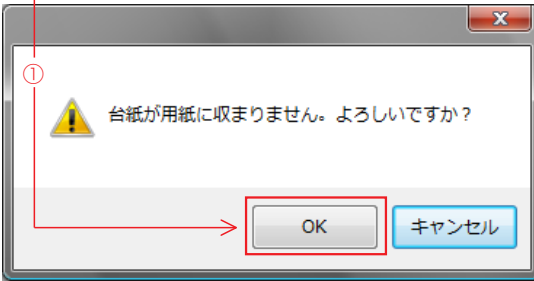
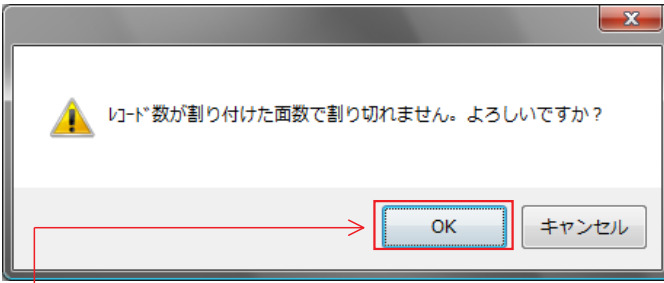
24. 面付け設定のダイアログが開きます。



25. 「印刷割付設定」タブ①で、割付面数を「横2面・縦2面」に設定し②、割付(レコード)の並びを「上⇒下」とし③、そのまま【OK】をクリックします④。

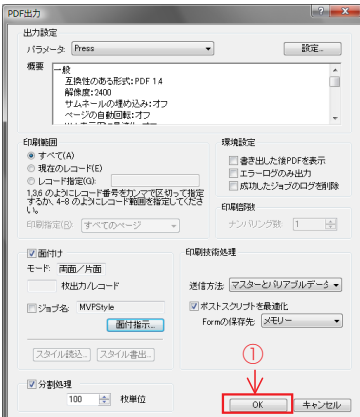


26. 以下のようなアラートが表示されますが、【OK】をクリックします①。

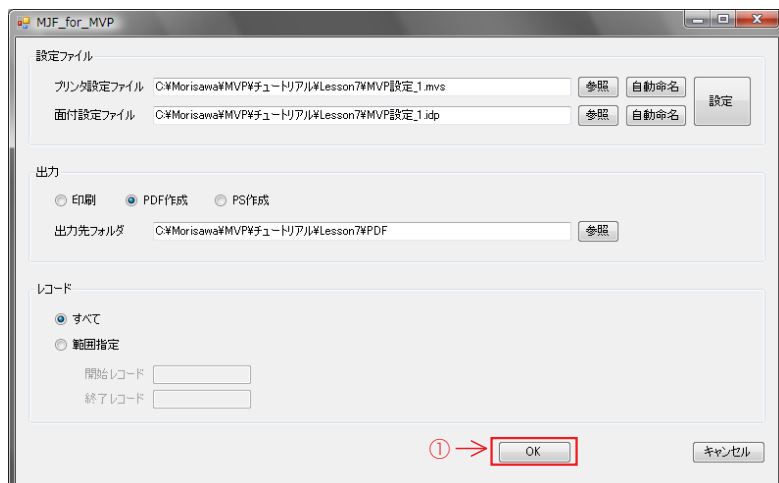


注意! レコード数やドキュメント設定の内容により、左図のような警告ダイアログが現れることがあります。本チュートリアルでは画面確認用にPDFを作成するため、【OK】を選んでいきます。「台紙が用紙に収まりません」というアラートが出た場合、通常は【キャンセル】をクリックして【印刷割付設定】タブに戻り、用紙設定の見直し等により問題を解決します。

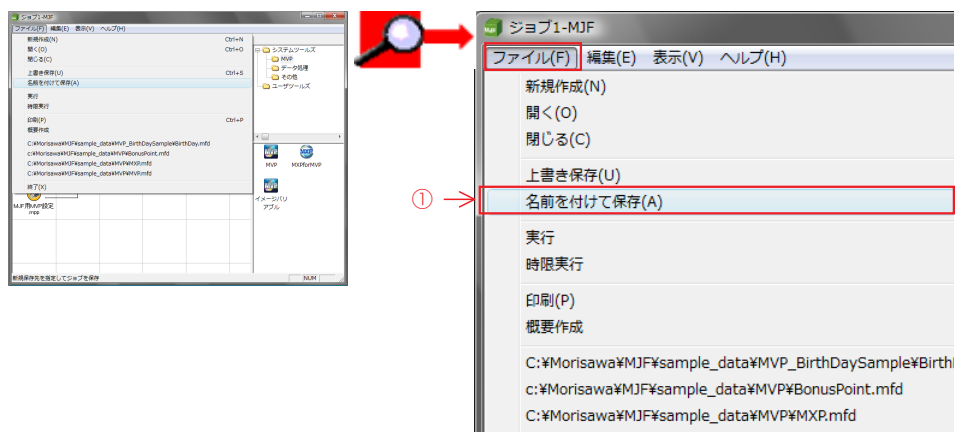
27. PDF 出力ダイアログに戻り、【OK】をクリックします。①



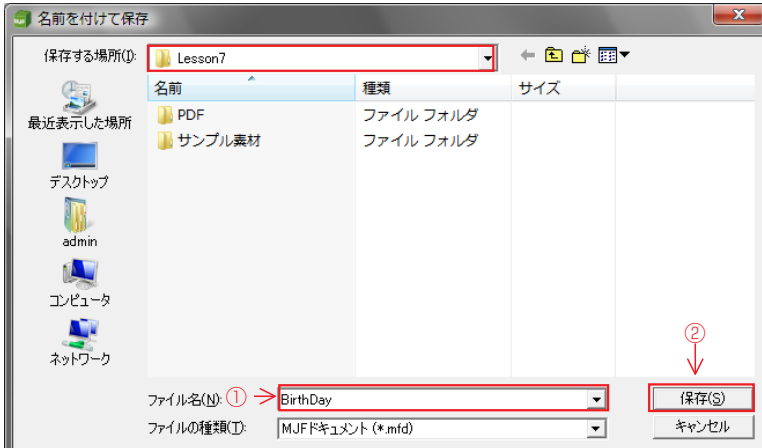
28. MJFの画面が閉じ、MJFforMVP の出力設定ウィンドウに戻ります。このまま【OK】をクリックします①。



29. MJFのメインウィンドウに戻りますので、作成した処理フローを保存します。メニューバー→[ファイル]→<名前を付けて保存>をクリックします①。



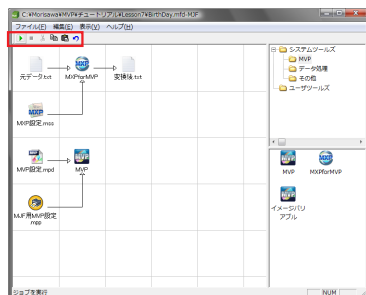
30. ファイル保存ダイアログが開きます。“C:¥Morisawa¥MVP¥チュートリアル¥Lesson 7 ”へ移動し、ファイル名に「BirthDay」など適当な名称を付け①、【保存】をクリックします②。



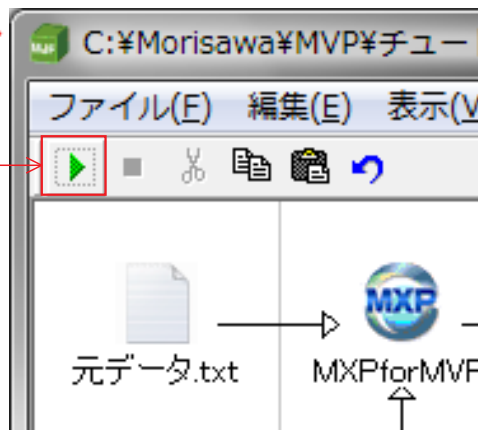
Step 4 フローを実行しましょう。

完成させたフローを実行し、処理を開始します。

1. メニューバー下部のツールバーにあるアイコン (▶) をクリックします。



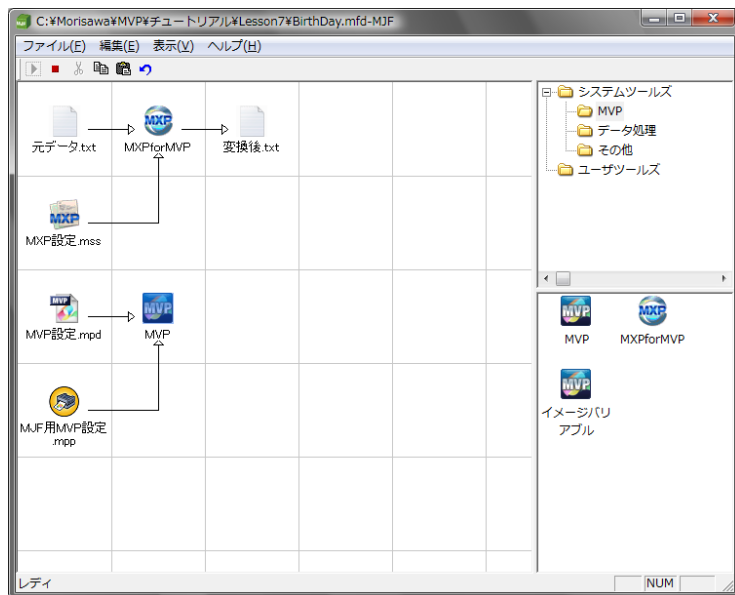
①



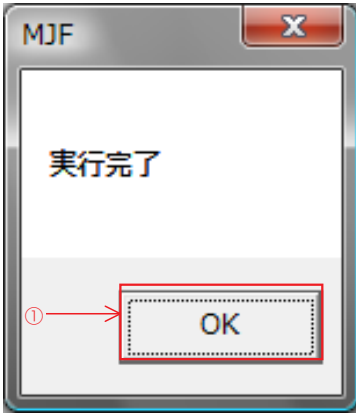
アドバイス メニューバー → [ファイル] → <実行> からでも処理を開始することができます。

2. 処理が開始され、各アプリケーションによる処理が自動実行されます。なお、実行中の処理部分は点滅表示されます。

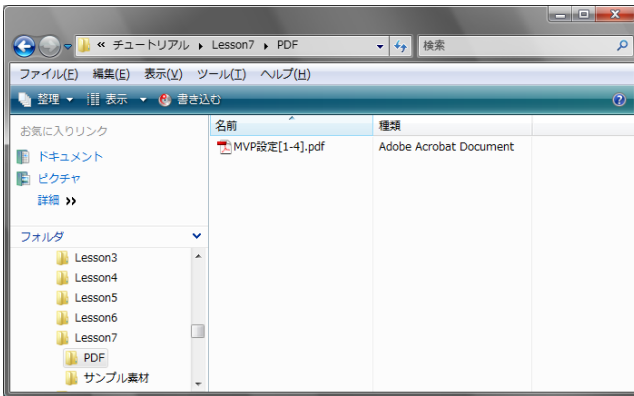
7



3. 処理が完了すると、ダイアログが表示されますので、そのまま【OK】をクリックします。



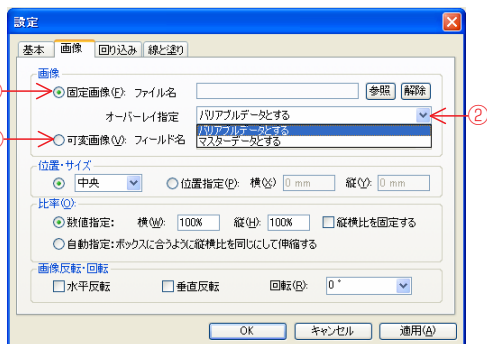
4. "C:¥Morisawa¥MVP¥ チュートリアル ¥Lesson 7 ¥PDF" に MVP 設定[1-4].pdf が作成されます。



付録

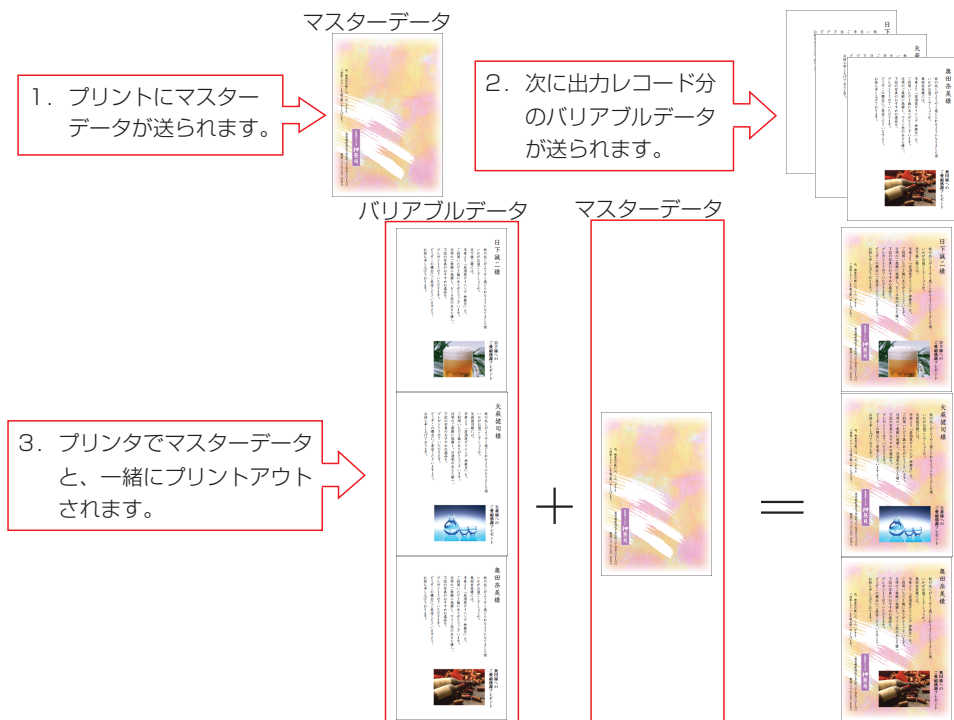
オーバーレイについて

各ページ共通となる固定画像をマスターデータとしてプリンタに登録し、以後可変のみをプリンタに送ることで、出力時の負荷を軽減する機能です。固定画像を選択した場合、オーバーレイ指定を「マスターデータとする」または、「バリエーションデータとする」のどちらかを選択します。固定画像部分（以後、マスターデータと称す）だけを先にプリンタに送り、RIP 処理を済ませ、後から送られてくる可変部分（以後バリエーションデータと称す）と一緒にしてプリントすることで、画像を含む処理を高速化することが出来ます。



MVP で設定するには

マスターデータとして、登録する画像を①で設定します。バリエーションデータとして登録する画像は、③可変画像、もしくは②固定バリエーションで設定します。



マスターデータをバリアブルデータの上に設定した場合

バリアブルデータ画像の上に、マスターデータを置いた場合、マスターデータは他のオブジェクトに対して、常に最背面に表示されますので①のように、マスターデータの神無月のロゴが表示されません。その場合にオーバーレイ指定を「マスターデータとする」から「バリアブルデータとする」に変更すると、②のように神無月のロゴマークが表示されます。この場合バリアブルデータとして処理されますので「マスターデータとする」とした時よりも処理速度は遅くなります。

バリアブルデータ

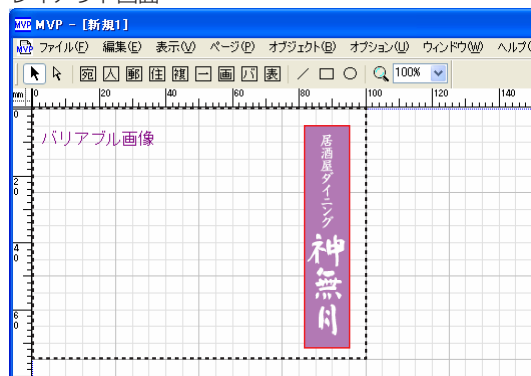


マスターデータ



付録

レイアウト画面



----- バリアブルデータ
 ——— マスターデータ

プレビュー画面

①



マスターデータとする

②



バリアブルデータとする

MVP チュートリアルガイド

2009 年 12 月 第 8 版

発 行 株式会社 **モリサワ**

本 社 大阪市浪速区敷津東 2-6-25 〒 556-0012

TEL (06)6649-2151

東京本社 東京都新宿区下宮比町 2-27 〒 162-0822

TEL (03)3267-1231

KU-11251